Walkabout MACAU

マカオを歩くウォーキングマップ

マカオ観光局

中国広東省
珠海市(拱北)
至広州
珠海市(南屏)
孫中山記念公園
珠江口
関閘(出入境ゲート) 09:15～13:00 14:30～18:00
Course 5
マカオ北部の下町散歩
至香港
カニドローム(ドッグレース場)
モンハの砦
P21
澳門(オウムン)半島
Course 6
古廟と教会を訪ねて
観音堂
Course 2
自然とアートにふれる
中国広東省
珠海市
(灣仔)
P8～9
カモンエス公園
ロウリムイオック庭園
貯水池
内港
フェリーターミナル 09:00～22:00
東望洋山
ギア灯台
Course 1
マカオの歴史をたどる
外港
P15
セナド広場 09:00～18:00
Course 3
東西文化の交差点
Course 4
芸術と文化を求めて
ホテル・リスボア
ウィン・マカオ
ペンニャ教会
媽閣廟
南灣湖
MGMマカオ
観音像
フレンドシップ橋
西灣湖
融和門
マカオタワー
P16
P19
マカオ・タイパ橋
西灣大橋
P22～23
フェリーターミナル(北安) 09:30～13:00 14:30～18:15
アルティラ
氹仔(タイパ)
マカオ国際空港
Course 7
昔日のタイパ・ビレッジ
09:00～13:30 14:15～19:30 20:15～22:00
マカオ競馬場
官也街
ギャラクシー・マカオ
タイパ・コロアン・コーズウェイ
シティ・オブ・ドリームズ
ヴェネチアン・マカオ
P24～25
P26～27
サンズ・コタイセントラル
路氹(コタイ)
蓮花大橋
マカオ東アジア大会ドーム
出入境ゲート
路環(コロアン)
グランド・コロアン・リゾート
媽祖文化村
黒沙海岸
聖フランシスコ・ザビエル教会
Course 8
ノスタルジア・コロアン
竹湾
観光案内所
0 500 1km
N
北京
韓国
日本
中国
上海
香港
マカオ
台湾
フィリピン
中国広東省
珠海市
(横琴島)

マカオ・インフォメーション

■ 時差
日本より1時間遅れで、香港とは同じタイムゾーン。日本の午前9時はマカオの午前8時。

■ 言語
中国語(広東語／繁体字)とポルトガル語が公用語だが、日常会話はほとんど広東語。英語は商業用に使われる第3の公用語で、ホテルや高級レストランでは通じる。タクシーやバス、地元の店での会話は広東語が基本。

■ 通貨
通貨単位はマカオパタカ(MOP)で、1パタカ(Pataca)は100アボス(avos)。香港ドル(HKD)はマカオでもそのまま通用し、レートはMOP103.20=HKD100.00。ただし10％の幅が認められている。2015年9月現在MOP1＝約15.6円。ただし、マカオパタカは香港では使用できない。

■ 両替
香港国際空港、フェリーターミナル、空港、銀行、街中の両替所のほかカジノにある外貨両替は24時間営業で便利。パタカ、香港ドル共に両替は日本円(紙幣)からできる。日本ではパタカの取り扱いはない。

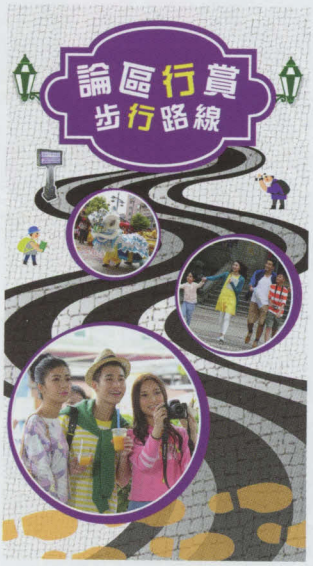
■ 電圧とプラグ
電圧220V(日本は100V)、周波数50Hz。220V対応までの電化製品をのぞき変圧器が必要。プラグは複数タイプあるが3つ穴のBFタイプが主流。アダプターはホテルで貸し出し可能。

■ 緊急連絡先
・緊急(救急/消防):999
・旅行者用緊急:110(中国語)/112(英語)
・病院　山頂醫院:2831-3731/ MAP P16-D2
・病院　鏡湖醫院:2837-1333/ MAP P11-A3
・警察:2857-3333
・マカオ警察出入境事務所:2872-5488
・マカオ観光局ツーリストホットライン:2833-3000
・在香港日本国総領事館:
マカオからは00-852-2522-1184

地図や観光案内のほかオーディオガイドの貸し出しにも対応しているセナド広場のツーリスト・インフォメーション。

この小冊子の使い方

本冊子はマカオ観光局が2015年に定めた8つのウォーキング・コースを紹介しています。観光スポットにくわえバス停やレストラン情報が盛り込まれた英語、ポルトガル語、中国語のガイドブックは、マカオ各地のツーリスト・インフォメーションで入手できるほか、観光局のウェブサイトでもご覧いただけます。
www.macautourism.gov.mo/plan/our-suggested-tours.php



CONTENTS

Walkabout MACAU

基本情報

世界遺産の街マカオ ---- 4〜5
マカオの交通手段 ---- 6〜7

ウォーキング情報

コース1　活気あふれる新馬路から歴史が香る内港へ
マカオの歴史をたどる ---- 8
コース6　聖ポール天主堂跡に隣接するオールドマカオへ
古廟と教会を訪ねて ---- 9
コース2　緑滴る公園を通って南欧風情のラザロ地区へ
自然とアートにふれる ---- 14
コース4　風光明媚なウォーターフロントをそぞろ歩き
芸術と文化を求めて ---- 14
コース3　数珠つなぎに現れる世界遺産を縫って南へ
東西文化の交差点 ---- 18
コース5　公園や寺院で活気あふれる庶民の生活にふれる
マカオ北部の下町散歩 ---- 20
コース7　かつての離島に吹くポルトガルの風を感じて
昔日のタイパ・ビレッジ ---- 22
コタイ地区　最新リゾートのオープン続く注目エリア　24
コース8　古きよき風情が残る静かな漁村をゆっくり歩く ----
ノスタルジア・コロアン ---- 26

旅の素材集

ホテル・インデックス ---- 28
マカオ・イベント・カレンダー ---- 29

旅の素材集

マカオ24時間 〜贅沢な休日〜 夜 ---- 30 〜 35
食彩グルメの街マカオ ---- 36 〜 37
マカオ24時間 〜贅沢な休日〜 昼 ---- 38 〜 43
マカオ24時間 〜贅沢な休日〜 朝 ---- 44 〜 47

■ オーディオガイドについて

セナド広場にあるマカオ政府観光局ツーリスト・インフォメーションでは主要観光スポットを音声で案内するオーディオガイド（日本語あり）の無料貸し出しサービスを行っています。貸出時にはデポジットとして200パタカ、さらにパスポートの提示が必要です（9〜17時）。オーディオガイドの音声（日本語、MP3フォーマット）は以下のウェブサイトからもダウンロードできます。
www.sensemacau.jp/audioguide

■ マカオの道標
市街の道標は、中国語とポルトガル語のバイリンガル表示です。ポルトガル文化を代表するアズレージョ（絵タイル）で、白タイルに濃紺で記されています。どこにいるかを確認するには地図と道標を照らし合わせてみましょう。

●本書では観光スポットへのルート・所在地を紹介していますが、観光スポット自体の説明は紙面の都合上十分ではありません。他の観光資料や市販のガイドブックを併せてご利用になることをお勧めします。 また、マカオのセナド広場などにあるマカオ観光局ツーリストインフォメーション（MAP🅘マーク）でも観光資料の入手は可能です。

●本書は皆様にマカオでの滞在を十分に楽しんでいただくためのガイドとして作成したものです。マカオは狭いエリアに東洋と西洋の混在した魅力が凝縮された所で、ウォーキングには格好の街。ウォーキングルートでは主な観光スポットのほか、これまで旅行者にあまり知られていない生活エリアや、マカオの歴史上で重要なスポットを盛り込んでいます。各自のご興味あるいは滞在時間に合わせてお選びください。

●主要な観光スポット、通り名およびホテル、店名には広東語の読み方をカタカナで記載していますが、記載されている通りに発音しても通じないこともあります。そのような場合は地図で場所を差し示したり、筆談でもよいでしょう。マカオの人々は大概親切に教えてくれるはずです。

●マカオは石畳の多い街です。歩きやすい靴でお出かけください。また夏期はかなり暑くなります。水分を十分に取りましょう。疲れたら休むことがウォーキングの基本です。

■おもな道標の表記

中国語	ポルトガル語	日本語
①大馬路（ダイマァロウ）	Avenida	大通り、メインストリート
②馬路（マァロウ）	Estrada または Istmo	①よりも狭いが比較的広い通り
③街（ガイ）	Rua	②よりも狭い通り
巷（ホン）	Travessa	小道
斜巷（チェーホン）	Calçada	長い坂道

● 年末年始・旧歴行事などで休業日が変わる場合があります。また営業時間も各店舗の都合により予告なく変更されることがありますのでご注意ください。

● マカオの電話番号：マカオのエリア番号は853。日本からマカオへかける場合は国際電話会社識別番号+010+853（マカオのエリア番号）+本書の電話番号
*マイライン国際区分登録をしている場合は国際電話会社識別番号は不要です。また、マカオ内でかける場合はエリア番号は不要です。

● マカオでは公共の場所でのごみ捨てや痰を吐く行為等は罰金が課せられます。また2012年より屋内の公共の場所は禁煙です。

*本書は2015年9月現在のデータに基づいて作成しておりますが、その後各データは変更されることもありますので予めご了承ください。

マカオ観光局マーケティング リプレゼンタティブ
〒102-0083　東京都千代田区平河町2-16-9　平河町KDビル7階　TEL:03-5275-2537　FAX:03-5275-2535　http://www.macautourism.gov.mo

世界遺産の街 マカオ

マカオは西洋と東洋が出会った街。
450 年以上に渡って東西文化が融合・共存し異文化共存の地として発展してきた。2005 年 7 月に開催された第 29 回ユネスコ世界遺産委員会において、"The Historic Centre of Macau"「マカオ歴史市街地区」が世界文化遺産に登録された。中国 31 番目の世界遺産となった「マカオ 歴史市街地区」は、22 の歴史的建築物と 8 カ所の広場を含む日常生活地域である。案内標識は中国語、ポルトガル語、英語、日本語で解説されてる。

各世界遺産スポットに備わる案内標識(日本語あ

＊地図上のピンク色のエリアがマカオ歴史市街地区として、エリアで世界遺産登録されている。

今も残る大砲が歴史を伝えるモンテの砦

世界遺産に囲まれた聖オーガスティン広場

マカオ市民憩いの場のリラウ広場

地図上の■数字は広場、●数字は歴史的建築物を示します。

「マカオ歴史市街地区」を散策して歴史発見！

ウォーキングルート

1 スタートはマカオ半島の南端に位置する❶**媽閣廟**からです。前庭の❷**バラ広場**から北上、媽閣斜巷のゆるい坂を登っていくと❸**港務局**があります。さらに坂を上ると、突然狭い道が開けて❹**リラウ広場**に出ます。この辺りは、ポルトガル人が最初に定住を始めた地域。道を挟んで左側には中国式住宅の❺**鄭家屋敷**があります。

6 道は、媽閣街から高楼街、❻**聖ローレンス教会**のある風順堂街へと続きます。教会の裏手の風順堂上街と三巴仔街の交差地点には❼**聖ヨセフ修道院及び聖堂**の正門があります。

8 風順堂上街の花崗岩の壁に沿って進み、左手に見える急な坂道を登ると❽**ドン・ペドロ5世劇場**。その右側に❾**聖オーガスティン教会**、つきあたりが❿**ロバート・ホー・トン図書館**。これらの建物に囲まれているのが⓫**聖オーガスティン広場**です。

12 広場から道幅の狭い東方斜巷を新馬路へと下っていくと、マカオの中心ともいえる⓬**セナド広場**に着きます。広場を見渡す建物は⓭**民政総署**。広場の両側には南欧風の建物が建ち並び、その中に白く輝く建物が⓮**仁慈堂**です。広場の左側に並ぶ露店の裏手には⓯**三街會館（關帝廟）**があります。

16 仁慈堂の一つ先の通り板樟堂巷の坂を上っていくと⓰**大堂（カテドラル）広場**があり、その一角には⓱**大堂（カテドラル）**がそびえ建っています。そこから大堂巷を下ると、右手に典型的な中国式家屋の⓲**盧家屋敷**があります。⓳**聖ドミニコ広場**は板樟堂街に左折した先にあり、そこに建つ教会が⓴**聖ドミニコ教会**です。

21 聖ドミニコ広場から少し戻り賣草地街に左折、通りに沿って道を登って行くと、石畳の道の先に開けてくるのが㉑**イエズス会記念広場**。その奥に㉒**聖ポール天主堂跡**の大きなファサード（石の前壁）が見えてきます。そして右隣には㉓**モンテの砦**が城壁をかまえています。

24 聖ポール天主堂跡のすぐ脇にあるのが㉔**ナーチャ廟**と㉕**旧城壁**。さらに花王堂街を真っ直ぐ歩けば右手に㉖**聖アントニオ教会**、正面のロータリーの向こうに㉗**カモンエス広場**があります。㉘**カーザ庭園**、㉙**プロテスタント墓地**は広場に隣接しています。マカオ半島で最も高いギアの丘（海抜92m）にある㉚**ギア要塞（ギア灯台とギア教会）**は東側の稜線に映えています。

◆世界遺産の開館時間◆
修復工事や宗教的理由などにより、開館時間が変わる場合もある。詳細はマカオ文化局世界遺産案内 ページを参考に。
http://www.macauheritage.net/wh/mhtimetableE.asp（英文）

澳門歴史城區 ＊各遺産の説明は（ ）内のページをご参照ください。

1. 媽閣廟	(P.18) 媽閣廟／マァコッミュウ
	07：00～18：00
2. バラ広場	(P.18) 媽閣廟前地／マァコッミュウチンデイ
3. 港務局	(P.18) 港務局大樓／ゴンモウゴッダイラウ
	09：00～18：00（回廊のみ）
4. リラウ広場	(P.18) 亞婆井前地／アーポゥジェンチンデイ
5. 鄭家屋敷	(P.18) 鄭屋大屋／ジョンガアダインゴッ
	10：00～18：00（水曜休館・祝日開館）
6. 聖ローレンス教会	(P.18) 聖老楞佐教堂（風順堂）／スィンロウレンジョカウトン（フォンソントン）
	10：00～21：00
7. 聖ヨセフ修道院及び聖堂	(P.18) 聖若瑟修院及聖堂／スィンヤッサッサウユンカッスィントン
	10：00～17：00（聖堂のみ）
8. ドン・ペドロ 5 世劇場	(P.18) 崗頂劇院（伯多祿五世劇院）／コンデンゲッユン（パットウロッンーサイゲッユン）
	10：00～23：00（庭園のみ）
9. 聖オーガスティン教会	(P.18) 聖奧斯定教堂（龍嵩廟）／スィンオウシーティンカウトン（ロンソンミュウ）
	10：00～18：00
10. ロバート・ホー・トン図書館	(P.18) 何東圖書館大樓／ホートントウシュウグンダイラウ
	10：00（日曜 11：00）～19：00
11. 聖オーガスティン広場	(P.18) 崗頂前地／コンデンチンデイ
12. セナド広場	(P.10) 議事亭前地／イースィーテンチンデイ
13. 民政総署	(P.10) 民政總署大樓／マンゼンジョンチュダイラウ
	09：00～21：00（ギャラリーは月曜休館）
14. 仁慈堂	(P.10) 仁慈堂大樓／ヤンチィトンダイラウ
	10：00～17：30（12：30～14：30 と月曜祝日は休館）
15. 三街会館	(P.10) 三街會館（關帝廟）／サンガイウイグン（グァンダイミュウ）
	08：00～18：00
16. 大堂（カテドラル）広場	(P.10) 大堂前地／ダイトンチンデイ
17. 大堂（カテドラル）	(P.10) 大堂（主教座堂）／ダイトン（ジュカウゾォトン）
	07：30～18：30
18. 盧家屋敷	(P.13) 盧家大屋／ロウガァダインゴッ
	10：00～18：00（月曜休館・祝日は開館）
19. 聖ドミニコ広場	(P.10) 板樟堂前地／パンチョントンチンデイ
20. 聖ドミニコ教会	(P.10) 玫瑰堂／ムイクヮイトン
	10：00～18：00
21. イエズス会記念広場	(P.13) 耶蘇會紀念廣場／イエソウウイゲイニングォンチョン
22. 聖ポール天主堂跡	(P.11) 大三巴牌坊／ダイサンパァパイフォン
23. モンテの砦	(P.13) 大炮台／ダイパウトイ
	7：00～19：00
24. ナーチャ廟	(P.12) 哪吒廟／ナーチャミュウ
	08：00～17：00
25. 旧城壁	(P.12) 舊城牆遺址／ガウセンチョンワイジィ
26. 聖アントニオ教会	(P.12) 聖安多尼教堂（花王堂）／スィンオンドォネイトン（ファーウォントン）
	07：30～17：30
27. カモンエス広場	(P.12) 白鴿巢前地／パッカッチャオチンデイ
28. カーザ庭園	(P.12) 東方基金會會址／トンフォンケイカムウィ
	09：30～18：00　ギャラリーは 09：30～18：00（土日曜祝日は休館）
29. プロテスタント墓地	(P.12) 基督教墳場／ケイトッカゥファンチョン
	08：30～17：30
30. ギア要塞（ギア灯台とギア教会）	(P.17) 東望洋炮台（聖母雪地殿聖堂及燈塔）／
	トンモンヨンパウトイ（スィンモウスュッデイディンカウトンカッダンタッ）
	要塞は 09：00～18：00　教会は 10：00～18：00＊撮影禁止

資料提供：マカオ特別行政区政府文化局

マカオの交通手段

バス

公共バス会社3社が早朝から深夜まで、マカオ半島内はもちろん、タイパ、コタイ、コロアン間を結んで合計60路線が運行されている。行き先、運行スケジュール、ルートなどの詳しい情報は、各バス停に中国語とポルトガル語で表示されている。

料金は先払いで、距離によって3.2パタカから6.4パタカまで。おつりは出ないので、乗車時に料金分の硬貨の用意が必要。降車時は細長いゴム製のベルトか、降車ボタンを押す方式。多くのバスが循環運行のため、行き先と周り方の方向を確認して乗車しよう。

なお車両はすべてエアコン完備。大型バスは前の扉から乗車し、車体中央の扉から下車する。

路線案内
下記のマカオ交通事務局のウェブサイトでバスルートやバス停案内、乗り換え案内などを確認できる(英語・中国語・ポルトガル語)。

www.dsat.gov.mo/bus
※マカオ観光局のウェブサイト (http://jp.macautourism.gov.mo) のトップページにリンクバナーあり

◎ 運行会社：以下の3社が運行する。

「澳門新福利公共汽車」
(TRANSMAC - Transportes Urbanos de Macau, S.A.R.L.)
TEL2827-1122　www.transmac.com.mo
「澳巴」
(Sociedade de Transportes Colectivos de Macau, S.A.R.L.)
TEL2885-0060　www.tcm.com.mo
「澳門新時代公共汽車」
(NEW ERA / MACAU NOVA ERA DE AUTOCARROS PUBLICOS, S. A)
TEL2875-5210　www.newera.com.mo

◎ 料金：以下の通りで、日本の公共バスに比べてかなりリーズナブル。

・マカオ半島内一律	3.20パタカ
・マカオ半島～タイパ間	4.20パタカ
・マカオ半島～コロアン・ビレッジ間	5.00パタカ
・マカオ半島～コロアン・ハクサ・ビーチ間	6.40パタカ
・タイパ内およびコロアン内一律	2.80パタカ
・タイパ～コロアン・ビレッジ間	3.20パタカ
・タイパ～コロアン・ハクサ・ビーチ間	3.60パタカ

◀アマラル広場のバス乗り場は行き先別に分かれている。案内図を参照して行きたい方面へのバスを待とう。アマラル広場からはマカオ内のあらゆる方面へのバスに乗車できる。

▲マカオの公共バスは、マカオ国際空港を含め、マカオ半島、タイパ、コタイ、コロアンのさまざまな場所を網羅している。

▲マカオの中心部にあって利用しやすいバスターミナルのアマラル広場。ほとんどのバスが経由、あるいは発着するマカオ最大のバスターミナルだ。

◀ごく一般的なバス停の例。上部の目立つ位置に路線番号(「2」や「6A」など)が表示される。その下の円柱形のものは路線毎の停留所の一覧。

▲停留所一覧では行き先と周り方がひと目で確認できる。

◀このバス停は全部で9路線が通っていることがわかる。なおマカオ国際空港行きバスの路線番号には頭に「AP」が付く。同様に深夜バスには「N」が付く。

▲路線によっては細い通りや坂道、路地を通るバスもあり、使い慣れるとどこに行くにも便利。

▲バスは手を上げて乗車の意思表示をしないと止まらない場合がある。また満車の場合はそのまま通過してしまうことが多い。

全8コースのウォーキングルートへ専用バスを使って楽々アク

マカオ観光局の8つのウォーキングルートを網羅する専用バスが運行している。料金は100パタカ(65歳以上、12歳以下は50パタカ)で、チケットは1枚買うと1枚は無料。いずれのバス路線上でも自由に乗り降り可能。販売はマカオ国際空港、マカオ・フェリーターミナル、出入境ゲート、ハーバービュー・ホテル・マカオ、ザ・ランドマーク・マカオ、ホテル・サンサン、ポウサダ・デ・サンティアゴにて(10～17時)。

●バスルートA
[出発地]マカオ・フェリーターミナル
[出発時間]11:00/12:30/14:30/16:00/17:30
[バスルート]マカオ・フェリーターミナル→マカオ・フィッシャーマンズ・ワーフ→観音像文化センター→財神(フォーチュン)ビジネスセンター→ポウサダ・デ・サンティアゴ→司打口→マカオ・フェリーターミナル(所要約1時間30分)
[対応するコース]
コース1(P8)、コース3(P18)、コース4(P14)

主要バスターミナル 以下の３つのバスターミナルから マカオの各地へバスが出発する。

慣れないうちはこれらのターミナルから乗車するのがおすすめ。
・アマラル広場（ホテル・リスボア前）　Map P15-E1
・バラ広場（媽閣廟の近く）　Map P19-E1
・マカオ出入境ゲート（マカオ半島の最北部）　Map P21-A1

▲マカオ・パス
バスを使った観光にはマカオ・パスが便利。購入は、セブン-イレブンなどのコンビニかスーパーで。

便利なマカオ・パス（澳門通）www.macaupass.com

マカオ・パスは、バスの乗車のほか買い物にも利用できるICカード。ミニバスを含めた３社すべてのバス路線に対応している。30パタカのデポジットと、最低100パタカのチャージで、合計130パタカから購入できる。乗車後、運転席の脇のカードリーダーにタッチするだけと簡単。小銭を持ち歩く必要がないので非常に便利。また複数名分の運賃を一括で払うこともできる（運転手に身振り等で処理を依頼する）。残額はその都度、カードリーダーに表示される。購入やチャージはセブン-イレブンや新苗超級市場などの主要スーパーマーケットで。払い戻しは、サービスセンター（世界貿易センター１階Map P16-B1）と黒沙環南澳花園分行でのみ受け付けている。購入後２ヶ月以内、手数料は10パタカ、デポジットの30パタカは払い戻しの対象にならない。

▲アマラル広場のバスターミナル。次々とバスが発着を繰り返す様は圧巻だ。バス停上部のボードに書かれた数字が、このバス停を経由するバスの路線番号を表す。バス前面の液晶に表示される路線番号と照らし合わせて乗車するバスを選ぼう。

▲マカオ半島北部などの住宅密集地域では通常の大型バスにくわえ、より小回りが利くミニバスも運行しているが、利用方法は共通だ。

▲マカオ半島からタイパやコタイ、コロアンへのバスも多く運行されている。なお車内の液晶表示には中国語とポルトガル語で次のバス停が表示されるほか、車内アナウンスもある（いずれもバスによっては英語の表示およびアナウンスがある場合も）。

●ホテルの無料シャトルバス●

多くのホテルが宿泊客または施設利用客向けに、ホテルと各フェリーターミナル、出入境ゲート、マカオ国際空港などの間に無料バスを運行している。運行スケジュールやルートは各乗り場やホテルで確認を。

クセス

※出発時間，停留所は変更されることがありますので、最新情報はウェブサイトで確認：
en.macautourism.gov.mo/plan/walking_tours.php?id=2601

● バスルートB

［出発地］マカオ・フェリーターミナル
［出発時間］11:00/12:00/13:00/14:30/15:30/16:30/17:30
［バスルート］
マカオ・フェリーターミナル→塔石広場→観音堂→出入境ゲート→マカオ・フェリーターミナル（所要約１時間）
［対応するコース］
コース６（P9）、コース２（P14）、コース５（P20）

● バスルートC

［出発地］出入境ゲート
［出発時間］11:00/13:00/15:00/17:00
［バスルート］
出入境ゲート→マカオ・フェリーターミナル→タイパ・フェリーターミナル→官也街→アントニオ・ラマルホ・エアネス大統領広場（コロアン・ビレッジ）→出入境ゲート（所要約２時間）
［対応するコース］
コース７（P22）、コース８（P26）

タクシー

日本に比べてリーズナブルに利用できる。英語はほとんど通じないため漢字表記の行き先メモなどを用意するのがおすすめ。

空車に手を挙げて乗車するか、主要ホテルや街中に乗り場がある。ただし朝夕の通勤時間や雨天時は空車が激減するので時間には余裕をもって利用したい。またマカオは一方通行が多く、迂回路を利用することも多い。

メーターの使用が義務付けられており、レシートももらえる。料金は初乗り1600mで17パタカ、その後260mごとに２パタカが加算される。

待ち時間は１分ごとに２パタカ、トランクに荷物を積んだ場合は１個あたり３パタカの追加料金が必要。

マカオ国際空港から乗車した場合と、マカオ半島からコロアンへの乗車にはさらに５パタカが加算される。同様にタイパからコロアンへの乗車にも２パタカの追加料金が必要。一方、マカオ半島からタイパ、あるいはタイパやコロアンからマカオ半島への乗車には追加料金は不要。

▲マカオ・フェリーターミナルのタクシー乗り場。マカオ半島内のホテルへの料金の目安は50パタカ前後。

▲街中のタクシー乗り場の表示。新馬路などの主要スポットに乗り場があるが、流している空車を利用するのが一般的。

▲雨天時などで流しのタクシーが拾いにくい場合はホテルのタクシー乗り場から乗車するのがおすすめ。

COURSE 1

活気あふれる新馬路から歴史が香る内港へ

マカオの歴史をたどる

古くから栄えたマカオ中心部を歴史散歩。ポルトガル風の広場や世界遺産の教会、にぎやかな商業ストリートを通って庶民的な港エリアまで、マカオの来し方行く末をたどろう。

◆想定所要時間 28 分◆ ①南灣大馬路→②民政総署→③セナド広場→④中央郵政局→⑤聖ドミニコ教会→⑥三街会館(関帝廟)→⑦質屋博物館→⑧同善堂歴史檔案陳列館→⑨上架行会館→⑩庇山耶街→⑪福隆新街→⑫清平戯院跡→⑬白眼塘横街(カルデイラ通り)→⑭内港→⑮オピウム・ハウス→⑯オルタ広場(司打口)

基点の①**南灣大馬路**はかつての海岸線。今では埋め立てにより海は遠ざかり、ファッションブランドショップが軒を連ねています。南灣大馬路と、メインストリートの通称新馬路(サンマァロウ)との交差点を、新馬路に沿って進むと、やがて左手に②**民政総署**。そして新馬路を挟んだ向かいには③**セナド広場**があります。

セナド広場は大海原をイメージするポルトガル風の石畳(カルサーダス)が美しく、また中央の噴水には大航海時代の象徴である天球儀のオブジェが置かれ、ポルトガル風建築の民政総署(地方自治局)と併せ、一帯にはリスボンを思わせる街並みが広がります。また④**郵政局**や仁慈堂が広場を囲むように建ち並ぶほか、広場を奥に進むと前方左手には⑤**聖ドミニコ教会**が、そのクリームイエローのファサードを陽光に輝かせています。聖ドミニコ教会同様に世界遺産に登録されている⑥**三街会館(関帝廟)**を見学したら、再び新馬路へ。

内港方面に新馬路を進むと右手に見えるのが⑦**質屋博物館**。近くの⑧**同善堂歴史檔案陳列館**や⑨**上架行会館**もお見逃しなく。さて、路線バスがひっきりなしに行き交い、きらびやかな宝飾店が軒を連ねる新馬路から爐石塘巷に分け入りましょう。細い道の両側には土産物屋や庶民的な食堂が並び、マカオ名物アーモンドクッキーの甘い香りが漂っています。清朝時代にアヘン吸引用の煙管の生産で栄えた⑩**庇山耶街**、そしてかつての遊郭で紅殻色の格子窓が美しい⑪**福隆新街**と、ひなびたなかに独特のしっとりとした味わいが楽しめる一角。マカオ最初の広東オペラ劇場だった⑫**清平戯院跡**があるのもこのあたりです。

古きよきマカオの面影が濃厚に残る⑬**白眼塘横街(カルデイラ通り)**をゆっくり歩いて⑭**内港**へ。新馬路が内港に突き当たると、正面には大きくソフィテル・マカオ・アット・ポンテ16。内港沿いの火船頭街を左手に進むと、進行方向右手には珠海行きのフェリーターミナルがあります。そのすぐ先の左手にはアヘンの貯蔵庫だった⑮**オピウム・ハウス**が往時の姿を留めています。その向かいの⑯**オルタ広場(司打口)**で歴史散歩を締めくくりましょう。

COURSE 6

聖ポール天主堂跡に隣接するオールドマカオへ

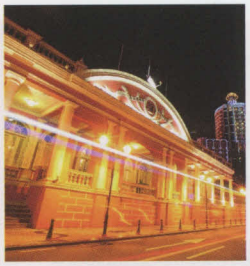
古廟と教会を訪ねて

基点はランドマークの聖ポール天主堂跡。教会部分を焼失しながらもファサードのみが厳かに立ち続ける姿を堪能したら、ゆっくりとマカオ半島を北上、世界遺産の教会や静かな古廟を訪れよう。

◆想定所要時間 41 分◆ ①聖ポール天主堂跡→②旧城壁→③ナーチャ廟→④ナーチャ展示館→⑤恋愛通り→⑥マカオ・ホー一族協会→⑦永福囲→⑧聖アントニオ教会→⑨カモンエス公園→⑩カーザ庭園→⑪プロテスタント墓地→⑫三巴門土地廟→⑬包公廟及び医霊廟→⑭鏡湖病院内孫文(孫中山)像→⑮消防博物館→⑯蓮溪廟→⑰新橋花園→⑱三盞燈→⑲葉挺邸

案内所 世界遺産 ホテル カジノ トイレ ベンチ 病院 食事処 ショップ スーパー コンビニ 銀行・両替 タクシー乗り場 オーディオガイド

COURSE 1



①南湾大馬路　南灣大馬路
Avenda da Praia Grande　Map P9-D4

南灣湖に沿ってマカオ半島南部に向かって延びる 1130m の通りで、ポルトガル名はプライア・グランデ通り Avenida da Praia Grande。その東端にはサンフランシスコ・ガーデンやミリタリークラブ、南灣湖に面した辺りには政府総部（特別行政区政府）があり、歴史的建築物を眺めながら散策をゆったり楽しめる。

③セナド広場　議事亭前地
Senado Square　Map P9-D3

周囲をパステルカラーの建物に囲まれ、波形模様の石畳が特徴の広場。街の中心部で常に観光客で賑わっている。広場の中央では天球儀を据えた噴水池が水をたたえている。西側にあるマカオ観光局では、観光情報が入手できる。
（開）09:00～18:00。

⑤聖ドミニコ教会　玫瑰堂
St. Dominic Church　Map P9-C3

1587 年に最初の教会が建てられその後 17 世紀に改修された。聖ポール天主堂によく似たバロック様式のファサードはクリーム色の石造り。バラの聖母が祀ってあるため、中国語でばら（玫瑰）の教会と呼ばれている。内部にはキリスト教関連の品々を展示した博物室もある。教会前の広場も世界遺産。（開）10:00～18:00

⑦質屋博物館　典當業展示館
Heritage Exhibition of a Traditional Pawnshop Business　Map P9-C2

新馬路に面して建つ、ひときわ歴史を感じさせる 3 階建ての建物で、豪商の高可寧が経営する質屋「徳成按」だった（開業 1917 年）。1993 年の廃業後、博物館として整備され 2003 年から一般に公開されている。質屋ならではの内装や帳簿類などの備品が興味深い。（開）10:30～19:00 第一月曜休館。
入館料：5 パタカ

⑧同善堂歴史檔案陳列館
Tung Sin Tong Historical Archive Exhibition Hall　Map P9-C2

1892 年以来今日まで、貧しい人々を対象にさまざまな慈善活動を行ってきた同善堂。その歴史を貴重な資料により紹介。
（開）09:30～17:30 火曜・祝日休館。

⑩庇山耶街（別名 爐石塘巷）　Rua de Camilo Pessanha　Map P9-C2~D2

昔は湿地帯だったが清朝時代にポルトガルによって埋め立てられたエリアで、遠く北京にまで輸出されたというアヘンを吸引する煙管（キセル）の生産で知られた。

⑬カルデイラ通り　白眼塘横街　Rua da Caldeira　Map P8-C1~P9-D2

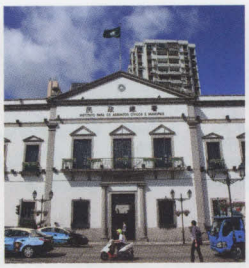
内港に近く、かつては台風の際の避難所が設けられた通り。古い港町らしく小規模な老舗ホテルや土産物屋が並ぶ様子に、昔日のにぎわいの名残が感じられる。

⑮オピウム・ハウス　鴉片屋　Opium Hous　Map P8-D1

19 世紀後半の建築物。英国によって内港に水揚げされたインド産アヘンの貯蔵庫として機能。その後、同善堂運営の医療機関が入居している。内港全盛時代の典型的な建物として貴重な存在。

仁慈堂（博物館）　仁慈堂大樓
Holy House of Mercy　Map P9-D3

日本と中国の初代司教 D・ベルキオール・カーネイロが 1569 年、アジアで最初の慈善福祉活動施設として仁慈堂を開設した。2 階の博物館には、宗教芸術品や古文書が展示してある。入口は建物北側の小路に面している。
（開）10:00～12:30、14:30～17:30
月・祝日休館。入館料：大人 5 パタカ。



②民政総署（地方自治局）　民政總署大樓
"Leal Senado" Building　Map P9-D3

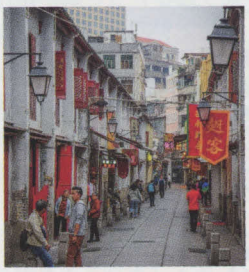
セナド広場に面して建つポルトガル建築の建物は市民生活を司る政府機関。1 階ギャラリーでの展覧会と内壁のアズレージョ（ポルトガルの絵タイル）、2 階の図書館は是非見ておきたい。
中 2 階中庭に、ポルトガルの詩人ルイス・デ・カモンエスの胸像がある。
（開）09:00～21:00（ギャラリーは月曜休館）

④中央郵便局　郵政總局
General Post Office Building　Map P9-D3

セナド広場に面した歴史的建築物で 1929 年に建てられた。マカオ最初の慈善協会である同善堂が入っていたが、現在は中央郵便局となっている。マカオでは切手の発行が盛んで、世界遺産やイベントなどさまざまなテーマの切手が入手できる。（開）月～金曜 09:00～18:00、
土曜 09:00～13:00

⑥三街会館　三街會館（關帝廟）
Sun Kai Vui Kun(Kuan Tai Temple)　Map P9-D3

三国時代の蜀の武将関羽を祀った廟。関羽は軍神、財神として崇められている。20 世紀初頭、この廟周辺は地元の中国商人たちが集まる中国貿易の中心地だった。廟が西洋建築の一角に存在するという事実が東西文化の共生を物語っている。（開）08:00～18:00



⑪福隆新街
Rua da Felicidate　Map P9-D2

マカオの主要埠頭は現在の外港ではなく、中国大陸が間近の内港であったが、その内港から至近距離にある通り。紅灯街だったことでも知られ、当時の面影を残しつつも中国料理やポルトガル料理のレストラン、土産物店、お洒落なカフェが集まる、観光客に人気の通りとなっている。夜間や雨天時にも情緒あふれる眺めが楽しめる。

⑨上架行会館　上架行會館　Carpentry Guildhall　Map P9-C2

マカオ最古の労働組合として清朝時代に設立された大工職人組合の集会所で、もともとは 1840 年に建てられた。現在の建物は 1855 年の火災で焼失後に再建されたもの。

⑫清平戯院　清平戲院　Cheng Peng Theatre　Map P9-D2

1875 年に建てられたマカオ最初の劇場で、地元客向けに広東オペラが演じられた。1992 年までは映画館、さらに倉庫を経て廃墟となっていた。現在修復作業中。

⑭内港　Inner Harbour　Map P8-B1~P8-D1

中国本土を間近に臨み 3500m に及ぶ海岸線からなる内港は、東アジアの一大交易都市マカオ最初の港湾として多くの商船で賑わい、最盛期には 34 の桟橋を備えた。

⑯オルタ広場（司打口）　柯邦迪前地（司打口）
Praça de Ponte e Horta　Map P8-D1~P8-D2

清朝時代にはインドから流入するアヘンを水揚げする桟橋があった場所で、マカオが阿片戦争（1840～1842 年）に大きな関わりを持ったことを今に伝える。その後の埋め立てにより現在のようなマカオ市民が憩う広場に。

大堂と大堂広場　大堂（主教座堂）/ 大堂前地
The Cathedral/Cathedral Square　Map P9-C4

創建は 1622 年頃で、土と藁でできたタイパというレンガで築かれた。現在の建物は 1937 年に再建されたもので、ファサードは 2 つの鐘楼とステンドグラスが特徴の簡素な装飾。聖母マリアを奉る教会で、祭壇下には 16 ～ 17 世紀までの歴代司教の遺骨が埋葬されている。
（開）07:30～18:30

COURSE 6

朝から夜まで観光客が途切れないマカオのランドマークを皮切りに、世界遺産の名所をたどりつつマカオ半島北部の下町エリアまで足を延ばしましょう。聖と俗、西洋と東洋、マカオを象徴する対照要素の双方をとことん味わえる奥深いコースです。

スタート地点の①**聖ポール天主堂跡**の荘厳なファサードの左奥にはひっそりと立つ②**旧城壁**。その脇には③**ナーチャ廟**と④**ナーチャ展示館**があります。キリスト教と東洋の民間信仰が違和感なく隣り合う姿にマカオらしさを実感できます。

⑤**恋愛巷**を経て大三巴街、花王堂街に針路をとれば、左手に⑥**マカオ・ホーー族協会**と⑦**永福囲**が現れます。さらに北に進むと、坂を登りきったところにあるのが⑧**聖アントニオ教会**。その奥には⑨**カモンエス公園**、⑩**カーザ庭園**、⑪**プロテスタント墓地**が隣接しています。プロテスタント墓地から東に延びる連勝街を進むと、道沿いには⑫**三巴門土地廟**、⑬**包公廟及び医霊廟**、そして⑭**鏡湖病院**。病院内に孫文像があるのは、かつて彼がここで働いていたことがあるためです（以降、21 ページの地図参照）。

⑮**消防博物館**を最後に連勝街に別れを告げ、鏡湖馬路を北へ。すると左手には道教寺院の⑯**蓮溪廟**に続き、中国式庭園の⑰**新橋花園**が見えてきます。この辺りまで来るとすっかり活気あふれる下町の雰囲気に。ローカルフードの屋台が周辺に集まる⑱**三盞燈**を経て、⑲**葉挺邸**までの道のりでは、マカオ市民の生活の息吹をたっぷりと味わえます。

①聖ポール天守堂跡　大三巴牌坊　Ruins of St. Paul's　Map P9-B3

聖霊や聖人像が彩る
ファサードは
イエズス会の
「石に刻まれた説教」

❶ 聖霊を象徴する鳩

❹❻ 6 体の天使と菊

❹ 聖 I・ロヨラ
（イエズス会創立者）

❺ 聖 F・ザビエル

❸ 七つの頭を持つ龍

❻ 毎年 5 月のマカオ芸術祭では「3D プロジェクション・マッピングショー」も行われる。

もとは聖アントニオ教会の礼拝堂だったが、1582 年に現在のところに移された。その後何度かの火災に遭い、1835 年の火事でファサード（正面の壁）と階段だけが残り、現在の姿となっている。

ファサードはイエズス会の典型的な西洋バロック様式の建築で、大きな石の組み合わせで建てられている。寸分の誤差も許されない作業で、35 年の歳月がかけられた。大きさは幅 20m、高さ 19m で、四層からなっている。ファサードの彫刻の中には東洋的図柄も含まれている。

ファサードの上にあるペディメントには、❶聖霊を象徴するブロンズ製の鳩が飾られ、鳩の右に太陽、左に月、羽根の上下には 4 つの星が見られる。

さらに❷頂上にはラテン十字架が置かれている。ファサードは「石の説教」と言われ、宗教の教えが目に見える形で要約されている。ペディメントの下の段には、❸キリストの受難の象徴であるイバラの冠やムチ、金槌など、その下には❹純潔の象徴である菊、そして❺十字架を抱いた天使が刻まれている。

中段では聖母の役割が表現され、昇天を祝う❻6 体の天使に囲まれた❼聖母が中央に置かれている。2 体の天使は祈り、2 体は音楽を奏で、後の 2 体は香炉を振っている。聖母の左には❽命の泉、❾帆船、❿女性の肉体をした悪魔が彫刻され、右には⓫生命の樹、⓬聖母に踏みつけられる 7 つの頭を持つ龍、⓭骸骨、そして⓮台座の脇には、力と王権を象徴するライオンがある。

下の段では、イオニア式の柱の間に 3 つの窓が開き、イエズス会の聖人像が見られる。左から順に、⓯福者フランシスコ・ボルジャ、⓰聖イグナチオ・ロヨラ、⓱聖フランシスコ・ザビエル、⓲福者アロイシウス・ゴンザーガの 4 体。⓳中央入口の上にラテン語で「MATER DEI」（神の母）の文字、⓴台座の左側面には「1602 年マカオ市によって偉大な聖母に捧げられた」と書かれた碑文がある。また㉑イエズス会の紋章が大きく描かれている。

②旧城壁　舊城牆遺址
Section of the Old City Walls　Map P9-B2

1569年、ポルトガル人はオランダ人をはじめとする外敵から居留地防衛のために城壁を築いた。聖ポール天主堂跡の脇には、16～17世紀にかけて築かれた城壁の一部が残り、強固な城塞都市だった中世マカオの姿を今に伝えている。当時張り巡らされた城壁の様子は海事博物館に展示されたパノラマ図で確認できる。

④ナーチャ展示館　哪吒展示館
Na Tcha Exhibition Hall　Map P9-B2

神童ナーチャを紹介する資料館。毎年旧暦5月18日に行われるナーチャ祭の際に街中を練り歩くナーチャ像と山車が見もの。また何世紀にも渡ってマカオ市民の生活に根付いてきたナーチャ信仰に関する資料も豊富にそろう。
(開)10:00～18:00 水曜休館(祝日は開館)。

⑥マカオ・ホー一族協会　何族崇義堂
Macau Ho's Clan Association　Map P9-B2

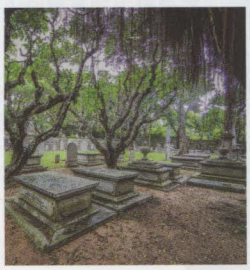
マカオのカジノ王として君臨するスタンレー・ホー氏をはじめとする何一族の宗廟で、実業家のホー・イン(何賢)の寄付で1955年に建てられた。現在修復作業中。

⑦永福囲　永福圍
Pátio da Eterna Felicidade　Map P9-B2

聖ポール天主堂跡と聖アントニオ教会との間に位置する中国様式の歴史的建築エリアで物エリアで、この地区にかつて住んだ中国人コミュニティの生活様式を伝える。現在修復中。

⑨カモンエス公園　白鴿巢公園
Camões Garden　Map P8-A1~P9-A2

ベンガル菩提樹が生い茂る、マカオで最も古いと言われている公園。16世紀のポルトガルの国民的詩人ルイス・デ・カモンエスを讃えた胸像が、大きな丸石でできた自然の洞窟に置かれている。台座には、著作「ウス・ルジアダス」(ルジタニアの人々)の中の2節が刻まれている。市民が集う公園前の広場は世界遺産。



⑪プロテスタント墓地　基督教墳場
Protestant Cemetery　Map P9-A2

イギリス人やアメリカ人の宣教師、貿易商人など約150人が眠る墓地。入口には英中辞典を編纂、聖書の中国語訳を行った伝道師ロバート・モリソンを記念したモリソン礼拝堂がある。芸術家ジョージ・チナリー、宰相ウィンストン・チャーチの祖先J.S.チャーチル卿なども眠っている。
(開)08:30～17:30

⑭鏡湖病院内孫文(孫中山)像　Map P9-A3
Statue of Dr. Sun Yat Sen(in Hospital Kiang Wu)

1911年の辛亥革命を主導した孫文(孫中山)。若き日に香港で西洋医学を修めた後、マカオで医師として開業するとともに、鏡湖病院でも眼科医として勤務した孫文を記念し、病院敷地内には白衣姿の銅像が立てられている。後の革命家の揺籃の地であったマカオには孫文ゆかりの史跡が多い。

⑱三盞燈
Rotunda de Carlos da Maia　Map P21-D2

ロータリー中心の円形広場の中央には1本の街灯。角度によって4つある電灯が3つにしか見えないのが名称の由来。周囲は繁華街で、衣料品店や雑貨屋が建ち並び、屋台での食べ歩きが楽しい。特にミャンマー、タイ、インドネシアなど東南アジア料理を出す店が多い。

③ナーチャ廟　哪吒廟
Na Tcha Temple　Map P9-B2

仏教の神で軍神として崇められている毘沙門天。その子供のナーチャ(哪吒)は、「西遊記」に登場する神童で、アジア各国で知られている。19世紀末のマカオで疫病が流行した際にその伝染病を鎮めるため、哪吒を祀る小さな廟が建てられた。
(開)08:00～17:00

⑤恋愛通り　戀愛巷
Travessa da Paixão　Map P9-B3

「恋愛通り」というロマンティックな名を持つ石畳の小路。パステルカラーの洋館が両側に並び、その向こうには聖ポール天主堂跡のファサードが見え隠れする絶好の撮影スポット。本来「キリストの受難」を表すポルトガル語Paixãoが「情熱」と誤訳され、転じて「恋愛」を表すように。

⑧聖アントニオ教会　聖安多尼教堂(花王堂)
St. Anthony's Church　Map P9- B2

1558年頃マカオで最初のキリスト教礼拝堂があった場所に教会が建てられ、イエズス会が初期の本部を設置した。2度火災にあい、現在の教会は1930年に再建されたもの。ポルトガル人がここで結婚式をあげていたことから、中国語で「花王堂」という名前が付けられた。
(開)07:30～17:30

⑩カーザ庭園　東方基金會會址
Casa Garden　Map P9-A2

1770年にポルトガルの裕福な商人マヌエル・ペレイラの別荘として建てられた。その後イギリス・東インド会社が借り上げ、1990年代に美術館として改築された。現在は東方基金會の所有。
(開)庭園・ギャラリー　09:30～18:00
(但しギャラリーは土・日曜・祝日休館)

⑫三巴門土地廟　Tou Tei Temple in Sam Pa Mun　Map P9-A2

古代より広く信仰されている土地神を祀った小ぢんまりとした古廟で300年以上の歴史を持つ。毎年旧暦2月2日の土地誕では多くの信者が訪れる。

⑬包公廟及び医霊廟　包公廟及醫靈廟
Pao Kong Temple and Temple of Divinity of Medicine　Map P9-A3

1889年に大流行した疫病を根絶する願いを込めて建立された道教寺院。北宋の時代の政治家で後に神格化され正義を司る神として信仰を集める包公を祀っている。

⑮消防博物館　Fire Services Museum　Map P21-E2

1920年に建てられた歴史的建築物に歴代の消防車が並べられて見応えたっぷり。19世紀半ばから始まったマカオの消防局の歩みを伝える。
(開)10:00～18:00

⑯蓮溪廟　Lin Kai Temple　Map P21-E2

観音をはじめ財神、北帝など10以上の神様を祀った道教寺院。現在の建物は光緒年間(1875-1908)に再建された。廟前には毎朝市が立ってにぎわう。

⑰新橋花園　San Kio Garden　Map P21-E2

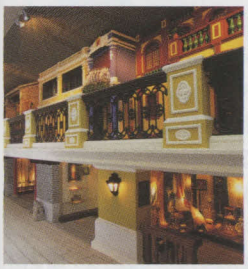
蓮溪廟からすぐ近くの伝統的な中国スタイルの庭園でマカオ市民の憩いの場。周辺は露天市や食べ物の屋台が出て活気にあふれる。(開)07:00～18:00

⑲葉挺邸　葉挺故居　Ye Ting Residence　Map P21-E3

国共内戦～日中戦争で戦った軍人、葉挺の旧宅。2階建ての洋館で、家具や調度品を展示。家族と寛ぐ銅像も。(開)10:00～18:00　水曜休館(祝日は開館)。

イエズス会記念広場　耶蘇會紀念廣場
Company of Jesus Square　Map P9-B3

聖ポール天主堂跡へと続く階段の下に位置してファサードを仰ぎ見る石畳の広場は、聖ポール天主堂を建立したイエズス会にちなんだ名称。コロニアル調の建築物に囲まれてポルトガル風情が色濃い。ポルトガルと中国との友好を表す一対のブロンズ像が立ち、記念撮影のメッカとなっている。



マカオ博物館　澳門博物館
Macau Museum　Map P9-B3

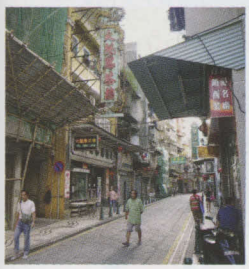
1999年にマカオが中国に返還されたのを機に、マカオの歴史、伝統、文化を伝える目的で、17世紀に築かれた砦跡に建てられた。砦の基礎部分や砲床は現在展示スペースとなっている。
(開)10:00～18:00(入場17:30まで) 月曜休館。入館料:大人15パタカ、11歳未満と60歳以上は8パタカ。毎月15日は無料。

天主教芸術博物館　天主教藝術博物館
Museum of Sacred Art　Map P9-B3

聖ポール天主堂跡後方には、日本人やベトナム人殉教者の遺骨が安置されている地下納骨堂と、16～19世紀におけるマカオの教会や修道院所有の品々が展示された博物館がある。「長崎二十六聖人殉教図」の複製画などもあり、日本との結び付きが深かったことを思わせる。
(開)09:00～18:00(火曜14:00まで)

サンフランシスコ・ガーデン　南灣花園
St. Francisco Garden　Map P9-C5/P15-D1

1935年の台風で広さは1883年頃の造設当時の半分になってしまった。階段上の奥にある円形の建物は、第一次世界大戦で戦死したポルトガル戦士を追悼して建てられたもの。現在は障害者協会本部となっている。緑に覆われた広大な公園で、隣接した繁華街の喧噪は届かない。午前中は太極拳を楽しむ人々が集まる。

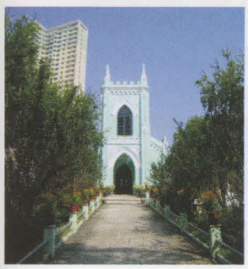


十月初五日街
Rua de Cinco de Outubro　Map P9-C2~P8-B1

内港に近い通りで一見、古い商店街のようだが、マカオの交易の中心地として内港エリアが栄えた時代にはマカオ随一の繁華街で、貿易業を営む商人が次々と店を構えた。今も営業を続ける老舗の中国茶問屋や茶楼、歴史ある道教寺院の康公廟などに往時の華やぎの残り香を感じ取れる。

ヴァスコ・ダ・ガマ公園　華士古達嘉瑪花園
Vasco da Gama Garden　Map P9-B1/P15-C1

1898年にインド航路発見400年を記念して造られた公園で、ポルトガルの大航海時代の英雄ヴァスコ・ダ・ガマの胸像が飾られている。早朝には太極拳をする市民が集まってくる。ここから急な坂道を登り詰めればギアの丘。また東望洋街とオランダ通りを渡ればそこはラザロ地区と、どこに行くにも便利な立地。公園内は「Wi-Fi GO」に接続可(利用無料)。



聖ミカエル墓地　聖味基墓場
St. Michael, the Archangel Cemetery　Map P9-A4/P15-C1

カトリック教徒の墓地で、ポルトガル人や中国系マカオ人が眠っている。中には1875年に建てられた聖ミカエル礼拝堂があり、個性的なデザインの墓石の前にはいつも美しい花が供えられている。そのひとつに、「津山スガ之墓」と刻まれた墓標。異国の空の下、1919年に45歳で亡くなったという彼女の生涯に想いを馳せずにはいられない。

マカオ政府観光局　澳門特別行政區政府旅遊局
Macau Government Tourism Office　Map P9-D3

セナド広場に面したコロニアル調のビル1階にある観光案内所。地図やパンフレットなどを入手できるほか、スタッフに直接質問したい場合も便利。携帯型オーディオガイドのレンタルおよび返却もこちらで。セナド広場、民政総署と併せてWi-Fiの無料接続サービスWi-Fi Goを利用できる。
(開)09:00～18:00

モンテの砦　大炮台
Monte Fortress　Map P9-B3

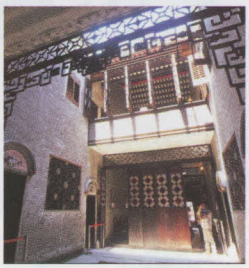
1617～1626年にイエズス会の修道士によって築かれた高さ53mの要塞で、「聖パウロ要塞」が正式名。1622年6月24日、侵略を試みたオランダ艦隊の弾薬庫をこの砦の大砲が爆破し街を守り抜いた。これを記念し、1999年の中国返還までは「マカオの日」の祝日としていた。
(開)07:00～19:00

營地街市(市場)
Mercado de S.Domingos　Map P9-D3

セナド広場から徒歩すぐの7階建ての近代的なビルはその内部が公設市場になっており、観光客をよそにマカオ市民が肉や野菜など新鮮な食材の買い出しに訪れて終日にぎわう。またローカルフードの食堂が集まるフードコートがあり、空調の効いた屋内で休憩がてら食事をとるのもよい。

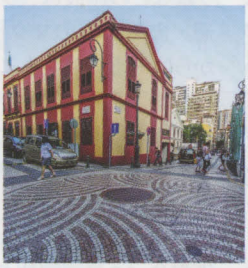
ミリタリー・クラブ　澳門陸軍俱楽部餐廳
Military Club　Map P9-D5/P15-D1

濃いピンク色の外壁と柱や窓枠の白が印象的なポルトガル様式の建物は、19世紀に建てられた当時は陸軍俱楽部のレストランだった。現在は一般に開放された優雅なポルトガル料理のレストラン。コロニアル調の内装が古きよき時代の面影を残している。ランチタイムにはブッフェもあり気軽に利用できる(ドレスコードあり)。



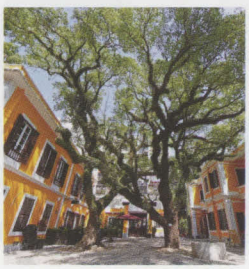
盧家屋敷　盧家大屋
Lou Kau Mansion　Map P9-C3

1889年頃建てられた中国の商人盧九一家の邸宅。清代後期西関建築様式で、灰色レンガを使用した中庭のある二階建て中国式住居。内装は東洋と西洋の混合様式で、風水を取り入れて設計されている。
(開)10:00～18:00(入館17:30まで)
月曜休館(祝日開館)



瘋堂斜巷
Calçada da Igreja de S. Lazaro　Map P9-A4/P15-C1

モンテの砦とギアの丘に挟まれた谷間の一角で、ポルトガル風石畳のカルサーダスが敷き詰められた静かな裏通りには南欧風の建物がずらりと並ぶ。昨今はアートギャラリーが増え、あてのない散策がますます楽しくなった。週末には路上でジャズの演奏会が開かれることも。



仁慈堂婆仔屋　藝竹苑(仁慈堂婆仔屋)
Albergue SCM　Map P9-A4/P15-C1

南欧風の街並みが楽しいラザロ地区の一角にあるポルトガル建築で、かつては慈善福祉団体の仁慈堂が運営する、未婚女性のための介護施設だった。現在はブティックやギャラリー、ポルトガル雑貨店、レストランなどのテナントが入る、ポルトガル風のお洒落な文化的空間に生まれ変わっている。

COURSE 2

緑滴る公園を通って南欧風情のラザロ地区へ

自然とアートにふれる

マカオ半島北部の下町を基点に、歴史の舞台や偉人の旧宅を訪れ、過ぎ去った日々の記憶をたどりましょう。途中にはオアシスを思わせる緑豊かな公園があり、散策の疲れを癒してくれる。

◆想定所要時間 25 分◆ ①観音堂→②二龍喉花園→③孫文記念館→④ロウリムイオック庭園→⑤塔石芸文館→⑥塔石広場→⑦聖ラザロ教会

境内に線香の豊かな香りが漂う①**観音堂**から散策を始めましょう。観音堂はマカオ三大寺院に数えられている古刹。1844 年に清米通商友好条約が結ばれた舞台としても知られています。

美副將大馬路を南東に進み、東望洋山（ギアの丘）の方角へ。その麓にある公園が②**二龍喉花園**です。ここから丘の上まではロープウェイで楽々アクセスが可能。時間に余裕があればギア灯台やギアの聖母教会、ギア要塞をめぐりましょう。特にギア灯台からは、ホテルが建ち並ぶ外港エリアを一望でき、晴天時ははるか香港のランタオ島まで視野に入れる絶景を堪能できます。丘の上をぐるりと一周する遊歩道が整備されていて、ゆっくり歩いても所要時間は 30 分ほど。

自然に恵まれた二龍喉花園で季節の花々をゆっくり楽しんだら、徒歩すぐの③**孫文記念館**へ。1911 年の辛亥革命を主導した孫文は、「國父」として広く尊敬を集めています。中庭に建つ孫文像は、彼の支援者であった梅屋庄吉が寄贈した 4 体のうちの 1 体です。

孫文記念館の 1 ブロック西側にある庭園が④**ロウリムイオック庭園**。マカオでももっとも中国色の濃い、蘇州様式の公園で、初夏になると池を埋め尽くす蓮の眺めがみごと。庭園内はマカオ市民の憩いの場。太極拳や広東オペラを楽しむ人々を眺めながら、ゆったりとした時間の流れに身を任せるのもおすすめです。また隣接するマカオ茶文化館にも立ち寄りたいところ。週末になると中国茶の試飲が楽しめます。

ロウリムイオック庭園から荷蘭園大馬路（オランダ通り）を南下すると、コロニアル調の建物に囲まれた石畳の⑥**塔石広場**に出ます。ヨーロッパ風の建物は、現在はいずれも政府機関のオフィスですが、そのなかの一棟の⑤**塔石芸文館**はギャラリーになっていて、新進気鋭のアーティストによる絵画やイラストなどを鑑賞できます。

さて、オランダ通りをさらに南に進み、瘋堂斜巷を右手に入ると⑦**聖ラザロ教会**があります。16 世紀の創建で、現存する教会としてはマカオでもっとも古いもののひとつで、もともとはハンセン病患者のための療養施設に付属の礼拝堂として建てられました。聖ラザロ教会の周辺が、石畳とパステルカラーの洋館が南欧風の雰囲気を醸し出すラザロ地区です。

COURSE 4

風光明媚なウォーターフロントをそぞろ歩き

芸術と文化を求めて

マカオ・フェリー・ターミナルからほど近いマカオ・フィッシャーマンズ・ワーフを基点に、マカオ科学館、観音像仏教文化センターと、外港エリアのランドマーク的な施設をめぐり、芸術や文化を味わおう。

◆想定所要時間 34 分◆ ①マカオ・フィッシャーマンズ・ワーフ→②マカオ科学館→③マカオ文化センター→④マカオ芸術博物館→⑤マカオ返還寄贈品博物館→⑥観音像仏教文化センター

あふれんばかりに降り注ぐ陽光と、大海原のブルーが目にしみる外港沿いのウォーターフロントを歩き、点在する文化施設をゆっくりめぐりましょう。

基点はマカオ・フェリーターミナルから徒歩でアクセスできる①**マカオ・フィッシャーマンズ・ワーフ**。広大な敷地内に古代ローマのコロッセオを模した大型の野外劇場やレストラン、ショップ、さらにはカジノが集まる巨大テーマパークで、この中だけで終日過ごせるほど。敷地内のホテル・ロックスやハーバービュー・ホテルに滞在するのもよいでしょう。

ここから外港に沿って、潮風に吹かれながら南下すると、まるでロボットのような、超モダンな外観の②**マカオ科学館**が近づいてきます。専用メガネをかけて楽しむ 3D プラネタリウムなどの施設は、ファミリーで楽しむのに最適。また館内のマクドナルド（マックカフェ）からは外港の眺めもよく、休憩するのにぴったりです。

マカオ科学館を後に、孫文（号は逸仙）の名を冠した大通りの孫逸仙大馬路を渡ると③**マカオ文化センター**。ここはマカオにおける文化行事の殿堂で、毎年 5 月頃開催のマカオ芸術祭や、10 月頃開催のマカオ国際音楽祭には、地元をはじめ世界各国からミュージシャンやパフォーマーが訪れ、自慢のステージを繰り広げます。マカオ文化センターに隣接する④**マカオ芸術博物館**、さらには⑤**マカオ返還寄贈品博物館**へも足を延ばしましょう。マカオ芸術博物館はマカオをテーマにした写真や絵画などさまざまな展示が目白押し。英国人画家ジョージ・チナリーによるマカオの風景画は必見です。チナリーはマカオのプロテスタント墓地に眠っています。またマカオ返還寄贈品博物館では、中国各地からマカオ返還のお祝いとして贈られた美術品が展示されています。

さて、孫逸仙大馬路をさらに南へ下ると、外港に突き出すように立つ巨大なブロンズの観音像が間近に見えてきます。蓮をかたどったドーム状の台座の内部は⑥**観音像仏教文化センター**として整備され、仏教関連の展示が見もの。ゆっくり展示物を鑑賞したら、観音像の周りのベンチに腰をおろし、沖に見えるタイパの眺めを心ゆくまで眺めましょう。その後は孫逸仙大馬路を渡り、緑あふれる宋玉生公園を通ってマカオ中心部に戻るのがよいでしょう。また、MGM マカオへも徒歩すぐでアクセスできます。

螺絲山花園
(モンターニャルサ公園)
ミニ・ゴーカート場
P21-C4
馬交石炮台
通信博物館
馬交石炮台馬路
モスクと墓地
治安警察局
貯水塘
フロール・ベラ
観音古廟及城隍廟
観音堂
美副將大馬路
沙度娜(スイーツ)
俾利喇街
Course 2 スタート
望廈墳場
総合体育館
亞馬喇馬路
盛記白粥
雅廉訪大馬路
肥利喇亞美打大馬路
文第士街
利多餐廳
檀香山咖啡(カフェ)
鮨味亭
聯記麵家
嘉年華酒樓
ボディショップ
マクドナルド
ペレイラプラザ
フーファ・グァンドン・ホテル
高士德大馬路
培正中学
飛能便度街
士多鳥拜斯大馬路
二龍喉花園
ロープウェイ乗降口
松山
ポスト
鮨味亭
檀香山咖啡(カフェ)
盧廉若公園
(ロウリムイオック庭園)
國父紀念館(孫文記念館)
治安警察局 交通局
松山市政公園
澳門茶文化館
松苑(麵・雲呑)
發記咖啡
荷蘭園大馬路
得勝公園
得勝馬路
売店
ポルトガルと中国の友好記念碑
東望洋山
(ギアの丘)
松山隧道
塔石藝文館
(ギャラリー)
亞豐素街
歴史檔案室
中央図書館
塔石廣場
東望洋街
新花園プール
東望洋炮台
聖母雪地殿聖堂及燈塔
(ギア教会と灯台)
聖味基墳場
(聖ミカエル墓地)
文化局
西墳馬路
P09-B4
曼谷餐廳
澳門文化廣場(本)
この辺りタイ料理店多い
望德堂
聖ラザロ教会
仁慈堂婆仔屋
藝竹苑
瘋堂斜巷
体育館
ホテル・ギア
ロイヤル
東望洋斜巷
澳門金融管理局
エレベーター
羅理基博士大馬路
Course 2 ゴール
禮記雪糕公司(スイーツ)
藝舍
コロンビア(スポーツ用品)
華士古達嘉馬花園
(ヴァスコ・ダ・ガマ公園)
雀仔園街市(市場)
歩道橋
ポルトガル領事館
坤記餐室
仁伯爵総合医院
(山頂醫院)
Be-1Sports(スポーツ用品)
ポスト
水坑尾街
郵便局
星光書店(書籍)
マクドナルド
天神巷
屈臣民(ドラッグストア)
澳門大會堂(映画館)
Café E.S.Kimo
美麗街
大堂(カテドラル)
八角亭
南灣花園
(サンフランシスコ・ガーデン)
聚龍酒店
澳門保安部隊博物館
澳門陸軍俱楽部餐廳
(ミリタリー・クラブ)
約翰四世大馬路
南灣大馬路
ハッピー・ファミリー・ホテル
グランド・リスボア
新葡京娯楽場
ポルトガル語学校
ホテル・リスボア
葡京娯楽場
シントラ
群発廣場
中國銀行大廈
新八佰伴(デパート)
英皇宮殿娯楽場
グランド・エンペラー・ホテル
殷皇子大馬路
蘇亞利斯博士大馬路
バスターミナル
亞馬喇前地
パフォーマンス・レイク(噴水)
ウィン・マカオ
永利娯楽場
MGMマカオ
美高梅金殿娯楽場
沙格斯大馬路
タイパ橋
メトロパーク・ホテル
リオ・ホテル
利澳娯楽場
何賢公園
ザ・ランドマーク・マカオ
地下通路
法老王宮殿
エンペラー・ホテル
ホリデイ・イン・マカオ
假日鑽石娯楽場
フォーチュナ
財神娯楽場
ホテル・ビバリー・プラザ
金碧娯楽場
プレジデンテ・ホテル
スター・ワールド・ホテル
星際娯楽場
ラルク・ホテル・マカオ
澳門凱旋門
城市日大馬路
新馬路
聯邦大酒楼
警察署
北京街
上海街
マカオ・グランプリ
毎年11月の第3木～日曜に、市内の一般道路をレース場として開催されるグランプリ・レース。オートバイ・レース、ツーリングカー・レース、F3レースなど各種レースが行われる。
グランプリ観覧席
友誼大馬路
旅行社 バス駐車場
新澳氹大橋
歩道橋(フェリーターミナル2Fから続いている)
澳門外港客運碼頭
マカオ・フェリーターミナル
ヘリポート
外港
回力海立方娯楽場
(カジノ・オセアナス)
Course 4 スタート
駐車場
ホテル・カーザ・レアル
皇家金堡娯楽場
ゴールデン・ドラゴン
金龍娯楽場
亜熱帯美食坊
陶香居酒家
九記飯店
漁人碼頭
(フィッシャーマンズ・ワーフ
アミューズメントパーク
会議展覧会場)
旅遊活動中心
盛世蓮花廣場
(蓮の花の広場)
大賽車及葡萄酒博物館
(マカオグランプリ/ワイン博物館)
綜藝館
樂斯餐廳
地下通路
澳門理工學院
ワルド・ホテル
銀河華都娯楽場
グランド・ラパ・ホテル
集美娯楽場
サンズ
金沙娯楽場
ハーバービュー・ホテル・マカオ
ホテル・ロックス
巴比倫娯楽場
サウス・チャイナ(日系旅行社)
ランカイフォン・マカオ
蘭桂坊娯楽場
エイビス・レンタカー
知心按摩中心(マッサージ)
高美士街
長崎街
マカオ・ポルトガルカルチャーセンター(2F)
澳門回歸賀禮陳列館
(マカオ返還寄贈品博物館)
澳門文化中心
(マカオ文化センター)
澳門藝術博物館
(マカオ芸術博物館)
孫逸仙大馬路
マカオ航空
インディアン・ガーデン
宋玉生公園
Course 4 ゴール
觀音蓮花苑
觀音像仏教文化中心
(仏教文化センター)
P16-A1
ウォーターフロントエリアは16ページを参照。
0 100 200m
N
観光案内所
世界遺産
ホテル
カジノ
トイレ
ベンチ
病院
食事処
ショップ
スーパー
コンビニ
銀行・両替
タクシー乗り場
オーディオガイド

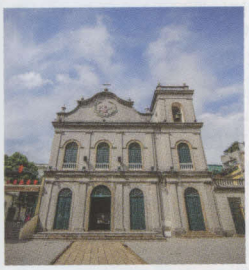
Course 4 スタート
Course 4 ゴール
P15-C4
P15-D2
ハーバービュー・ホテル・マカオ
巴比倫娯楽場
ホテル・ロックス
この先
澳門科學館（マカオ科学館）
華仕達大馬路
地下通路
盛世蓮花廣場（蓮の花の広場）
友誼大馬路
サンズ
サンズ カジノ
金沙娯楽場
ワルド・ホテル
銀河華都娯楽場
グランド・ラパ・ホテル
集美娯楽場
マカオ文化中心（マカオ文化センター）
澳門返還寄贈品博物館
澳門藝術博物館（マカオ芸術博物館）
盈昌珠寶金行（ジュエリー）
老餅家手信店（土産物）
星海茶餐室
AKASAKA Cafe
洗星海大馬路
歩道橋
サウス・チャイナ（日系旅行社）
エイビス・レンタカー
ランカイフォン・マカオ
蘭桂坊娯楽場
世界貿易センター
1F 澳門通客戸服務中心
（マカオ・バス・カスタマー・センター）
知心按摩中心（マッサージ）
東方浴足按摩保健中心（マッサージ）
澳門紀念品（土産品）
ポスト
Joy's Chin（ヘアーサロン）
南岸花園
Blue Mountain Cafe
国記（ジューススタンド）
インディアン・ガーデン
倫敦街
珠光大廈
馬德里街
長崎街
玫瑰園葡國餐廳
新華大廈商場
2F 中国旅行社
3F 萬豪軒酒家
高美士街
馬濟時總督大馬路
ア・バイヤ（ポルトガル料理）
ピザ・ハット
ラ・ベル（ネイルサロン）
リリカル（カフェ）
柏林街
大豊廣場
巴黎街
富達花園
布魯塞爾街
建興龍広場
羅馬街
東南亜花園
新武二
便民薬房（薬）
Luxe（カラオケ）
パシフィックワインマート（ワイン）
味蔵
新口岸餐廳
官燕荘（燕の巣／漢方薬）
リオ・ホテル
利奥娯楽場
友誼大馬路
澳門航空公司 マカオ航空
澳門賽馬會
皇朝按摩中心（マッサージ）
宋玉生廣場
星級卡拉酒吧（カラオケ）
21世紀卡拉OK（カラオケ）
孫逸仙大馬路
櫻花咖啡
何賢公園
澳門教科文中心圖書館（ユネスコ図書館）
MD Cafe
Cafe FREE
超級金龍電器市場
宋玉生公園
インディアン・スパイス
イン
觀音蓮花苑
觀音像仏教文化中心（仏教文化センター）
海金鮮悦火軒鍋酒家
薬局
メトロパーク・ホテル
北京街
ザ・ランドマーク・マカオ
法老王宮殿
葡萄園餐廳
車站（カラオケ）
帝景苑美食
光輝集團商業中心
イフ（セレクトショップ）
武二
佛笑楼2
ハウス・カフェ
黄金海岸
オピアラム（バー）劉伶吧
居酒屋・三四郎
萬
帝景苑
加路
足楽軒（マッサージ）
検察院刑事訴訟事務所
獲多利中心
皇朝廣場
中土大廈
飛南第街
上海街
滋味滿屋（カフェ）
新好景美食中心
エンペラー・ホテル
金濠海鮮火鍋飯店
好彩運飯店
司法警察局
カサブランカ・カフェ
夜光杯餐廳
MP3（バー）
DOMGALO アンティカトラットリア
江南苑
倫斯泰特大馬路
DEE8（ステーキハウス）
ホリデイ・イン・マカオ
假日鑽石娯楽場
警察署
松花湖水餃
スター・ワールド・ホテル
星際娯楽場
聖德倫街
ラルク・ホテル・マカオ
澳門凱旋門
科英布拉街
警察署（交番）
質屋街
波爾圖街
タコス
柏嘉街
自然派（スパ）
マクドナルド
上海灘菜館
咀香園餅家
ロータリー
ポスト
新時代
馮記
プレジデンテ・ホテル
城市日大馬路
カジノ出入口
出入口
鼎泰豊
廣州街
ホテル・ビバリー・プラザ
フォーチュナ
財神娯楽場
羅理基博士大馬路
ウィン・マカオ
永利娯楽場
MGMマカオ
美高梅金殿澳門娯楽場
ホテル出入口
無料シャトルバス乗り場
金碧娯楽場
連絡通路
ホテル出入口
パフォーマンス・レイク（噴水）
マンダリン・オリエンタル・マカオ
ワンセントラル・マカオ（ショッピングモール）
ホテル・リスボア
葡京娯楽場
葡京路
グランド・リスボア
沙格斯大馬路
この辺りからマカオタワーの眺めが良い
0 50 100m
観光案内所
世界遺産
ホテル
カジノ
トイレ
ベンチ
病院
食事処
ショップ
スーパー
コンビニ
銀行・両替
タクシー乗り場
オーディオガイド

①観音堂　普濟禅院
Kun Iam Tong　Map P15-A1/P21-D3

マカオ三大寺院のひとつ。現在の建物は1627年のもので、大雄寶殿、長寿仏殿、本殿の3つからなる構造。本殿に祀られた観音像の傍にはマルコ・ポーロを描写したという羅漢像が。庭に置かれた御影石の円形テーブルと椅子は、1844年に清米通商友好条約が調印された際のテーブルの復元。(開)07:00 ～ 17:30

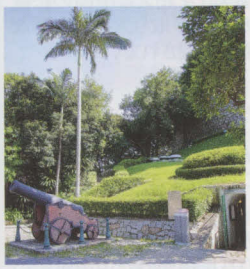
③孫文記念館　國父紀念館
Dr. Sun Yat Sen's Memorial House　MapP15-B1/P21-E3

中国近代革命の創設者、孫文に関する資料が納められている。孫文はマカオで医者として勤務しており、その滞在を記念して建てられたもの。建物は北アフリカのムーア式の建築様式で、バルコニーの柱にその特徴が見られる。
(開)10:00～ 17:00　火曜休館。



⑦聖ラザロ教会　望德聖母堂
St. Lazarus Church　Map P9-A4/P15-C1

1568年ハンセン病の病院付属の礼拝堂として初代マカオ司教が開設したマカオで最も古い教会のひとつ。周辺には19～20世紀にかけて造られた中国人信者のコロニアル様式の建物が残されており、歴史的価値の高いエリアである。
(開)07:00～11:00　14:30～18:00
火曜休館

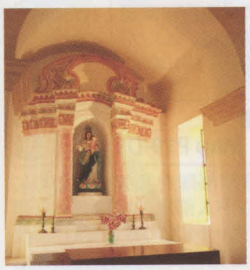


ギア要塞　東望洋灯台
Guia Fortress　Map P15-C2/P21-E4

海抜92mの丘に造られた要塞で1638年の完成。外敵脅威対策の目的と同時に、ここで台風の接近を知らせる鐘を鳴らした。「松山」の名の由来は、1883年の緑化計画で岩山に松の木を植樹したため。ケーブルカー料金:片道3パタカ、往復5パタカ。運行8:00～18: 00　月曜運休　要塞:(開)09:00～17:30　防空壕:(開)10:00～17:00　月曜休館

ギア灯台　東望洋燈塔
Guia Lighthouse　Map P15-C2/P21-E4　世

海抜92mのギアの丘に、聖母教会に隣接して建つ。西洋式灯台としては中国で最も古く、1865年の点灯以来、現役で活躍を続けている。雲の無い夜は32kmの彼方まで灯が届く。電気が引かれる前に使用されていたパラフィンランプのオリジナルは海事博物館に展示されている。内部は非公開だが毎年5月の「港務局の日」に合わせ公開される。



ギアの聖母教会　聖母雪地殿聖堂
Guia Chapel　Map P15-C2/P21-E4　世

1622年頃の建立とされており、17世紀当時のマカオが、キリスト教伝道と文化的活動の基地という歴史的役割を果たしていたことを物語る。内部は上部祭壇がひとつだけの簡素なもの。見どころは天井や壁のフレスコ画で、キリスト教の聖人のほかに中国の絵柄も見られる。内部は撮影禁止。(開)10:00～18:00(入館17:30まで)

⑤塔石芸文館　塔石藝文館　Tap Seac Gallery　Map P15-B1

1920年代に建てられた歴史的建築物の洋館を活かしたアートギャラリーで文化局の運営。内部の井戸やパティオも興味深い。(開)10:00～19:00

⑥塔石広場　塔石廣場　Tap Seac Square　Map P15-B1~P15-C1/P21-E3

かつては練兵場だった広場で、2007年にポルトガル風の石畳(カルサーダス)が敷き詰められた。広場を囲むように多くの歴史的建築物の洋館が建ち並び、南欧の街角の風情が味わえる。今日はさまざまな文化イベントが開催されている。

②二龍喉公園
Flora Garden　Map P15-B2/P21-D4

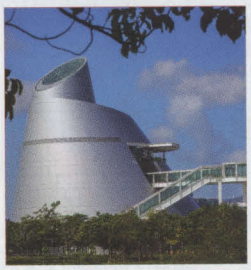
マカオ半島の7つの丘でもっとも高いギアの丘(東望洋山)の麓にある緑豊かな公園。かつてはポルトガル貴族の邸宅だった。敷地内に整備された花壇には季節毎の花が咲き誇り、ミニ動物園や鳥舎もあって散策中の休憩に向く。公園入口にはロープウェイ乗り場があり、ギアの丘の頂上へも簡単にアクセスできる。(開)06:00 ～ 20:30

④ロウリムイオック庭園　盧廉若公園
Lou Lim Ieoc Garden　Map P15-B1/P21-E3

もとは中国人豪商の盧九(盧華紹)の庭園で、市民の憩いの場となっている。現在は元の敷地の半分。古典的な蘇州様式の造りで、特に有名なのは「九曲橋」。真っ直ぐにしか歩けないと信じられている幽霊を通らせないように、橋を9回ジグザグに曲げている。(開)06:00～21:00

①マカオ・フィッシャーマンズ・ワーフ　澳門漁人碼頭
Macau Fisherman's Wharf　Map P15-B3~P15-C4

マカオ・フェリー・ターミナルに隣接した外港沿いの埋め立て地につくられたテーマパークで、敷地面積は13万㎡以上。夜間に美しくライトアップされるヨーロッパ風の街並みのほか、古代ローマの円形劇場や唐城など巨大な建築物も目をひく。ホテルが2軒あるほか、カジノ、ショップ、レストラン、フードコートなど充実した施設。



②マカオ科学館　澳門科學館
Macau Science Center　Map P16-A4

2009年末に渦巻き型の建物がウォーターフロントにオープン。設計者はルーブル美術館のガラスのピラミッドを設計したI.M.ペイ。ギャラリーは14、宇宙、地球、環境、人間などをテーマにし、ゲームを通じて科学を学ぶ。3Dのプラネタリウムがある。(開)10:00～18:00　木曜休館。入館料:大人25パタカ～。

⑥観音像仏教文化センター　觀音蓮花苑
Kun Iam Ecumenical Centre　Map P15-E3/P16-C4

ウォーターフロントから突き出た橋の先に優雅に佇む観音像は、高さ20m、重さ50トンのブロンズ像。作者はポルトガル系女性アーティスト。蓮型の台の座下は2階建てのドームで、仏教博物館となっている。観音像や展示物が並ぶ部屋や階下には図書館、多目的ルームがある。
(開)10:00～18:00　金曜休館。

盛世蓮花広場　盛世蓮花廣場
Lotus Square　Map P15-C3/P16-A1

毎朝マカオの区旗と中国の国旗掲揚が行われる広場。一角にはマカオのシンボルである金色の蓮の花の彫像がある。これは1999年のマカオ返還の記念として中国から寄贈されたもの。高さ6m、重さ6.5トンのブロンズに金箔を施し、花の直径は最大3.6mにも及ぶ。マカオグランプリ/ワイン博物館へも徒歩すぐ。

③マカオ文化センター　澳門文化中心　Macau Cultural Centre　Map P15-D4/P16-B3

大小のホールを備えたイベントホールで、これまで「ピーターパン」や「フェーム」など著名なブロードウェイ・ミュージカルも上演されている。

④マカオ芸術博物館　澳門藝術博物館　Macau Museum of Art　MapP15-D4/P16-B3

書や絵画、写真などビジュアルアートに特化した美術館。
(開)10:00 ～ 19:00 入館料:5パタカ(日曜は無料)

⑤マカオ返還寄贈品博物館　澳門回歸賀禮陳列館　Handover Gifts Museum of Macau　Map P15-D3/P16-B3

1999年のマカオ特別行政区の発足を記念し、中国各地から寄贈された工芸品や芸術品が展示されている。(開)10:00～19:00 月曜休館(祝日は開館)

COURSE 3

数珠つなぎに現れる世界遺産を縫って南へ

東西文化の交差点

セナド広場を基点に南に向かえば、行く手にははるか大航海時代を想起させる教会や史跡が次々と現れる。マカオ半島南端にはマカオの名の由来となった寺院があり、その先には海が広がっている。

◆想定所要時間 24 分◆ ①セナド広場→②聖オーガスティン広場→③聖ヨセフ修道院及び聖堂→④聖ローレンス教会→⑤鄭家屋敷→⑥リラウ広場→⑦媽閣廟→⑧マカオ海事博物館

②聖オーガスティン教会　聖奥斯定教堂
St. Augustine's Church　Map P19-B2 世

1586 年木造の神学校として創設され、1591 年にこの場所に移設された。現在の教会は 1874 年の建設。カリスの聖母（聖オーガスティン）が祀ってある。パッソス聖体行列はこの教会から大堂へ巡行する。教会前は幾何学模様が石畳に描かれた世界遺産の広場。
（開）10:00～18:00

④聖ローレンス教会　聖老楞佐教堂
St. Lawrence's Church　Map P19-C2 世

マカオに現存する最初期に建てられた教会のひとつ。1560 年の創建時は木造で、現在の石造建物は 1803 年のもの。新古典様式の建築で中国産のタイルを使用した屋根やターコイズブルーに塗られた天井が特徴。建物の規模や数回にわたる修復から、この周辺は裕福な地域であったことがうかがえる。
（開）10:00～17:00　＊官印局衛から入堂

⑥リラウ広場　亞婆井前地
Lilau Square　Map P19-C2 世

リラウとはポルトガル語で「山泉」。昔はこの天然の湧き水がマカオの主要な水源だった。「リラウの水を飲んだ者は決してマカオを忘れることはない」というポルトガル人の詩がある。この地域は初期ポルトガル人定住地の一つで、人々のこの広場に対する愛着が表現されている。昔、井戸の側にいつも老女が座っていたことから「お婆さんの井戸」と名付けられた。

⑧澳門海事博物館
Macau Maritime Museum　Map P19-E1

中国とポルトガルの海洋交流をテーマにした歴史博物館。日本との交易も紹介されており、1600 年代の日本の南蛮屏風の展示や日本語の解説文もあり、興味深い。海洋交通の要であったマカオの歴史が理解できる。
（開）10:00～18:00　火曜休館
料金：大人 10 パタカ　日曜 5 パタカ。

ドン・ペドロ 5 世劇場　崗頂劇院
Dom Pedro V Theatre　Map P19-B2 世

19 世紀中頃東洋で最も古い男性クラブによりヨーロッパ式ゲーム場として建設され、その後オペラ劇場として利用されている。新古典様式の建築で、淡いグリーンと白の色調が美しい。ファサードはセルカル男爵による設計で、イオニア式の円柱がペディメントを支えている。
（開）10:00～18:00（火曜休館、」祝日開館）

ペンニャ教会　主教山小堂
Chapel of Our Lady of Penha　Map P19-D2

1622 年オランダ船の襲撃から逃れた船員や乗客たちによって建立された。1837 年再建、1935 年には全面的に建て直された。隣接する司教館は、かつての東洋におけるカトリック布教の拠点となったところ。教会前の広場にはマリア像が航海を見守るように立っている。
（開）09:00～17:00

③聖ヨセフ修道院及び聖堂　聖若瑟修院及聖堂
St. Joseph's Seminary and Church　Map P19-B2 世

1728 年創設の修道院では大学レベルの教育が行われ、アジア地域で布教活動に携わった多数のイエズス会宣教師を輩出した。1758 年にバロック様式で建てられた教会には聖フランシスコ・ザビエルの右上腕骨の一部が祀られている。
（開）聖堂 10:00～17:00
三巴仔横街側から入堂。

⑤鄭家屋敷　鄭家大屋
Mandarin's House　Map P19-C2 世

1881 年建設の屋敷は、中国清時代の思想家鄭觀應の邸宅だった。鄭家が屋敷を手放した後荒廃した建物を、政府が 8 年をかけて修復し 2010 年に公開された。総部屋数 60 を超える中国の伝統的な建築様式に西洋の装飾が取り入れられるなど、当時の優雅な大邸宅が再現されている。
（開）10:00～18:00　水曜休館

⑦媽閣廟
A-Ma Temple　Map P19-D1 世

海の守護神である女神「阿媽（アーマー）」が祀られているマカオ最古の寺院。中国語で「マァコッミュウ」と呼ばれていることから、マカオの地名発祥の地と言われている。中庭の石に描かれた中国帆船の絵は、嵐の中、中国から阿媽を乗せてたどり着いたジャンク船。廟前の広場は世界遺産のバラ広場。
（開）07:00～18:00

ロバート・ホー・トン図書館　何東圖書館大樓
Sir Robert Ho Tung Library　Map P19-B2 世

1894 年以前に建てられたポルトガル人ドナ・キャロリーナ・クンハの住居を、香港のビジネスマンであったロバート・ホー・トン卿が 1918 年に購入。別荘として使用していたが、1955 年の没後、遺言により公立図書館としてマカオ政府に寄贈された。地元の学生で常ににぎわっている。
（開）10:00（日曜 11:00）～ 19:00

港務局　港務局大樓
Moorish Barracks　Map P19-D1 世

1874 年、マカオの警察部隊を補強するためにゴアから派遣されたインド人部隊の宿舎だった建物。イタリアの建築家カスートにより建設された。建築様式にはイスラムの影響が見られる。現在は港務局の事務所として使用されている。夜間は美しくライトアップされる。
（開）回廊のみ 09:00 ～ 18:00

ポウサダ・デ・サンティアゴ　聖地牙哥古堡酒店
Pousada de São Tiago　Map P19-E1

マカオ半島最南端に位置するもと要塞で、1629 年マカオの内港を守るために築かれたもの。現在はコロニアル様式の 5 つ星の宿泊施設として利用されている。1740 年に建立された礼拝堂が残っており、祭壇には陸軍の守護神が祀られている。石造りの床やアズレージョも当時のままで宿泊しないまでも、食事や休憩に訪れてもよい。

カルサーダスが美しい①**セナド広場**からスタート。マカオ半島を南下し、やはりカルサーダスが美しい媽閣廟前のバラ広場へ向かうコースです。大航海時代のマカオに教会建設の槌音が高らかに響いた、古きよき時代を訪ねます。

セナド広場から新馬路を渡り、民政総署横の急斜面の東方斜巷を登りきると、カラフルな石畳が美しい②**聖オーガスティン広場**に出ます。広場周辺にはいずれも世界遺産に登録されているロバート・ホー・トン図書館、聖オーガスティン教会、ドン・ペドロ5世劇場が集まっています。パステルカラーの建物と石畳が醸し出す南欧の雰囲気が散策に彩りを添えています。

劇場の先の坂道を下り、龍嵩正街から官印局街へ進み、風順堂上街へと右折するとすぐ、聖フランシスコ・ザビエルの骨を祀った③**聖ヨセフ修道院及び聖堂**があります。印刷局街へ戻るとそこに建つ④**聖ローレンス教会**の別名は風順堂。マカオで最も古い教会のひとつで、航海の守護神の聖ローレンスが祀られています。かつて船乗りの妻たちは教会前の石段に腰掛け、夫の航海の無事を祈ったと伝わっています。

風順堂街から高楼街をしばらく進むと、右手には清朝末期の思想家で孫文や毛沢東に影響を与えた鄭觀應が居を構えた⑤**鄭家屋敷**。また左手にはポルトガル人の初期の定住地だった⑥**リラウ広場**があります。ベンチに腰掛けゆうゆうと時間を過ごすマカオ市民の仲間入りをして休憩するのもよいでしょう。「リラウの水を飲んだ者は決してマカオを忘れることはない」と謳われた井戸はすでにありませんが、小さな水場があって往時を偲ぶことができます。

さらに媽閣街を進むと右手にはムーア式建築の港務局。夜間には美しくライトアップされます。その先がゴールのバラ広場で、広場に面して⑦**媽閣廟**と⑧**マカオ海事博物館**があり、それぞれマカオの歩んできた歴史を旅行者に伝えています。

COURSE 5

公園や寺院で活気あふれる庶民の生活にふれる

マカオ北部の下町散歩

中国本土との出入境口に近いマカオ半島北部は、南欧風ムードが色濃い半島中南部と異なり、ぐっと中国色が濃い下町エリア。市場や露天で庶民の活気を味わいながら散策を続けよう。

◆想定所要時間 25分◆
①出入境ゲート→②三角花園→③蓮峯廟→④マカオ林則徐記念館→⑤OXウェアハウス(牛房倉庫)→⑥観音古廟と城隍廟→⑦モンハの砦

スタート地点は中国本土からの大勢の観光客でごった返す**①出入境ゲート**。ホテルの宿泊客やカジノ客を運ぶシャトルバスがひっきりなしに行き交いにぎやかな雰囲気です。日本国籍を持つ旅行者なら中国本土へのビザは免除されるため(15日以内の観光の場合)、パスポートを提示して出境手続きをすれば中国側の珠海市を訪問できます(開門時間は6～25時)。關閘から**②三角花園**に向かう途中には両替所や庶民向けの食堂、小さな商店が道の両側に密集し、活気に満ちた庶民生活に早くも圧倒されそうです。

三角花園で右折し、警察署前の交差点を左折すると**③蓮峯廟**。マカオ三大寺院のひとつで、16世紀以来の歴史を持つ古刹です。かつての中国とポルトガルとの国境に近かったため、清朝の官吏の宿舎としても使われました。敷地内には**④マカオ林則徐記念館**を併設。林則徐はアヘン密輸取締官としてマカオにも派遣されました。館内には阿片戦争当時の歴史を伝える資料が豊富で見応えがあります。さらに大通りを南下し、エスカレーターを備えた歩道橋のある大きな交差点を左折すると**⑤OXウェアハウス(牛房倉庫)**。地元アーティストが運営するギャラリーで、パフォーマンスアートの舞台としても使われています。

OXウェアハウスのある交差点を左折せずにそのまま直進すると、公設市場の紅街市があり、市場ならではの活気を堪能できます。一方、OXウェアハウスを後にそのまま進むと、マカオ7つの丘のひとつ、モンハの丘の南麓にたたずむ**⑥観音古廟と城隍廟**があります。ここから急な坂を登り詰めると、丘の頂上には**⑦モンハの砦**。砲台付近からは、今まで歩いてきた下界の眺めがみごと。また丘の中腹のIFT旅遊学院は、隠れ家風ホテルのポウサダ・デ・モンハを併設しており、レストランも併せて利用できます。

①出入境ゲート　關閘拱門
Arch of Barrier Gate　Map P21-A1

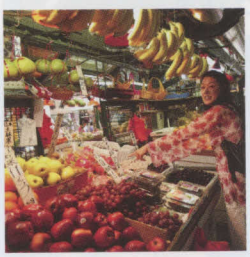
マカオ半島の最北に位置する広東省珠海市との玄関口。もともと中国が、マカオに住むポルトガル人の監視と、食料供給のコントロールを強化するために設けたもの。最初に建てられたのは1574年で、現在の三角花園の近くに位置していた。また1870年に建てられた以前のゲートもそのまま残されている。
(開)06:00～25:00

③蓮峯廟　Lin Fung Temple　Map P21-B2

マカオ三大寺院のひとつで1592年に建立された。廟の正面の歴史や神話の物語を描いた浮き彫りと、正面から入って第一の殿と主殿との間の中庭に描かれた龍と鯉の陶製彩色壁が有名。ここに祀られているのは、主殿に観音、第一の殿に天后、仁寿殿に医者の神と文字の始祖(文字を発明した神)、女性や子供を守る神たち。(開)07:00～17:00

⑦ポウサダ・デ・モンハとモンハの丘公園　望廈迎賓館及公園
Pousada de Mong Há and Mong Há Park　Map P21-C2

蓮峯廟の後にある丘の頂上に砲台と兵舎が残されたモンハの砦は、現在は散策路が整備され、市内の景観を望む公園となっている。丘の中腹には政府公認の観光大学、IFT旅遊学院があり、学生たちが付属の宿泊施設ポウサダ・デ・モンハとレストランで実務を学んでいる。宿泊・レストランとも一般の予約可。



義字街
Rua da Emenda　Map P21-D2

高士徳大馬路の南側にある路地は通りごとに特徴があり、食品・衣類・日用雑貨などを商う露店や商店がぎっしり並んでいる。義字街は食料品が中心で、いわば東京のアメ横、大阪の黒門市場のようなところ。庶民の台所である市場はいつも活気に満ちている。

⑤OXウェアハウス　牛房倉庫　OX Warehouse　Map P21-C2

絵画や彫刻、ポスター、デザインなど多彩なアート作品を随時展示。週末にはデッサンや音楽などのワークショップも開催。
(開)12:00～19:00 火曜・祝日休館

②三角花園
Areia Preta Triangle Garden　Map P21-B2

常に多くのマカオ市民が集まる公園で、住宅密集地域でもあるマカオ半島北部にあってオアシスのような存在。赤や黄色にペイントされた健康器具でエクササイズに励んだり、一方ではのんびりとマージャンや中国将棋を楽しむ姿が微笑ましい。喧噪があふれるなかに、どこかゆったりとした時間の流れを感じてリラックスできる。

④マカオ林則徐記念館　澳門林則徐紀念館
Lin Zexu Memorial Museum of Macau　Map P21-B2

1830年代、西欧のアヘン密輸取締の命を受けた役人、林則徐の記念館。近代中国史のなかでも緊張の高まった当時の写真や資料、使節団の様子が展示されている。建物の外壁沿いに見える大きな石「亜婆石」はアマラル総督が暗殺された場所と伝わる。
(開)09:00～17:00 月曜・祝日休館。
入館料:大人5パタカ

紅街市
Almirante Lacerda Market(Red Market)　Map P21-D2

3階建ての赤レンガで造られた建物は1930年代の創建。内部は吹き抜けで、生鮮食品・衣類・家庭用品などの日用雑貨がそろう、マカオで最もにぎやかな市場。マカオ市民の暮らしぶりがうかがえるところ。周囲にも露店が並ぶ。
(開)07:00～20:00(夕方閉店する店も多い)

ドッグレース場　逸園跑狗場
Canidrome　Map P21-C1～P21-C2

毎週月曜・火曜・木曜・週末(シーズンにより異なる)の19時30分から、グレイハウンド犬が18レースを競う。入場料:スタンド10パタカ、ボックス席80パタカ(平日・日)・120パタカ(土・祝日)。賭け金は最低10パタカから。模型のうさぎを追って走る犬たちの速さに驚いたり感心したりと、気軽に楽しめるレース。

⑥観音古廟と城隍廟　觀音古廟及城隍廟
Kun Iam Ancient Temple and Temple of City God　Map P21-C2

三つの殿からなる古廟で道教の三女神を祀る。隣接する清朝末期建立の土地神を祀る城隍廟と併せ、マカオに根付く民間信仰を物語る。
(開)07:00～18:00

珠海市
Course 5 スタート
関閘（出入境ゲート）
各ホテル行きシャトルバス乗り場
紀念孫中山市政公園（孫文記念公園）
エスプリ（アウトレット）
ダイソー
マクドナルド
歩道橋
長壽大馬路
永安街
聖堂
中心街
両替所や商店が多い
聖美利餅店（ベーカリー）
菜園涌邊街
好世界酒楼
CTM
盛記白粥
マクドナルド
体育発展局センター
李寶椿街
学校が多い
ガソリンスタンド
花地瑪聖母堂（ファティマ聖母堂）
祐漢新村第八街
祐漢新村第六街
野菜・果物などの屋台が並ぶ通り
馬里奥餅店（ベーカリー）
祐漢小販大楼
祐漢街市（市場）
燕窩荘集團公司
郵便局
屈臣民（ドラッグストア）
薬局通り
サンゴファーユン
三角花園
ビクトリア・ホテル
リンフォンミュウ
蓮峯廟
オウムンランサッチョイケイニングン
澳門林則徐紀念館
マクドナルド
馬場東大馬路
勞動節大馬路
黒沙環中街
黒沙環新街
馬場海邊路
黒沙環第六街
黒沙環海邊馬路
澳門治安警察局
ガソリンスタンド
警察
青洲大馬路
逸園跑狗場（ドッグレース場）
グリーンベルトにベンチあり
出入口
市場
モンハの丘公園
望廈炮台（モンハの砦）
きつい坂
葬儀館
マカオ・デザインセンター
望廈球場
望廈体育館
望廈図書館
Café E.S.Kimo
Course 5 ゴール
IFT旅遊学院
ポウサダ・デ・モンハ 旅遊學院教學餐廳
牛房倉庫（OXウェアハウス）
観音古廟及城隍廟
美副將大馬路
ベーカリー
歩道橋
P15-A3
螺絲山花園（モンターニャルサ公園）
ミニ・ゴーカート場
馬交石炮台
通信博物館
モスクと墓地
観音堂
望廈墳場
治安警察局
総合体育館
沙度娜／セラドゥーラ（スイーツ）
フロール・ベラ
郵便局 CTM
龍華茶楼（茶屋）
雅廉訪大馬路
紅街市（市場）
金城（麺）
ダイソー
沙梨頭南街
マクドナルド
谷田富海鮮火鍋
聖安娜餅屋（ベーカリー）
繁榮（メガネ）
鮮果人（軽食）
ヤングファッション店やカフェが多い
カフェ・セイス
盛記白粥
瑞盛記焼味（チャーシュー）
キャンディ・カフェ
聖蘭（スイーツ）
泰國人食館
利多餐廳
檀香山咖啡（カフェ）
鮨味亭
M&S（カフェ）
嘉年華酒楼
クロコダイル（ショップ）
マクドナルド
OLE（服）
聯記麺家
美心餅店（ベーカリー）
二龍喉花園
優の良品（菓子）
ペレイラプラザ
三盞燈
義字街
小さな商店や露店が並ぶ
一家春小食館
聚龍軒粤茶酒楼海鮮火鍋
林茂海邊大馬路
咖喱妹
怡文軒（ベーカリー）
フーワァ・グァンドン・ホテル
高士徳大馬路
培正中学
ロープウェイ乗降口
ダイソー
ポスト
美心餅店（ベーカリー）
Café E.S.Kimo
檀香山咖啡（カフェ）
盧廉若公園（ロウリムイオック庭園）
國父紀念館（孫文記念館）
治安警察局交通局
松山市政公園
新橋花園
永樂大戯院（映画館）
週末の夜、露天が並ぶ
蓮溪廟
Course 6 ゴール
葉挺故居
松苑（麺・雲呑）
新鴻發咖啡美食
澳門茶文化館
得勝公園
売店
東望洋山（ギアの丘）
東望洋炮台
聖母雪地殿聖堂及燈塔（ギア教会と灯台）
沙嘉都喇賈罷麗街
亞豐素街
消防博物館
聖味基墳場（聖ミカエル墓地）
塔石藝文館
歴史檔案館
中央図書館
塔石廣場
新花園プール
土地古廟
白鴿巣賈梅士花園（カモンエス公園）
鏡湖醫院
孫中山像
P09-A4
友誼大馬路
黒沙環海濱公園
明珠
ガソリンスタンド
警察
0 100 200m
観光案内所
世界遺産
ホテル
カジノ
トイレ
ベンチ
病院
食事処
ショップ
スーパー
コンビニ
銀行・両替
タクシー乗り場
オーディオガイド

COURSE 7

かつての離島に吹くポルトガルの風を感じて

昔日のタイパ・ビレッジ

高層マンションが建ち並ぶ新市街と昔日のままの旧市街が共存し、近未来都市コタイとも隣接するという、新旧が交差するエリア。中国とポルトガルそれぞれの風情を感じて歩こう。

◆想定所要時間 25 分◆ ①タイパ医霊廟→②タイパ観音堂→③タイパ・コロアン歴史博物館→④タイパ天后廟→⑤タイパ北帝廟→⑥官也街→⑦カルモ会堂→⑧カルモ聖母教会→⑨タイパ・ハウス・ミュージアム

昔は離島だったタイパですが、埋め立てが進んだ結果、その南のコロアン島と合わせてひとつの島になっています。昔日のひなびた漁村のイメージを求めてタイパ・ビレッジをめぐる散策は、旧市街の南を通るバス通りの施督憲正街から始めましょう。通り沿いの小さな古廟の**①タイパ医霊廟**からスタート。少し歩くとやはり進行方向左手に**②タイパ観音堂**。さらに進むと今度は進行方向右手に広場があり、その向こうには観光客が集まるにぎやかな一角が見えます。食通街、あるいは土産物街として知られる**⑥官也街**ですが、こちらの散策は後にしてそのまま施督憲正街を直進すると、あざやかなペパーミント・グリーンの洋館の**③タイパ・コロアン歴史博物館**が見えてきます。その先の左手にはタイパ最古の寺院と伝わる④タイパ天后廟。またその近くには⑤タイパ北帝廟。歴史あるかつての漁村のタイパには、庶民の願いが込められた多くの廟が建てられ、今日も線香の火が燃え続けています。

北帝廟と官也街の間の一角は、入り組んだ路地が旅人を奥へ奥へと誘うラビリンス。ポルトガル料理のレストランもあり、カンテラの灯りが街路を照らす夜間は、リスボンの小路を歩いているかのような錯覚を覚えることでしょう。

旧市街中心部の散策を堪能したら海岸線だった場所へ。石畳の坂道を登っていくと、コロニアル調の**⑦カルモ会堂**、そして坂の頂上には美しい外観の**⑧カルモ聖母教会**があります。この高台からは、池越しの対岸に広がるコタイの眺めがみごと。教会前の広場から階段を降りるとそこがかつての海岸通りで、ポルトガル官吏が住んだという**⑨タイパ・ハウス・ミュージアム**の建物が並んでいます。

①タイパ医霊廟　氹仔醫靈廟(嘉善堂)　I Leng Temple in Taipa　Map P22拡大図

1900年に建てられた古廟で、関羽の腕の手術をしたことで知られる三国時代の名医華佗など神格化された医療・医学の神様を祀る。内部の木製の優雅な引き戸は一見の価値がある。

②タイパ観音堂　氹仔觀音堂　Kun Iam Temple in Taipa　Map P22拡大図

廟内の大理石の碑刻から1902年の建立とわかる。マカオ各地に点在する観音を祀った寺院のひとつで、観音信仰の篤さを実感する。2004年に修復工事が行われた。

④タイパ天后廟　氹仔天后古廟(天后宮)　Tin Hau Temple in Taipa　Map P22拡大図

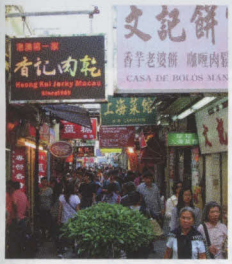
鐘楼の刻印から少なくとも1785年以前の建立と伝わるタイパ最古の寺院。媽閣廟同様、海の守護神の阿媽を祀ったもので、漁師や商人から広く信仰を集めている。

⑦カルモ会堂　嘉模會堂　Carmo Hall　Map P22拡大図/P23-C3

パステルカラーが美しい2階建ての建物が目をひく。かつてはタイパ唯一の公共の発電所だったが、2007年にさまざまな文化行事を行うスペースへと改装された。

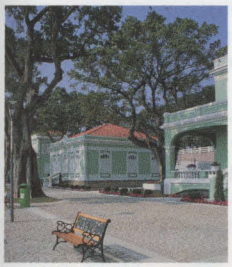
③タイパ・コロアン歴史博物館　路氹歷史館
Museum of Taipa and Coloane History　Map P22拡大図/P23-C2

1920年代の民政總署の建物を改築し、博物館として開館させた。ポルトガル様式の建物の内部は8つの展示室で構成され、1階はコロアンから発掘された昔の遺物や文化・宗教などの発展の様子、2階は農業や手工業の歴史を展示している。(開)10:00～18:00　月曜休館。大人5パタカ。日曜は無料。



⑥官也街
Rua do Cunha　Map P22拡大図/P23-C3

150mほどの細い通りの両側には、ポルトガル料理、マカオ料理、中国料理などのレストランやカフェ、土産物店が軒を列ねています。また一つ道を入った路地裏の石畳の小道に街頭が灯ると、ノスタルジックな街の雰囲気は最高に。官也街の入口にある消防局前地では毎週日曜日11:00～20:00までフリーマーケットが開かれる。



⑨タイパ・ハウス・ミュージアム　龍環葡韻住宅式博物館
The Taipa Houses Museum　Map P23-C3

コロニアル建築のポルトガル公館を改築し博物館としたもので、20世紀初頭の生活様式を再現している。パステルカラーの建物が石畳の通りに沿って5棟ならんでおり、ヨーロッパ風の優雅な雰囲気が漂う絶好の撮影スポットとなっている。(開)10:00～18:00　月曜休館。大人5パタカ。日曜は無料。

⑤タイパ北帝廟　氹仔北帝廟
Pak Tai Temple in Taipa　Map P22拡大図

160年以上の歴史を持つ道教寺院で北帝を祀っている。北帝は北の方位を司り、また洪水や火災を防ぐ神とされ、漁民の多かったタイパの人々から広く慕われた。旧暦3月3日に毎年祝われる北帝誕生祭には廟前の広場にステージがつくられ、中国オペラが盛大に奉納されるほか、仏具を商う屋台も出店する。廟の隣にはレンタサイクルショップがある。

⑧カルモ聖母教会　嘉模聖母教会
Our Lady of Carmo Church　Map P22拡大図/P23-C3

水辺越しの対岸にコタイを望む丘の上の瀟洒な教会。1885年タイパ島に住むわずか35人のキリスト教徒のために建設された。古典様式で建てられており、当時はこの島がポルトガル領であるという証の教会だった。教会前は美しいカルサーダスの広場で、結婚式や撮影のロケに使用されたり、若者のデートゾーンになっている。

マカオ競馬場　澳門賽馬會
Macau Jockey Club　Map P22-B1/P24-A1

近代的な設備の整った競馬場で、観客席は1万5000人収容。中国料理、西洋料理のレストランを併設している。騎手や調教師、競走馬は海外からも呼び寄せており、世界基準のレースを行っている。レースは月8～10回。入場料は1階が無料、2階席20パタカ。グループが貸し切り利用できるVIPルームも備えている。18歳未満入場禁止。

世 世界遺産　H ホテル　カジノ　トイレ　ベンチ　病院　食事処　ショップ　ス スーパー　コ コンビニ　$ 銀行・両替　タクシー乗り場　オーディオガイド

COTAI

最新リゾートのオープン続く注目エリア

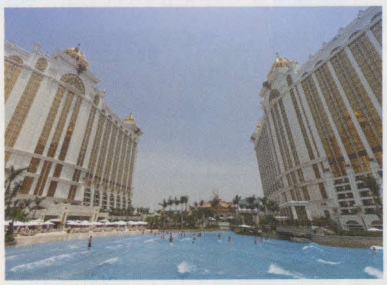
コタイ地区

埋め立てによって出現した広大なエリアは今や、複合型リゾートが建ち並び、世界中から観光客が訪れる壮大なエンターテイメント・シティ。中世から歴史を紡いできたマカオにあって、旅人はコタイで近未来を体験できる。

コタイの全景。左からシティ・オブ・ドリームズ、サンズ・コタイセントラル、

ザ・ヴェネチアン・マカオではショッピングアーケードを縫うように造られた運河でゴンドラライドも楽しめる。

シティ・オブ・ドリームズ内専用シアターの常設ショー「ザ・ハウス・オブ・ダンシング・ウォーター」。


コタイに白砂のビーチが出現！ ギャラクシー・マカオの波の出るプール。

各リゾートではそれぞれショッピングモールを展開。有名ブランド店でゆっくりショッピングはいかが。

タイパ旧市街から望むコタイ。タイパとコタイ間には「動く歩道」が整備され、徒歩約10分でアクセス可能。

「過去」と「未来」を行き来するマカオならではの時間旅行はいかが

コタイ地区は、それぞれが独立した島であったタイパとコロアンの両島の間を埋め立てた広大なエリアで、21世紀になってから新たに開発が進められた、「まったく新しいマカオ」。2007年開業のザ・ヴェネチアン・マカオをはじめシティ・オブ・ドリームズ、ギャラクシー・マカオなどゴージャスな巨大リゾートが林立する、世界でも有数の一大レジャーエリアとして人気を集めています。マカオ国際空港やタイパ・フェリーターミナルから至近距離という地の利も特徴です。

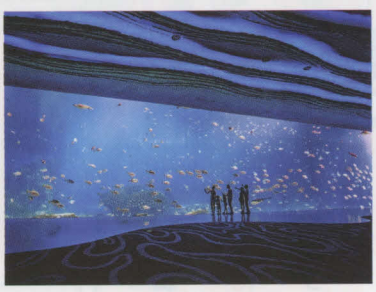
各リゾートにはラグジュアリーで個性豊かなホテル、国際ブランドが集まるショッピングモール、マカオならではのポルトガル料理や中国料理はもちろん各国料理の名店が並ぶレストラン街、スイミングプールなどのアクティビティ施設、そしてゴージャスなスパ施設などが集まっていて、まるでそれ自体が「ひとつの街」といった風情。ファミリーや友人同士、カップルなどの客層を問わず、訪れる人はだれでもこの近未来的な空間のなかで、非日常の旅時間を満喫できます。

コタイ地区は現在も拡張工事が続いており、新規リゾートの開業が目白押し。"今後も目が離せない近未来都市"——これがコタイなのです。

一方で、そんなコタイからマカオ半島の旧市街「マカオ歴史市街地区」へは、陸路わずか20分ほどで訪れることができます。そこで、コタイのラグジュアリーホテルに泊まりながら午前中はマカオ半島の中世を思わせる街並みを想いのままに散策し、午後はコタイのリゾート内に滞在してショッピングやスパでのんびり過ごす——。そんな「過去」と「未来」との間を自由自在に行き来する「時間旅行」を楽しんでみてはいかがでしょうか。

シティ・オブ・ドリームズ
www.cityofdreamsmacau.com/jp（日本語あり）
- SOHO（P30、P34）
- ザ・ハウス・オブ・ダンシング・ウォーター（P31）
- タブー（P31）
- ヴィクアリアム（P31）
- ザ・ブルヴァード（P33）
- イサラ・スパ（P32）
- ロック・スパ（P32）
- ベイジン・キッチン（P36）
- ジェイド・ドラゴン（P36）

世界最大級の水槽が出現　横琴島の「海洋王国」



マカオに隣接する中国本土の横琴島には大規模なレジャーランドの「長隆海洋王国」があり、コタイの蓮花大橋から直接アクセスできるので、コタイからの日帰り観光にぴったりだ。圧巻は1万5000匹の魚が泳ぐ高さ63mの世界最大級の水槽。ほかに白イルカやホッキョクグマのテーマ館も。

（海の生物や魚をテーマにした巨大テーマパーク）

ントラル、ザ・ヴェネチアン・マカオ、ギャラクシー・マカオ。今後も続々新たなリゾートの開業が予定されている

本書で紹介の各リゾート内施設

メザナイン・マカオ（P36）

サンズ・コタイセントラル
www.sandscotaicentral.com
ドリームワークス・エクスペリエンス（P31）
ノース（P35）
ボーディ・スパ（P32）

フォーシーズンズ・ホテル・マカオ・コタイストリップ
www.fourseasons.com/macau
ザ・ショップス・アット・フォーシーズンズ（P33）
ザ・スパ（P32）
ジィーヤッヒン（P36）

ザ・ヴェネチアン・マカオ
www.venetianmacao.com
ザ・ショップス・アット・ヴェネチアン（P33）
マロ・クリニック・ヘルス＆ウェルネス（P32）
ベリーニ・ラウンジ（P34）
マックソーリーズ・エール・ハウス（P34）
フェスティヴィータ・フードコート（P40）
グラド・ミニ・ゴルフ（P42）

ギャラクシー・マカオ
www.galaxymacau.com
バンヤンツリー・スパ（P32）
マッカラン・ウィスキー・バー＆ラウンジ（P34）
山里（P36）

観光案内所　世界遺産　ホテル　カジノ　トイレ　ベンチ　病院　食事処　ショップ　スパ　エンターテイメント　スーパー　コンビニ　銀行・両替　タクシー乗り場　オーディオガイド

COURSE 8

古きよき風情が残る静かな漁村をゆっくり歩く

ノスタルジア・コロアン

マカオ最南端のコロアンは、亜熱帯植物に覆われた風光明媚なリゾートエリア。マカオ半島やコタイの喧噪をしばらく忘れて海辺の静かな道をゆっくり歩き、のどかな教会や古廟を訪ねよう。

◆想定所要時間 30分◆ ①アントニオ・ラマルホ・エアネス大統領広場→②コロアン観音廟→③コロアン天后古廟→④コロアン譚公廟→⑤コロアン図書館→⑥コロアン聖フランシスコ・ザビエル教会→⑦コロアン三聖宮→⑧コロアン埠頭

マカオでもっともリゾート感覚にあふれているコロアン。時間の流れがゆるやかに感じられる別世界をしばし堪能しましょう。

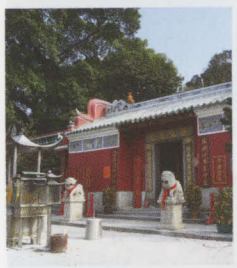
起点の**①アントニオ・ラマルホ・エアネス大統領広場**までは、マカオ半島から路線バスを利用するとよいでしょう。小さなロータリーに面してコロアン・ビレッジのバス停があります。またこのロータリーには有名なエッグタルト店のロード・ストウズ・ベーカリーと、同店が経営するカフェがあり、休憩に向いています。

さて広場から海辺の道ではなく、内陸の小路の中街をしばらく南に歩くと**②コロアン観音廟**があります。そこから少し山の手に進むと**③コロアン天后古廟**。さらに船鋪街を歩き続けると**④コロアン譚公廟**に出ます。ここまでの風景は、いかにもコロアンらしい素朴な漁村そのもの。また路地が細かく枝分かれしているので、わざと迷子になってみるのも楽しいでしょう。コロアン譚公廟からは海沿いの十月初五馬路を北へ。**⑤コロアン図書館**を通り過ぎて少し歩くと、このルートのハイライト、聖フランシスコ・ザビエルに捧げられた**⑥コロアン聖フランシスコ・ザビエル教会**が見えてきます。ザビエルは日本での布教活動の後、中国本土へ向う途中に、マカオからほど近い上川島で病没しました(1552年)。門前の広場には大海原のような模様の美しいカルサーダスと小さな噴水があり、1910年に海賊を撃退したことを伝えるモニュメントが立っています。広場に面したレストランやカフェでのんびり過ごすのもおすすめです。

アントニオ・ラマルホ・エアネス大統領広場まで戻り、船人街に歩を進めると**⑦コロアン三聖宮**、そしてこのコースの終点の**⑧コロアン埠頭**に出ます。のどかな埠頭では潮風に吹かれながら、旅情を堪能しましょう。

①アントニオ・ラマルホ・エアネス大統領広場　恩尼斯總統前地
Largo do Presidente António Ramalho Eanes　Map P27 拡大図

マカオを訪問したポルトガル大統領の名を冠した広場。コロアン・ビレッジの中心地で、海辺にほど近い静かなロータリーにある。ここから放射線状に道が枝分かれし、コロアン・ビレッジのあちこちへ続いている。広場の中心にはキューピッドの像。木立に囲まれているのでエッグタルトとともに休憩するのに最適な場所だ。ロータリーに面したひなびた市場は生鮮食品から雑貨、骨董品まで商っていて趣き深い。



④コロアン譚公廟　路環譚公廟
Tam Kong Temple in Coloane　Map P26-D1/P27拡大図

1862年に建てられた廟には、道教の漁師の神様、譚公(男性の神)が祀られている。1964年に修復された、美しい屋根が目を引く寺院で、中に入ると、譚公の右の方にクジラの骨で造られた長さ1.2mの朱塗りのドラゴンボートと美しく彫刻されたオールがある。毎年旧暦4月8日には譚公祭が行われ、門前では広東オペラもにぎやかに奉納される。(開)08:30～17:30

②コロアン観音廟　路環観音古廟
Ancient Temple of Kun Iam in Coloane　Map P27 拡大図

元の交易商人によって19世紀初頭に建立された。言い伝えによれば海が荒れたときも観音の導きにより漁師たちは無事に帰港できたという。今日も多くの人々が参拝に訪れている。

③コロアン天后古廟　路環天后古廟
Ancient Temple of Tin Hau in Coloane　Map P27 拡大図

1763年頃の建立と伝わる古廟で、コロアン最古の寺院。マカオでは特に漁師の間で、観音と並んで天后崇拝も盛んで、航海の安全と豊漁をもたらしてくれると信じられている。

⑤コロアン図書館　路環圖書館　Coloane Library　Map P27 拡大図

地元の学校として1911年頃に建てられた平屋建ての洋館で、周囲の景観とよく調和している。現在は図書館として、地元の人々に親しまれている。レンタサイクルで村の散策を。

⑦コロアン三聖宮　路環三聖廟(金花廟)　Sam Seng Temple in Coloane　Map P27拡大図

19世紀後半、地元の漁師によって建立された小さな廟で、かつては塩の製造で栄えたコロアン島の歴史を伝えている。金花、観音、華光大師が祀られ、子供の健康を願う親たちが参拝する。

観光案内所

⑥コロアン聖フランシスコ・ザビエル教会 路環聖方濟各聖堂
Chapel of St. Francis Xavier　Map P26-C1/P27拡大図

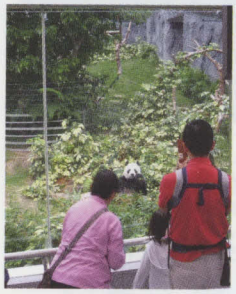
日本にキリスト教やヨーロッパの文化を伝えたザビエルを祀る教会。1903年中国人の子供たちに宗教教育を与えるために、礼拝堂が付属する学校を開校したのがこの教会の基礎となり、1928年に建立された。1978年から約20年間、ザビエルの遺骨が安置されていたが、現在は聖ヨセフ聖堂に移されている。
(開)9:00～17:00

⑧コロアン埠頭　路環碼頭
Coloane Pier　Map P27拡大図

1873年の再建で、コロアン、タイパとマカオ半島が橋で結ばれる以前は、マカオの人々が小舟で往来する際の重要な桟橋として利用された。またマカオ半島やタイパからコロアンへ、あるいはコロアンから中国本土への定期船が運航されていた時代もあり、税関機能も備えていたほどだった。現在は桟橋としての機能は役目を終え、魚を干す風景が昔日の香りを伝えている。

媽祖文化村
A-Ma Cultural Village　Map P26-C2

海の守護神の媽祖(阿媽)の像(高さ19.99m)がそびえる公園で、路環(コロアン)山の山頂に位置(標高170m)。媽祖は中国福建省を中心にアジア諸国で崇拝されており、特にマカオでは媽閣廟をはじめ広く信仰を集めている。石排灣馬路の媽祖文化村入口から阿媽像まではハイキングが楽しめる。晴天時には香港のランタオ島まで望む絶景。
(開)08:00～18:00



マカオパンダ館　澳門大熊貓館
Macau Giant Panda Pavilion　Map P26-B2

中国返還10周年を記念して中国政府から贈られたジャイアントパンダの飼育および観察施設として石排湾公園内に2011年にオープン。2015年6月には2代目のつがいのパンダが新たに到着。日に6回の入場制限があり、チケットは事前の購入が必要(10パタカ)。(開)10:00～13:00、14:00～17:00(最終入館は16:45) 月曜休館(祝日の場合は開館で火曜休館)

ホテル　カジノ　トイレ　ベンチ　病院　食事処　ショップ　スーパー　コンビニ　銀行・両替　タクシー乗り場　オーディオガイド

HOTEL INDEX

マカオでは滞在のスタイルにあわせて、ホテルを選びたい。
小さなプチホテル、カジノホテル、テーマホテル、カジノのないホテルや
ラグジュアリーな5つ星ホテル、リゾートホテルなどさまざまな選択ができる。

★★★★★ 5つ星デラックス

アルティラ ALTIRA	新濠鋒 サンホウソン	TEL2886-8888 ♦ 216室 Map P23-A2
クラウン・タワーズ CROWN TOWERS	皇冠度假酒店 ウォンクントォカジャオディム	TEL8868-6888 ♦ 286室 Map P25-A4
フォーシーズンズ・ホテル・マカオ・コタイストリップ FOUR SEASONS HOTEL MACAU, COTAI STRIP	澳門四季酒店 オウムンセイグァイジャオディム	TEL2828-3838 ♦ 431室 Map P25-B3
グランド・リスボア・ホテル GRAND LISBOA HOTEL	新葡京酒店 サンポゥケンジャオディム	TEL2881-8888 ♦ 431室 Map P9-D5/P15-E1
ザ・ランドマーク・マカオ THE LANDMARK MACAU	置地廣場酒店 ジーディゴンチョンジャオディム	TEL2878-1781 ♦ 451室 Map P15-D2/P16-D1
MGMマカオ MGM MACAU	澳門美高梅 オウムンメイコウムイ	TEL8802-8888 ♦ 583室 Map P15-E3/P16--E3
サンズ SANDS	金沙 ガムサァ	TEL2888-3388 ♦ 289室 Map P15-C3/P16-A2
ウィン・マカオ WYNN MACAU	澳門永利 オウムンウィンレイ	TEL2888-9966 ♦ 1,014室 Map P15-E2/P16-E2

★★★★★ 5つ星

バンヤンツリー・マカオ BANYAN TREE MACAU	澳門悦榕庄酒店 オウムンユッヨンチョンジャオディム	TEL8883-6888 ♦ 253室 Map P24-A1
ペイジン・インペリアル・パレス・ホテル BEIJING IMPERIAL PALACE HOTEL	北京王府大飯店 パッケンワンフゥダイファンディム	TEL2883-1111 ♦ 626室 Map P23-A2
ブロードウェイ・ホテル Broadway Hotel	百老匯酒店 パッロウウイジャオディム	TEL8883-3338 ♦ 320 室 Map P24-B1
コンラッド・マカオ・コタイセントラル CONRAD MACAO, COTAI CENTRAL	澳門金沙城中心康萊德酒店 オウムンガムサァセンチョンサムホンチョイタッジャオディム	TEL2882-9000 ♦ 636 室 Map P25-B3
ギャラクシー・ホテル GALAXY HOTEL	銀河酒店 ガンホージャオディム	TEL2888-0888 ♦ 660室 Map P24-A1
グランド・コロアン・リゾート GRAND COLOANE RESORT	鷺環海天度假酒店 ロウワンホイティントウガアジャオディム	TEL2887-1111 208室 Map P27-B4
グランド・ハイアット・マカオ GRAND HYATT MACAU	澳門君悦酒店 オウムングゥンユッジャオディム	TEL8868-1234 763室 Map P25-B4
グランド・ラパ・ホテル GRAND LAPA HOTEL	金麗華酒店 カムライワァジャオディム	TEL2888-6888 ♦ 314室 Map P15-C3/P16-A1
JW マリオット・ホテル・マカオ JW MARRIOTT HOTEL MACAU	澳門 JW 萬豪酒店 オウムンマンホウジャオディム	TEL8886-6888 ♦ 1,015 室 Map P24-B2
ホテル・オークラ・マカオ HOTEL OKURA MACAU	澳門大倉酒店 オウムンダイチョンジャオディム	TEL8883-8883 ♦ 487室 Map P24-A1
ラルク・ホテル・マカオ L'ARC HOTEL MACAU	澳門凱旋門酒店 オウムンホイセンムンジャオディム	TEL2822-3388 ♦ 301室 Map P15-D2/P16-E2
ホテル・リスボア HOTEL LISBOA	葡京酒店 ポゥケンジャオディム	TEL2888-3888 ♦ 1,071室 Map P15-E1/P16-F1
マンダリン・オリエンタル・マカオ MANDARIN ORIENTAL MACAU	澳門文華東方酒店 オウムンマンワァドンフォンジャオディム	TEL8805-8888 214室 Map P16-F3
リージェンシー・ホテル REGENCY HOTEL	麗景灣酒店 ライギンワンジャオディム	TEL2883-1234 ♦ 326室 Map P23-A2
リビエラ・ホテル・マカオ RIVIERA HOTEL MACAU	濠璟酒店 ホウケンジャオディム	TEL2833-9955 161室 Map P19-D2
ロイヤル ROYAL	皇都酒店 ウォントウジャオディム	TEL2855-2222 380室 Map P15-C1
ポウサダ・デ・サンティアゴ POUSADA DE SÃO TIAGO	聖地牙哥古堡酒店 センディアゴオウバオジャオディム	TEL2837-8111 13室 Map P19-E1
シェラトン・マカオ・ホテル・コタイセントラル SHERATON MACAU HOTEL, COTAI CENTRAL	澳門喜來登金沙城中心酒店 オウムンハイロイタンガムサァセンチョンサムジャオディム	TEL2880-2000 ♦ 3942 室 Map P25-B3
ソフィテル・マカオ・アット・ポンテ16 SOFITEL MACAU AT PONNTE 16	澳門十六浦索菲特大酒店 オウムンサップロッポウソウフィタッダイジャオディム	TEL8861-0016 ♦ 408室 Map P08-C1/P19-A1
スター・ワールド・ホテル STAR WORLD HOTEL	星際酒店 シンチャイジャオディム	TEL2838-3838 ♦ 501室 Map P15-D2/P16-D2
スタジオ・シティ・マカオ STUDIO CITY MACAU	新濠影滙 サンホウインウイ	TEL8865-6868 ♦ 1,600 室 Map P25-C2
ザ・リッツ - カールトン マカオ THE RITZ-CARLTON, MACAU	澳門麗思卡爾頓酒店 オウムンライシーカーイードンジャオディム	TEL8886-6868 ♦ 236 室 Map P24-B2

★★★★★ 5つ星

ザ・ヴェネチアン・マカオ THE VENETIAN MACAO	澳門威尼斯人酒店 オウムンワイネィシヤンジャオディム	TEL2882-8888 ♦ 2,874室 Map P25-B3

★★★★ 4つ星

ゴールデン・クラウン・チャイナ・ホテル GOLDEN CROWN CHINA HOTEL	金皇冠中國大酒店 カムウォンクンチョンコッダイジャオディム	TEL2885-1166 300室 Map P23-B5
ゴールデン・ドラゴン GOLDEN DRAGON	金龍酒店 カムロンジャオディム	TEL2836-1999 ♦ 483室 Map P15-B3
グランドビュー・ホテル GRANDVIEW HOTEL	君怡酒店 クァンユウジャオディム	TEL2883-7788 ♦ 487室 Map P23-B2
ハーバービュー・ホテル・マカオ HARBOURVIEW HOTEL MACAU	澳門勵庭海景酒店 オウムンライテンホイケンジャオディム	TEL8799-6688 444室 Map P15-C4/P16-A2
ハード・ロック・ホテル HARD ROCK HOTEL	HARD ROCK 酒店 ハードロックジャオディム	TEL8868-3338 ♦ 322室 Map P25-B3
ホリデイ・イン・マカオ HOLIDAY INN MACAU	澳門假日酒店 オウムンガァヤッジャオディム	TEL2878-3333 ♦ 424室 Map P15-D2/P16-D1
ホリデイ・イン・マカオ・コタイセントラル HOLIDAY INN MACAU, COTAI CENTRAL	澳門金沙城中心假日酒店 オウムンガムサァセンチョンサムヤッジャオディム	TEL2828-2228 ♦ 1224 室 Map P25-B3
ホテル・ビバリー・プラザ HOTEL BEVERLY PLAZA	皇家金堡酒店 ウォンカカムポウジャオディム	TEL2878-2288 300室 Map P15-D2/P16-E1
ホテル・カーザ・レアル HOTEL CASA REAL	澳門富豪酒店 オウムンフウホウジャオディム	TEL2872-6288 ♦ 381室 Map P15-B3
メトロパーク・ホテル METROPARK HOTEL	維景酒店 ワイケンジャオディム	TEL2878-1233 350室 Map P15-D2/P16-D1
ポウサダ・デ・コロアン POUSADA DE COLOANE	竹灣酒店 チョッワンジャオディム	TEL2888-2143 22室 Map P27-D2
プレジデンテ・ホテル PRESIDENTE HOTEL	利澳酒店 レイオウジャオディム	TEL2855-3888 ♦ 308室 Map P15-D2/P16-E1
リオ・ホテル RIO HOTEL	總統酒店 ツォントンジャオディム	TEL2871-8718 ♦ 449室 Map P15-C2/P16-C1
ロイヤル・インファンテ・ハーバービュー・ホテル ROYAL INFANTE HARBOUR VIEW HOTEL	皇庭海景酒店 ウォンディムホイケンジャオディム	TEL2883-8333 ♦ 298室 Map P24-A1
タイパ・スクエア TAIPA SQUARE	駿景酒店 ションギンジャオディム	TEL2883-9933 ♦ 406室 Map P22-B2

★★★ 3つ星

エンペラー・ホテル EMPEROR HOTEL	帝濠酒店 タイホウジャオディム	TEL2878-1888 398室 Map P15-D2/P16-D1
フォーチュナ FORTUNA	財神酒店 チョイサンジャオディム	TEL 2878-6333 ♦ 386室 Map P15-D2/P16-E1
フーワァ・グァンドン・ホテル FU HUA GUANGDONG HOTEL MACAU	澳門富華粵海酒店 オウムンフーワァグァンドンジャオディム	TEL2855-3838 141室 Map P15-B1/P21-D2
グランド・エンペラー・ホテル GRAND EMPEROR HOTEL	英皇娛樂酒店 インウォンユウロッジャオディム	TEL2888-9988 ♦ 291室 Map P15-E1
グランド・ハーバー・ホテル GRAND HARBOUR HOTEL	港灣大飯店 ゴンワンダイファンディム	TEL2822-1381 90 室
ホテル・ギア HOTEL GUIA	東洋酒店 トンモンヨンジャオディム	TEL2851-3888 90室 Map P15-C2
ホテル・ロックス HOTEL ROCKS	萊斯酒店 チョイシージャオディム	TEL2878-2782 72室 Map P15-C4/P16-A4
イン・ホテル・マカオ INN HOTEL MACAU	澳門盛世酒店 オウムンサンセイジャオディム	TEL2882-1666 287室 Map P23-B3
ランカイフォン・マカオ LAN KWAI FONG, MACAU	澳門蘭桂坊 オウムンランカイフォン	TEL2880-0888 410室 Map P15-C3/P16-B1
メトロポール METROPOLE	京都酒店 ケントウジャオディム	TEL 2838-8166 112室 Map P9-D3/P19-B3
シントラ SINTRA	新麗華酒店 サンライワァジャオディム	TEL2871-0111 240室 Map P9-D4/P15-E1/P19-B3
ビクトリア・ホテル VICTORIA HOTEL	維多利亞酒店 ワイドゥレイアジャオディム	TEL2855-6688 126室 Map P21-B2
ワルド・ホテル WALDO HOTEL	華都酒店 ワァトゥジャオディム	TEL 2888-6688 ♦ 161室 Map P15-C3/P16-A1

＊上記に記載の電話番号はホテルの代表番号です。

♦ カジノ

マカオの今をもっと知って、ふれて、体験して、一緒に参加しよう。

イベントカレンダー

マカオ イベント・カレンダー

中国とポルトガル。
二つの文化と伝統が共存するマカオでは、年間を通してさまざまなイベントがおこなわれている。
旅のプランにくわえてみよう。きっと特別な思い出ができるだろう。

MACAU EVENT CALENDAR

◆ルゾフォニア・フェスティバル(10月)
海外で息づくポルトガル文化を継承するための3日間の祭典で、タイパ・ハウス・ミュージアム周辺の会場ではポルトガルの歌やダンスなどのパフォーマンスが繰り広げられる。

◆ファティマ聖母の行列(5月)
ポルトガルのファティマでマリアが出現したという聖母信仰の祭祀。ミサのあと聖ドミニコ教会からペンニャ教会までマリア像が巡行し、ペンニャ教会でもミサがおこなわれる。

◆中国旧正月(1~2月頃)
セナド広場や媽閣廟前のバラ広場はきらびやかな極彩色で盛大に飾り付けされる。聖ポール天主堂跡の広場やバラ広場ではドラゴンダンスでお祝いされるほかさまざまな新春の催しがおこなわれる。

◆マカオグランプリ(11月第3週末)
マカオの市街地、公道が会場となるモーターレースで、メインはF3レース。そのほかツーリングカー・レース、サーキットオートバイ・レースなど複数の競技が繰り広げられる。

◆ドラゴンボートレース(6月)
マカオタワー前の南灣湖で太鼓のリズムにあわせて、龍を象った22人乗りのボートレースがおこなわれる。地元チームのほか毎年、海外からのチームも参加している国際レース。

◆パッソス聖体行列(3月)
マカオ独特のキリスト教行事。十字架を背負ったキリスト像が聖オーガスティン教会から大堂まで巡行。キリスト像は翌日再び、聖オーガスティン教会に戻される。巡行は約2時間。

◆マカオフードフェスティバル(11月)
マカオタワー前の西灣湖広場にアジア諸国やマカオのレストランから100軒以上の屋台がずらりと並び秋の夜長を盛り上げる。気軽に各国の料理やデザートを楽しめる食の祭典。

◆マカオ国際花火大会(9~10月)
世界各国の花火師10チームが秋の夜空で技を競う。マカオタワー前の南灣湖で5日間の日程にわかれて一晩あたり2カ国が21時と22時から打ち上げる。日本チームが参加することも。

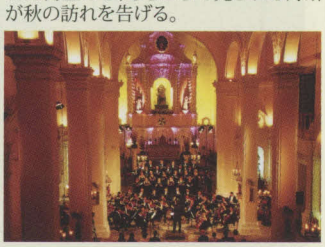
◆マカオ芸術祭(3~5月頃)
コンサート、演劇、ダンス、中国オペラ、展覧会など幅広いジャンルのパフォーマンスが、日替わりで約1カ月に渡って開催される。海外からのアーティストも多数参加する。

◆マカオ国際マラソン(12月第1日曜)
フル、ハーフ、ミニ(4.2Km)の3種目。フルとハーフはタイパからマカオ半島へと西灣大橋を渡ってアプローチするダイナミックなコース設定。気軽に参加できるミニも楽しい。

◆中秋節(9月)
年間を通して月がもっとも美しい陰暦8月15日に行われる、中国文化圏ではとても大切な祭り。色とりどりの提灯で彩られた街並みと、あちこちで売られる月餅が秋の訪れを告げる。

◆酔龍祭(5月)
マカオ独特の仏教行事。三街会館(関帝廟)で祈祷が行われ、健康を祈願した食事や酒が振る舞われる。龍の頭や尻尾を持った踊り手の男たちが互いに酒に酔わせる様はユーモラス。

◆クリスマス(12月24、25日)
12月2週目頃から街中にイルミネーションが輝きだす。セナド広場や民政総署などでも趣向を凝らした飾り付けで、見る人を楽しませる。聖夜には各地の教会で厳かにミサがおこなわれる。



◆マカオ国際音楽祭(10~11月)
クラシックからポップスまで世界中から一流のアーティストが参加し、日替わりで約1カ月に渡って開催される。世界遺産が会場となるコンサートや入場無料のプログラムもある。

週末にはさまざまな街角パフォーマンス

週末を中心にマカオ半島やタイパの旧市街では、あちこちで無料のパフォーマンスが楽しめる。ライオンダンスや広東オペラ、中国武術といった中国文化を反映したものから、ポルトガルダンスやコンサートまで幅広く、いずれも旅行者が気軽に楽しめるものばかり。スケジュールは月替わりになっていて、マカオ政府観光局(本局)のウェブサイト、「What's on」(URL:whatson.macautourism.gov.mo)で確認できる。

HOTEL LIFE

過ごし方はそれぞれ。自分らしいホテルライフを満喫しよう

コタイ地区を中心にさまざまなタイプのシティリゾートホテルが続々とオープンしているマカオ。そこで滞在中に一日は外出しない日を設け、徹底的にホテルライフを満喫してみては。日がな一日プールサイドで過ごしたり、ホテルに併設されたショッピングモールで買い物三昧、もちろん24時間営業のカジノで運試しもお忘れなく。

▲さまざまな趣向を凝らしたスイートルーム
たとえばリビングルームに広々としたリラクゼーションプールを配したスイートルーム、あるいは個室内にスパ施設を組み込んだスイートルーム――。マカオに数ある5つ星ホテルでは、自分にぴったりのスイートルームがきっと見つかる。
（写真はバンヤン・ツリー・マカオ）

▲ゴージャスな施設で非日常を味わう
マカオのホテルは総じて雰囲気づくりに長けており、付帯施設への徹底したこだわりでホテルゲストに非日常を提供してくれる。マカオの5つ星ホテルに泊まることこそ、日常から遠く離れた「贅沢な休日」そのものなのかもしれない。
（写真はフォーシーズンズ・ホテル・マカオ・コタイストリップ）

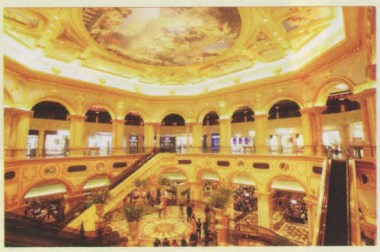
▲午後はプールサイドでシエスタを
ランチ後の腹ごなしにひと泳ぎしたら、お気に入りの本か雑誌を片手にしばしのシエスタ（昼寝）タイムはいかが。日中にゆっくり休養をとって夕方以降のアクティビティに備える、これぞ南欧風のホテルライフだ。スポーツジムで汗を流したり、スパでリラックスするのもよい。
（写真はグランド・ハイアット・マカオ）

▲仲間や家族で楽しいルームパーティー
スイートルームを仲間とシェアし、ルームパーティを楽しもう。ルームサービスをとるのもよいが、さらに楽しいのはスーパーマーケットなどに買い出しに行くこと。創意工夫で忘れられない思い出づくりを。
（写真はグランド・ハイアット・マカオ）

▲記念日旅行をより思い出深いものに
結婚記念日や誕生日など、特別な日にマカオに滞在するなら、予約時にコンシェルジュに相談を。シャンパンやフラワーバス、ケーキなどのサプライズを親身になって考えてくれるはずだ。
（写真はバンヤン・ツリー・マカオ）

▲ロケーションも選び放題
マカオ半島、タイパ、コタイ、そしてコロアンと、エリアによって印象がそれぞれ異なるマカオでは、滞在中に何度か宿を変えてみるのも一興だ。マカオ半島のウォーターフロントに位置するシティリゾートと、コロアンの自然豊かなビーチリゾートをそれぞれ体験するだけでもマカオが持つ多様性を実感できる。
（写真はマンダリン・オリエンタル）

▲「眠らない街」では24時間遊び尽くせる
観光産業が発達しているマカオでは24時間態勢で働く人が多いため、終夜営業のレストランやショップが多くある。路線バスも終夜運行なほどだ。ホテル内ももちろん同様で、昼間の間帯となんら変わらないサービスを深夜でも享受できるから、個人個人のペースに合わせたホテルライフが可能となる。
（写真はグランド・リスボア）

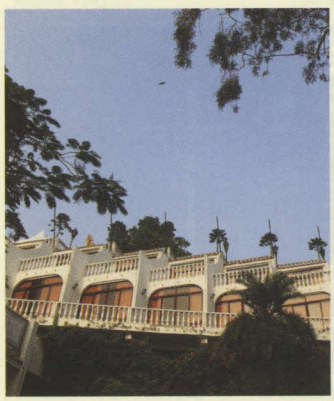


▲すべてが一カ所に集まる総合リゾート
コタイのリゾートは宿泊、娯楽、買い物、食事、リラクゼーション、エンターテイメントのすべてが一カ所で完結する複合リゾート。それぞれのライフスタイルに合わせて自由行動を楽しみ夕食前に再集合――といったメリハリのあるホテルライフが過ごせる。
（写真はザ・ヴェネチアン・マカオ）

▲熱気が最高潮に達するのは夜更け過ぎ
基本的に24時間営業のカジノだが、盛り上がるのは深夜の時間帯。宿泊しているホテルのカジノならおっくうにならずに楽しめる。ステージでのショーやレストラン、バーに立ち寄りながら優雅に遊ぼう。
（写真はシェラトン・マカオ・ホテル）

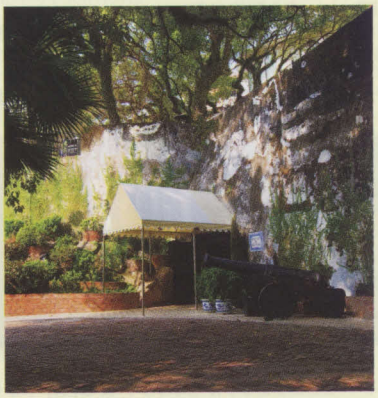
マカオのポウサダ ～ポルトガル風リゾート～

ポウサダとはポルトガルで人気の昔ながらのレストランとホテル。ゆったり美味しい食事を楽しみ、そこに滞在するのがポウサダ・スタイル。マカオのポウサダもポルトガルのリゾートにいるような雰囲気が楽しめる。もちろん食事やお茶、バーだけの利用もOK。こじんまりとした隠れ家的な雰囲気を味わおう。



▲ポウサダ・デ・コロアン　竹灣酒店
Map P27-D2　コロアン
TEL2888-2143　竹湾ビーチを見下ろすテラスは眺めがよくおすすめ。22室。

▲ポウサダ・デ・モンハ　望廈賓館
Map P21-C2　マカオ　TEL2851-5222
観光学校IFT旅遊学院内にある。モンハの丘に位置し、静かな滞在が楽しめる20室。



▲ポウサダ・デ・サンティアゴ　聖地牙哥古堡酒店
Map P19-E1　マカオ　TEL2837-8111
17世紀の要塞を利用したポウサダ。
12室はすべて スイートルーム。

マカオならではのエンターテイメント

世界中でマカオだけでしか見られないオリジナルのショーは必見だ。その他のアトラクションやパフォーマンスも豊富に繰り広げられる。楽しさいっぱいのマカオ流エンターテイメントを満喫しよう。

ドリームワークス・エクスペリエンス　DreamWorks Experience
Map P25-B3 コタイ

サンズ・コタイセントラルで繰り広げられるファミリー向けプログラムで、シュレック、カンフーパンダ、マダガスカルなどのキャラクターとふれあえる。リゾート内のパラダイスガーデンで毎日10:00～19:00までの間キャラクターたちとゲームが楽しめるキッズ・コーナーのほか、いっしょに朝食を食べる「シュレックファスト!」、そしてオールスターによるパレードなど盛りだくさん。

SOHO　蘇濠　Map P25-A3 コタイ

バーや各国料理が集まるダイニング&エンターテイメントエリアのSOHO。シティ・オブ・ドリームズの2階部分に位置し、鼎泰豊(ディンタイフォン)やハードロック・カフェなどの名店がひしめく。またピンボールやストリートアート、デジタル写真ギャラリー、ホログラムショーなどのアトラクションも豊富。また週末は音楽などのパフォーマンスが楽しめる。 営業11:00-02:00

ギャラクシー・マカオのロビー　Map P24-A1 コタイ

メインロビーでは30分に1回(10:00-23:59)金土祝日は26:00。巨大なサイズのダイヤ型の照明が現われる仕掛けショー「フォーチュン・ダイヤモンド」がある。また、バスロビーには「ラッキークリスタル」があり、ポイント毎に手をかざすと光り輝き音楽が鳴り響く。

ザ・ハウス・オブ・ダンシング・ウォーター The House of Dancing Water
水舞間(ソイモウガン)
Map P25-A3 コタイ

シティ・オブ・ドリームズ内の専用円形シアター(2000席)で繰り広げられるショー。制作費約230億円、著名な演出家である巨匠フランコ・ドラゴーヌ氏がプロデュースするショーは世界最大級の水(オリンピックプール5個分)を使った斬新で圧巻の内容。愛と勇気で荒廃した王国を救うスペクタクルなラブストーリー。上演時間70分。大人MOP580～1480。
www.thehouseofdancingwater.com

タブー　Taboo　色惑　Map P25-A3 コタイ

「ザ・ハウス・オブ・ダンシング・ウォーター」と同様、鬼才フランコ・ドラゴーヌ氏の監修による挑発的かつ魅力的なキャバレー・ショー。世界中から集結したキャストによる官能的なパフォーマンスは圧巻のひとこと。会場はシティ・オブ・ドリームズ内の「クラブ・キュービック」で、入場は18歳以上。
火～土曜21:30開演(日・月曜休演)。MOP380から。
www.cityofdreamsmacau.com/taboo

ショップス・アット・ヴェネチアンのパフォーマンス　Map P25-B3 コタイ

330以上のショップと30以上のレストランが集まったショップス・アット・ヴェネチアンではあちこちで歌劇やマジックショー、ミニコンサートなどのパフォーマンスが見もの。とにかくゲストを飽きさせないというサービス精神のなか、楽しく買い物ができる。

ユニークなホテルのロビー

趣向をこらしたサプライズがゲストを楽しませてくれる。そんな演出が楽しめるホテルがマカオには多い。どんな仕掛けが待っているかワクワク。

ハードロック・ホテルのロビー　Map P25-B3 コタイ

マイケル・ジャクソンやブルース・スプリングスティーンなど有名ロック歌手の愛用品を収めたメモラビリアは必見。ロビー以外にもカジノや各階の廊下にもあって飽きさせない。ロゴ入りTシャツやダイスなどオリジナルグッズを集めたショップも訪れたい。

フォーシーズンズ・ホテル・マカオ・コタイストリップのロビー
Map P25-B3 コタイ

ゴージャスかつ洗練されたロビー周りは記念撮影の定番スポットで、結婚式の写真撮影を見かけることも。ポルトガルテイストでいっぱいのウィンドウズ・レストランでいただくアフタヌーン・ティーも併せておすすめ。

シティ・オブ・ドリームズのヴィクアリアム
Map P25-B3 コタイ

水が流れるスクリーンをバーチャルな人魚が自由に泳ぎ回り、来客の幸運を祈ってくれる人気の撮影スポット。ヴィクアリアム(Vquarium)とは、バーチャルなアクアリウム空間の意味の造語。

ウィン・マカオの噴水　Map P15-E2/P16-F2 マカオ

メインロビー正面にあるパフォーマンスレイクでは15分毎(11:00-21:45、週末22:45)に噴水ショーが楽しめる。軽快な音楽にあわせて噴水が踊り、夜になると炎が見られることも。
日～金曜11:00～21:45
土・祝日前
11:00～22:45

ウィン・マカオの吉祥樹と富貴龍　Map P15-E2/P16-F2 マカオ

カジノロビーで見られる仕掛けショー。吉祥樹は音楽とともに床から黄金に輝く樹木が登場し、四季を表す4色の照明に照らされながら回転する。富貴龍は同じ場所で床から黄金の龍が登場する仕掛け。
吉祥樹10:30-深夜(毎時30分)、富貴龍10:00-深夜(毎時00分)。

MGMマカオのロビー　Map P15-E3/P16-E3 マカオ

ロビー中央にサルバドール・ダリ作のブロンズ像、デール・チフリーのガラスアートなどが出迎えてくれる。石畳が敷き詰められたポルトガル風情でいっぱいの中庭もオアシス的存在。中庭に面したカフェでくつろげる。

日中の疲れを癒す極上のスパタイム。

ホテルにあるスパ

ボーディ・スパ(コンラッド・マカオ・コタイ・セントラル)

◆ ザ・シックス・センシズ・スパ(MGMマカオ)
The Six Senses Spa at MGM Macau　Map P15-E3/P16-E3
マカオ　TEL 8802-3838　営業 10:00-04:00(スパ)、10:00-23:00(施設)、ジムのみ06:00-22:00　無休
感覚の調和をもたらすための心身一体的トリートメントが理念のスパ。
ヴァイタリティ・プールやスチームサウナ、ヘアサロンも併設。
マッサージ60分MOP1,045～、フット30分MOP550～。

◆ ザ・スパ(マンダリン・オリエンタル・マカオ)
The Spa at Mandarin Oriental Macau　Map P16-F3　マカオ
TEL 8805-8588　営業 11:00-23:00(スパ)、07:00-22:00(施設) 無休
3時間50分の半日プログラムやカップル向けスパスイートルームもある。マッサージ50分MOP1,000～。

◆ ザ・スパ(グランド・ラパ・マカオ)
The Spa at Grand Lapa Macau　Map P15-C3/P16-B1　マカオ
TEL 8793-4824　営業 10:00-22:00(スパ)、06:30-22:00(施設)無休
サウナやジャグジー、屋外プールも備える本格的スパ。オリジナル・プログラムのマッサージは定評がある。マッサージ50分MOP860～。

◆ ザ・スパ(ウィン・マカオ)　The Spa at Wynn Macau
Map P15-E2/P16-E~F2　マカオ　TEL 8986-3228
営業 09:00-22:30(スパ)、06:00-22:30(施設)無休
ホテルゲストは24時間客室でのトリートメントもリクエスト可。
マッサージ90分MOP1,300～。

◆ スパ・バイ・クラランス(グランド・リスボア)
Spa by CLARINS at Grand Lisboa　Map P9-D5/P15-D~E1　マカオ
TEL 8803-7703　営業 08:00-24:00　無休
クラランス製品を用いたスパ。4時間以上の半日プログラムや出産前後の女性向けのメニューもある。
マッサージ60分MOP1,500～、フット60分MOP600～。

◆ ティー・トゥリー・スパ(ホリデイ・イン・マカオ)
Tea Tree Spa at Holiday Inn Macau　Map P15-D2/P16-D1　マカオ
TEL2878-3333　営業15:00-02:00　無休
東洋と西洋をミックスした施術を展開するスパ。
マッサージ60分MOP660、フット30分MOP220。

◆ ザ・ロイヤル・タイ・スパ(グランド・エンペラー・ホテル)
The Royal Thai Spa at The Grand Emperor Hotel
Map P15-E1　マカオ　TEL 8986-7525　営業 10:00-04:00　無休 伝統的なタイ式マッサージ。マッサージ60分MOP750～。

◆ アルティラ・スパ(アルティラ) Altira Spa　Map P23-A2　タイパ
TEL 2886-8886　営業 10:00-24:00　無休
アジア・パシフィック・ホテル・アワーズのベスト・スパ賞などに輝くスパ。半日コースや男性向けメニューもある。マッサージ60分MOP980～。

ザ・スパ(フォーシーズンズ・ホテル・マカオ・コタイ・ストリップ)

ザ・スパ・アット・マンダリン・オリエンタル・マカオ

◆ マロ・クリニック・ヘルス&ウェルネス(ザ・ヴェネチアン・マカオ)
Malo Clinic Health & Wellness　Map P25-B2~3　コタイ
TEL 8862-2688　営業 10:00-02:00　無休
クリニック、メディカルスパ、美容ラボ、ジムなどを併せ持つ世界最大級のスパ。トリートメントルームは50以上ある。
マッサージ90分MOP1,380～、フット40分MOP780～。

◆ ザ・スパ(フォーシーズンズ・ホテル・マカオ・コタイストリップ)
The Spa at Four Seasons Hotel Macao, Cotai Strip)　Map P25-B3　コタイ
TEL 2881-8888　営業 11:00-24:00　無休
女性専用ラウンジ、サウナ、ヴァイタリティ・プール、スチームバス、リラクゼーション・ラウンジ、ヘアサロン、スパ・ブティックを併設。
マッサージ60分MOP1,080～、フット60分MOP980～。

◆ バンヤンツリー・スパ(バンヤンツリー・マカオ)
Banyan Tree Spa at Banyan Tree Macau　Map P24-A~B1　コタイ
TEL 8883-6633　営業 10:00-23:00　無休
数々の受賞歴を誇るスパ。7時間半の1日コースやフェイシャル、ボディの他にヘアケアのメニューもある。ゆったりとしたアジアン・テイストのスパ。
マッサージ90分MOP1,100～、フット60分MOP600～。

◆ イサラ・スパ(グランド・ハイアット・マカオ)
Isala Spa at Grand Hyatt Macau　Map P25-B4　コタイ
TEL 8868-1193　営業 12:00-01:00(月-木曜)、12:00-03:00(金・土曜)、10:00-01:00(日)　無休
中国の漢方なども取り入れたオリジナル・プログラム。24時間オープンのジムを併設。マッサージ60分MOP1,080～、フット60分MOP800～。

◆ スパ・アット・クラウン(クラウン・タワーズ)　The Spa at Crown
Map P25-A3~4　コタイ　TEL8868-6883　営業 11:00-03:00(スパ)、11:00-23:00(サロン)　無休
ヴァイタリティ・プール、サウナ、スチームバス、ヘアサロン、ネイルバーを併設した優雅なスパ。マッサージ60分MOP980～、フット30分MOP480～。

◆ ロック・スパ(ハード・ロック・ホテル・マカオ)
Rock Spa at Hard Rock Hotel Macau　Map P25-B3~4　コタイ
TEL 8868-3318　営業 12:00-24:00(日-木曜)、12:00-01:00(金・土曜)　無休
屋外プールやジムを併設。カップルや新郎、新婦を対象にしたメニューもあるモダンなスパ。マッサージ60分MOP680～、フット30分MOP280～。

◆ ボーディ・スパ(コンラッド・マカオ・コタイセントラル)　Bodhi Spa
Map P25-B3　コタイ　TEL8113-6188　営業12:00-01:00(火-金曜)　10:00-01:00(土-月曜)　無休
ボーディとは菩提で、「悟り」を意味する。その名の通り精神と肉体との調和に重きを置いたプログラムで、10のスパスイートを備える。マッサージ90分1,180パタカ～。フェイシャル60分1,200パタカ～。

◆ ニルヴァーナ・デイ・スパ(グランド・コロアン・リゾート)
Nirvana Day Spa　Map P27-B4　コロアン
TEL8899-1092　営業 10:00-21:00(日曜20:00)
シンプル・エレガントなスタイルのスパ。

バンヤンツリー・スパ

街なかのスパ&フットマッサージ

マカオ半島のウォーターフロントやタイパの新市街を中心に、スパやフットマッサージの専門店が点在しており、リーズナブルなメニューで気軽に疲れを癒せる。英語は通じず中国語のみとなるが、メニューに明記された金額を支払えばOK。料金の目安はマッサージ45分MOP130～、フットマッサージ45分MOP100～。ただし一部に治安面で問題のある店舗もあるので、ホテルスパの方が安心して利用できる。

◆ 知心按摩中心(チサムオンモチョンサム)　Map P15-C3/P16-B1　マカオ　TEL2870-3703　営業 13:00-07:00　無休
グランド・ラパ・ホテル駐車場の近くにある紫色の看板が目印の店。終夜営業なので就寝前にマッサージを受けたい際に便利。

ビューティー&リラクゼーション

手軽なマッサージから最新の設備を備えたスパまで、さまざまなスタイルのメニューに迷うマカオのスパ。時計をはずしてのんびり贅沢な時間をスパで過ごすのもおすすめだ。歩き疲れた夜は、フットマッサージでリフレッシュしよう。ラウンジやプール、ジャグジー、サウナを併設している所もあるのでゆっくりと過ごしたい。水着の用意もお忘れなく。

日が落ちてもホテルに帰るのはまだ早い。夜

マカオ24時間 ～贅沢な休日～

日が落ちると入れ替わりに瞬きだす無数のネオンサイン。マカオで過ごす休日は、まだまだこれからだ。治安のよいマカオでは、夜間でも安心して街歩きが楽しめる。ホテル・リスボア周辺のきらびやかなホテル群の眺めを満喫したら、日中に周った世界遺産を再び訪れてみるのも一興だ。聖ポール天主堂跡やセナド広場など美しくライトアップされるスポットが多く、昼間とはまたひと味異なる風情を満喫できる。

ようこそ、ネオンサインがきらめく「眠らない街」へ。

◆ショッピングモール

カジュアルからラグジュアリーまで、幅広いブランドが揃うのがマカオのショッピングモール。特にコタイ地区には多くのモールが集まっている。

ショッピング

世界の一流品から最先端のファッションアイテム、アンティーク品、お菓子、雑貨、ワインなどさまざまな買い物が楽しめるマカオ。昔ながらの商店から大型のショッピングモールまで、とっておきの逸品を探してみよう。宵っ張りの多いマカオでは、深夜まで営業している店も多いから、日中は観光に、日没後は買い物に充てるのもよいだろう。

▲ザ・ブルヴァード
The Boulevard　Map P25-B3　コタイ
営業、定休日は店舗によって異なる。シティ・オブ・ドリームズの2フロアに渡り、約40の店が並ぶ。2階は高級時計とジュエリーに特化している。ファッションも充実。

▲ワンセントラル・マカオ
One Central　Map P16-F3　マカオ
営業10:30-23:30(金・土・祝日は24:00まで)
無休 マカオ半島のウォーターフロントにあり、MGMマカオとマンダリン・オリエンタルに直結。ルイ・ヴィトンの旗艦店などが入る。

▲ショップス・アット・フォーシーズンズ
Shoppes at Four Seasons Map P25-B2　コタイ
営業10:00-23:00(週末は24:00まで)　無休
Tギャラリア・マカオ by DFSを含む160軒以上の高級ブランドショップ。フォーシーズンズとヴェネチアンのほかサンズ・コタイセントラルにも接続。

▲ショップス・アット・ヴェネチアン
Shoppes at Venetian　Map P25-B3　コタイ
営業10:00-23:00(週末は24:00まで)無休
ザ・ヴェネチアン・マカオ内のマカオ最大のモール。カジュアルからラグジュアリーまで330以上の店舗が集まる。フードコートも備える。

◆マカオならではのショッピング

大型ショッピングモール以外にも観光客が立ち寄って有意義なショップは数多い。生活感あふれるマカオならではのショッピングはいかが。

▲ニューヤオハン　新八百伴
Map P19-B3　マカオ　マカオ唯一のデパートで、1階の化粧品売り場が充実。カジュアルブランドを中心に男女ファッションや子供用の衣服、日用品、家電製品なども豊富。上層階にはフードコートがあり、簡単に食事を済ませたいときに最適。

▲スーパーマーケット(超級市場)
市内各地にあるスーパーマーケット(超級市場)は旅行者にとっても見逃せないスポット。広く展開しているのは「來來(ロイヤル)」と「新苗(サンミウ)」で、深夜まで営業している場合が多い。ポルトガルワインをはじめ各国のワインの品揃えがみごとな店舗も。

▲アーモンドクッキー　杏仁餅
マカオの代表的な菓子土産で、粉々に砕いたアーモンドを型押しした、落雁のような食感のクッキー。店先で試食もできる。老舗は咀香園餅家と鉅記餅家で、市内のあちこちに店舗がある。

▲露店市　マカオ
昔ながらの露店市がマカオ半島の旧市街で健在だ。草堆街(Map P9-C2)や蓮溪廟(Map P21-E1~2)の前では週末を中心に、路上で陶磁器や彫像、アンティークの玩具などを商う懐かしい風景に出会える。

▲タイパのフリーマーケット
Map P22/拡大図　タイパ
タイパ・ビレッジの消防局前広場で毎週日曜日、11:00から20:00までフリーマーケットが開かれ、地元の人々と観光客でにぎわう。アクセサリーや民芸品、菓子類など品揃えは多彩で、コンサートなどが併催されることも。

▲華聯茶葉公司
Map P8-C2　マカオ
老舗の商店が集まる十月初五日街にある中国茶の問屋で、小売りにも対応している。テイスティングを楽しみながら好みの茶葉をゆっくり選んでみては。周囲の、かつての問屋街の雰囲気も併せて満喫したい。

▶リブラリア・ポルトゲーザ
Livraria Portuguesa
Map P8拡大図　マカオ
ポルトガル語の書籍を扱う書店だが、ファドのCDやガロ関連のグッズも販売しており、ポルトガル好きにはたまらない店。床のカルサーダスがひと際目を引く。ギャラリーも併設しており、地元アーティストの個展を開催することも。

◀メルカリア・ポルトゲーザ
Mercearia Portuguesa
Map P9-A4　マカオ
ポルトガル色の濃いラザロ地区にあるポルトガル雑貨の人気店。かわいらしいパッケージの石鹸、ジャム、ワインなど品揃えは豊富。ポルトガルの伝統的な刺繍が施されたハンカチなどの小物はちょっとしたお土産に向く。

マカオの夜を彩る楽しいバータイム。

Bar & Lounge

バーへようこそ、大人の時間

食事を終えて、もう一杯。旅先でのおしゃべりはなかなか終わらないもの。ゆったりと静かにグラスを傾けるもよし、仲間とワイワイ盛り上がるのも楽しい。輝くネオンに誘われて、ついついもう一軒足を運ぶのもマカオならではの夜の楽しみ方。早めの時間にはお得なハッピーアワーがあるところも。

▲ザ・ヴェネチアン・マカオ
「マクソーリーズ・エール・ハウス」
McSorley's Ale House
Map P25-B3 コタイ
TEL2882-8198
営業12:00-01:00　無休
ギネスの生ビールなどを美味しい料理とともに気軽に味わえる英国風パブ。コタイ・アリーナ入口近くの回廊に位置し、待ち合わせの際に軽く一杯など用途はさまざま。

▲ザ・ヴェネチアン・マカオ
「ベリーニ・ラウンジ」
Bellini Lounge
Map P25-B3 コタイ
TEL8118-9940
営業16:00-04:00 無休
ヴェネチアン・マカオのカジノフロアにあり、ライブミュージックを堪能できるエンターテイメントバー。いかにもカジノらしい祝祭日的な雰囲気が楽しめる。

▲ギャラクシー・ホテル
「マッカラン・ウィスキー・バー&ラウンジ」
The Macallan Whisky Bar & Lounge
Map P24-A1 コタイ
TEL8883-2221
営業 17:00-01:00（金・土 曜～02:00）　無休
英国やスコットランドの家具を用いたシックで落ち着いた本格的バー。ウィスキーはマッカランをはじめ360種類以上のセレクション。

▲アルティラ・マカオ
「38ラウンジ」 38 Lounge
Map P23-A2 タイパ
TEL2886-8868
営業 17:00-深夜　定休火曜
火曜を除く毎晩22:00からライブ演奏あり。38階からの橋や対岸の夜景の眺めが美しいラウンジ・バー。

▲スカイ21　Sky 21
Map P19-B3 マカオ
TEL2822-2122
営業12:00-14:30、15:00-03:00
無休
マカオ半島のウォーターフロントに建つAIAタワー最上階にあるバーで、オープンエアのラウンジからは息を呑む絶景を堪能できる。
平日17:30-20:30のハッピーアワーも見逃せない。

▲マンダリン・オリエンタル・マカオ
「ヴィダ・リカ・バー」
Mandarin Oriental Macau, Vida Rica Bar
Map P16-F3 マカオ
TEL8805-8928
営業 17:00-24:00(月-木曜)、17:00-01:00(金)
15:00-01:00(土)
15:00-24:00(日)　無休
カクテル、シャンパンとタパス各種。

▲オールド・タイパ・タバーン
Old Taipa Tavern
Map P22拡大図 タイパ
TEL2882-5221
営業 12:00-01:00　無休
タイパ・ビレッジの中心、北帝廟前の広場に面した立地のアイリッシュパブ。各種生ビールやフィッシュ&チップスなどが人気。ランチから営業している。フレンドリーな雰囲気。

▲シティ・オブ・ドリームズ内のSOHO
Map P25-B3 コタイ
シティ・オブ・ドリームズ内の広々としたレストラン街「SOHO」では、路面店のテラス席といった風情で気軽にお酒を料理とともに楽しめる。ハードロック・カフェなどバラエティに富んだ店のラインナップが楽しいエリア。

マカオでこそ味わいたい ポルトガルワインとマカオビール

■ポルトガルワイン

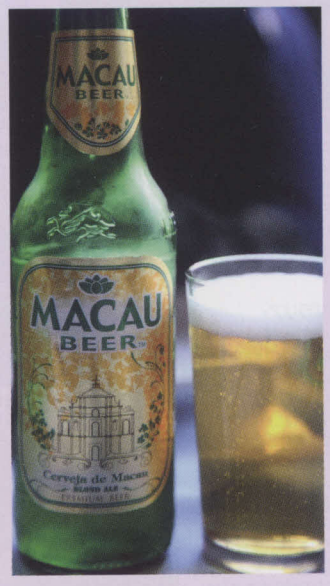
かつての宗主国ポルトガルのワインは今日もマカオで親しまれている。特におすすめは緑のワインを意味するヴィーニョ・ヴェルデ。フレッシュでアルコール度低め、微発泡の爽快なワインで、湿気の多い夏にきりっと冷やして飲むといい。

ダン、マデイラ、アレンテージョなど代表的な産地のワインも豊富に流通しており、ワイン専門店のみならずスーパーマーケットでも簡単に求めることができる。日本ではなかなか味わえない本場のポルトガルワインは、マカオのお土産としても利用価値は高い。

■ビール

マカオで飲まれているビールといえば、中国の青島ビールや珠海ビール（キリン製）、ポルトガルのスーパーボックやサグレス、さらには英国のギネスなどが主流だが、ご当地ビールのマカオビールをぜひ試してみたい。

マカオビールはおもにポルトガル料理レストランで提供しており、聖ポール天主堂跡のラベルが美しい小瓶の「ブロンドエール」はコクがあって濃厚な味わい。缶のものは飲みやすいピルスナータイプとなる。



治安のよいマカオは夜の散策がおすすめ。

夜

マカオ24時間 ～贅沢な休日～

小腹が空いたら麺や粥で腹ごしらえを

マカオの人は小食(シウセッ＝広東語でスナックやおやつを意味)が大好きで、下町には麺や粥の店がたくさんある。当たり外れの少ない料理だから、目に付いたら迷わず入ってみるとよい。またカジノでは24時間、食事のとれるレストランを併設し、カジノ客の需要に応えている。カジノに無縁の観光客でも、真夜中に空腹を覚えた際に気軽に利用できて便利だ。

■ノース(北方館)North　Map P25-B3　コタイ

TEL8113-8950
営業11:00-23:00(金、土曜は01:00)
無休
サンズ・コタイ・セントラルのカジノに隣接する中国料理レストランで、中国の東北地方および四川料理がメニューの中心。四川担担麺や点心など軽めのメニューが夜食にぴったり。

■盛記白粥(センケイパァチョッ)　Map P9-D3　マカオ

TEL2832-3471
営業07:30-20:00
無休お粥各種や焼きそば、腸粉(ライスクレープ)、豆腐花など。素朴で庶民的な店。

■粥麺荘(チョッミンジョン)　ヌードル＆コンジー
Noodle & Congee　Map P9-D5/P15-E1　マカオ

TEL8803-7755
営業24時間
無休
グランド・リスボア・カジノ内。刀削麺や各種お粥、中国茶が揃う。目をみはるアクロバット・スタイルの茶芸サービスが見られる時間帯も。

■六記粥麺(ロッケイチョッミン)　Map P8-A1　マカオ

TEL2855-9627　営業18:30-02:30　定休日(祝日、12月31日、旧正月)

マカオ市民がこよなく愛する名店で、エビの卵がのった麺、ワンタンやカニ入り粥が人気。

夕暮れ～夜の街歩き

楽しかった1日の締めくくりに街歩きはいかが。ライトアップされた世界遺産や街灯に照らされた石畳など、マカオは夜の風景も昼間同様、エキゾチックかつロマンティック。自分だけのとっておきの景色を求め、滞在中は毎晩、夜の街へ繰り出そう。

▲アマラル広場周辺
Map P15-E1　マカオ
パスターミナルのアマラル広場からはホテル・リスボアやグランド・リスボアのライトアップされた姿が美しい。

▲南灣湖越しのホテル群の夜景
Map P16-F4　マカオ
マンダリン・オリエンタルから孫逸仙大馬路を南灣湖方面へ向かうと湖越しの夜景がみごとに広がる。

▲聖ポール天主堂跡を背にした風景
Map P9-B3　マカオ
聖ポール天主堂跡から街並みを一望。グランド・リスボアとの新旧の対比がおもしろい。

▲聖ポール天主堂跡
Map P9-B3　マカオ
昼間は多くの観光客でにぎわうマカオのランドマークも、夜は静かなひとときを迎える。

▲マカオ・タワー
Map P19-F3　マカオ
ライトアップされた街並みを上空から眺める。光の海に向かってナイト・バンジーはいかが。

▲ラザロ地区
Map P9-A4/P15-C1　マカオ
淡い街灯の下、モザイク模様の小路が続く。まるでヨーロッパの街角に紛れ込んだかのよう。

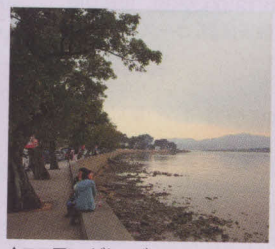
▲福隆新街
Map P9-D2　マカオ
昔ながらの赤い格子窓が残る街並みは街灯に照らされて、昼間とは異なる表情を見せる。

▲セナド広場
Map P8拡大図/P9-D3　マカオ
マカオ旧市街の中心セナド広場は夜間になると噴水がきれいにライトアップ。特に夏の夕涼みにぴったりだ。

▲新馬路
Map P9-C1　マカオ
マカオの目抜き通りは灯が入って、ぐっとロマンティックな雰囲気に。電飾の看板が幻想的。

▲ギアの丘
Map P15-C2/P21-E4　マカオ
美しい色味に染まりながらゆっくりと暮れゆく街並みをマカオ半島最高所の丘から一望できる。

▲ポウサダ・デ・コロアン
Map P27-D2　コロアン
石畳の屋上テラスから静かに暮れなずむチョクワンビーチを望む。ワインが欲しくなる時間帯。



▲コロアン・ビレッジ
Map P27拡大図　コロアン
海岸通りの十月初五馬路からは対岸に中国本土を望む。静かな漁村の夕暮れはしみじみと味わい深い。

▲オープン・トップ・バス
マカオ・フェリー・ターミナルを出発してマカオ半島とコタイの夜景の名所をめぐるオープン・トップ・バスが運行中(www.mybus.com.cn/macao)。

マカオは古今東西の美食が集まる「食の十字路」

食彩マカオ　レストランガイド

中国料理

■ 紫逸軒（ジィーヤッヒン）　Zi Yat Heen
Map P25-B3　コタイ　TEL2881-8888
営業 12:00-14:30（日曜 11:30-15:00）、18:00-22:30　無休
フォーシーズンズホテル内にある格調高くエレガントな本格広東料理レストラン。

■ 満堂彩（マントンチョイ）ベイジン・キッチン　Beijing Kitchen
Map P25-B4　コタイ　TEL8868-1930
営業 11:30-24:00　無休
北京ダックや餃子などの中国北部料理。グランド・ハイアット・マカオ内。オープンキッチンでシェフたちが料理する様を楽しめる。

■ 譽瓏軒（ユーロンヒン）
ジェイド・ドラゴン　Jade Dragon
Map P25-B4　コタイ　TEL8868-2822
営業 11:00-15:00、18:00-23:00　無休
シティ・オブ・ドリームズ内の高級感にあふれた広東料理。点心からアワビやカニなど旬の食材を使った本格料理まで幅広い。

各国料理

■ 帝雅延意大利餐廳（タイガアテンイーダイレイツァンティン）
リストランテ・イル・テアトロ　Ristorante Il Teatro（イタリア料理）
Map P15-E2/P16-E~F2　マカオ　TEL8986-3663
営業 17:30-23:30　定休月曜　パフォーマンス・レイクのすばらしい眺めを観ながら食事が出来る。ウィン・マカオ内。

■ 天巢法國餐廳（ティンチャウファコッツァンティン）
ロブション・オ・ドーム　Robuchon au Dôme（フランス料理）
Map P9-D1/15-D1　マカオ　TEL8803-7878
営業 12:00-14:30、18:30-22:30　無休
マカオ唯一のミシュラン3ツ星レストラン。ロブション氏のセンスが光る高級フランス料理。グランド・リスボア内。

■ ラ・パロマ　La Paloma（スペイン料理）
Map P19-E1　マカオ　TEL2837-8111
営業 07:15-11:00、12:00-22:30　無休
スペイン人シェフが腕をふるうスペイン料理店。イベリアハムやバレンシア風パエリアが名物料理。ポウサダ・デ・サンティアゴ内。

■ ヴィダ・リカ・レストラン
Vida Rica Restaurant and（インターナショナル）
Map P16-F3　マカオ　TEL8805-8918
営業 06:30～22:30　無休
コンテンポラリーな中華とポルトガル料理や地中海料理などの西洋料理の両方が楽しめる。マンダリン・オリエンタル内。

■ 奥羅拉（ロォロゥライ）　オーロラ Aurora（イタリア料理）
Map P23-A2　タイパ　TEL8803-6622
営業 12:00-14:00、18:30-22:30
サンデーブランチ 11:30-15:30　定休月曜と日曜夜
ウォーターフロント超しのマカオ半島の景色が美しいイタリア料理店。アルティラ・マカオ内。

■ 天政（和食）
Map P23-A2　タイパ
TEL2886-8868　営業 12:00-14:30、18:00-22:30　定休月曜
アルティラ・マカオ内にある高級お座敷天婦羅。コースメニュー中心。本店は東京。

■ 山里（和食）
Map P24~25-B1~2　コタイ　TEL8883-5127
営業 12:00-15:00、17:30-22:00　無休
ホテル・オークラ・マカオ内の本格日本料理。会席、寿司、鉄板焼きが楽しめる。茶室あり。

■ メザナイン・マカオ　mezza 9 Macau（インターナショナル）
Map P25-B4　コタイ　TEL8868-1920
営業 17:30-23:00、サンデーランチブッフェ 12:00-15:00　無休
グリル、マカオ料理、中華、点心、寿司など幅広いメニューが楽しめる。

ガロ

エイト

金悦軒海鮮火鍋酒家

ベイジン・キッチン

ロブション・オー・ドーム

山里

ポルトガル料理＆マカオ料理

■ 木偶葡國餐廳（モッガウポウコッツァンティン）
ピノキオ　Cozinha Pinócchio
Map P22拡大図　タイパ　TEL2882-7128
営業 11:45-23:00　無休
カニのカレー風味炒めが有名。手頃な値段で楽しめるカジュアルなポルトガル料理店。

■ 公鷄葡國餐廳（コンカァイポウコッツァンティン）
ガロ　Restaurante Galo
Map P22拡大図　タイパ　TEL2882-7423
営業 11:30-15:00、18:00-22:30、11:30-22:30（土・日曜）　無休
大きな鶏の看板が目印。カジュアルで小さな店だが地元客や観光客で賑わう。マカオ半島ウォーターフロントに支店あり。

■ 小島葡國餐廳（シュトウポウコッツァンティン）
マデイラ・ポルトガル・レストラン
Madeira Portuguese Restaurant
Map P25-B3　コタイ　TEL2882-8312
営業 11:30-23:30（平日）、11:30-24:30（金土曜、休前日）　無休
ヴェネチアンのセントマークス広場に面する。テラス席あり。

■ 葡軒（ポウヒン）　ゴスト　Gosto
Map P24-A1　コタイ　TEL8883-2221
営業 12:00-15:00、18:00-23:00（平日）
12:00-23:00（土・日曜）　無休
ギャラクシー・マカオ内のポルトガル料理店。伝統的なメニューが並ぶ。

■ 里斯本地帶餐廳（レイシブンデイダイツァンティン）
エスパソ・リスボア　Restaurante Espaco Lisboa
Map P27拡大図　コロアン　TEL2888-2226
営業 12:00-15:00、18:30-22:00（月-金曜）、
12:00-22:30（土日祝日）
コロアン・ビレッジにある隠れ家のようなレストラン。

中国料理

■ 南湖明月（ナゥウーミンユッ）
ルア・アズール　Lua Azul
Map P19-F3　マカオ　TEL8988-8700
営業 11:00-15:00、18:30-22:00（月-土曜）、
10:00-15:00、18:30-22:00（日祝日）　無休
オープンキッチンスタイルのコンテンポラリー・ダイニング。マカオタワー内。

■ 永利軒（ウィンレイヒン）
ウィング・レイ　Wing Lei
Map P15-E2/P16-E~F2　マカオ　TEL8986-3663
営業 11:30-15:00（日・祝日 10:30-15:30）、18:00-23:00
無休　ウィン・マカオ内。
個性的で贅沢な広東料理と点心。ドラマチックな内装。

■ 8餐廳（パッツァンティン）
エイト　The Eight　Map P9-D1/P15-D1　マカオ
TEL8803-7788
営業 11:30-14:30（日祝日 10:00-15:00）、18:30-22:30　無休
モダンで洗練された広東料理。香港の有名デザイナーによる豪華な内装も自慢のレストラン。グランド・リスボア内。

■ 金悦軒海鮮火鍋酒家
（ガムユッヒンホイシンフォーヴォージャオカ）
Jin Yue Xuan Cantonese　Map P16-D1　マカオ
TEL2828-2862　営業 11:00-15:00、17:30-23:00　無休
リオ・ホテル近くにある広東料理店。生け簀からの新鮮な海鮮料理が自慢。

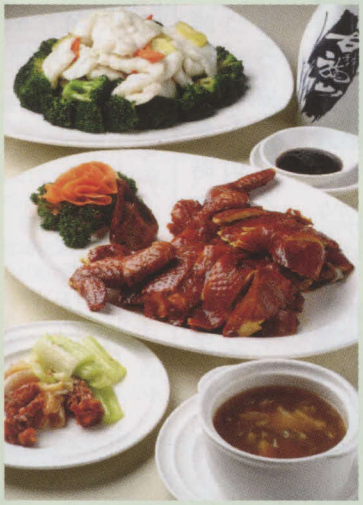
ようこそ食彩グルメの街へ。

食

大航海時代からの味、歴史を感じる料理文化

マカオは気軽にバラエティに富んだ世界各国の食事が楽しめる街。
本格的なダイニング・レストランからローカルが集う家庭的な店まで
楽しみ方のスタイルもいろいろ。
グルメもはまる美味しさを楽しもう。

中国料理



麺類や粥類、飲茶などの軽めのメニューから中国各地の格式料理が楽しめる。フカヒレやアワビの高級食材料理、美容と健康にこだわった漢方を取り入れた薬膳メニュー、火鍋料理などさまざまなスタイルが楽しめる。中国茶と一緒に楽しみたい。

広東料理…日本人の口にあう、人気のあっさりとした味わい。
潮州料理…比較的あっさりとした素材のうま味を活かした料理。
北京料理…こってりとした味付け。北京ダック、餃子、肉まんなど。
四川料理…唐辛子の痺れるような辛さが決め手の料理。
上海料理…甘く濃厚な味わい。小籠包、上海蟹など。

マカオ料理

16世紀の大航海時代の船乗りたちの軌跡をたどったのがマカオ料理。スパイス航路の寄港地のエッセンスがマカオで融合し現在に伝わっているユニークで味わい深い味。

＊代表的メニュー
・アフリカン・チキン…炭火焼きチキンにさまざまな香辛料やココナッツミルクからつくるソースをからめて。店ごとにレシピがことなる。
・カニのカレー風味炒め…丸ごとカニが入ったボリュームいっぱいの一皿。
・ミンチィ…炒めた挽肉をごはんと一緒に。目玉焼きと混ぜ合わせながら食べる。

ポルトガル料理

ポルトガル料理の味付けは素材の味を活かすオリーブオイル、塩、ガーリックが基本とごくシンプル。海産物、肉類、野菜を使ったメニューはもちろんお米を使ったメニューも日本人には親しみやすい。皆でシェアして楽しみたい。

＊代表的メニュー
・バカリャウ(干し鱈)のコロッケ…一口サイズのコロッケは前菜の定番。
・子豚のロースト…パリパリにローストされた皮とやわらかい肉が美味しい。
・シーフードライス…新鮮な魚介類をたっぷり使ったトマト風味のリゾット。

食彩マカオ　レストランガイド

ポルトガル料理＆マカオ料理

■ 内港餐廳(ノイグォンツァンティン)
オー・ポルト・インテリオール　O Porto Interior
Map P19-D1　マカオ　TEL2896-7770
営業11:00-02:00　祝日休業
現代的にアレンジしたマカオ料理。ポルトガルワインメニューも豊富。

■ 佛笑樓餐廳2(ファッシゥラゥツァンティン2)ファッシゥラウ2
Restaurant Fat Siu Lau 2　Map P16-D3　マカオ
TEL2872-2922 営業18:00-02:00　無休
赤が基調のスタイリッシュなインテリア。
本店は福隆新街、3号店がタイパ・ビレッジにある。

■ 美心亨利餐廳(メイサムハンレイツァンティン)
ヘンリーズ・ギャレー・マキシム　Henri's Galley Maxim
Map P19-D2　マカオ　TEL2855-6251
営業12:00-22:00　無休　西湾湖に面し、マカオタワーを目前に一望する。スパイシーなマカオ料理が得意。

■ 海灣珈琲屋(ホイワンガフェオッ)
カフェ・リトラル　Cafe Litoral　Map P22拡大図　タイパ
TEL2882-5255　営業12:00-15:00、17:30-22:00　無休
タイパ・ビレッジにあるリトラルの系列店。マカオ料理とポルトガル料理が楽しめる。

■ 安東尼奧餐廳(アントンレィオウツァンティン)
アントニオ・レストラン　António Restaurant
Map P22拡大図　タイパ　TEL2888-8668
営業12:00-深夜　無休
本物のポルトガルの味にこだわるオーナーシェフ、アントニオさんの店。こじんまりとした一軒家の高級店。

■ 小飛象葡國餐(シュウフェイチョンポウコッツァン)
ダンボ　Dumbo　Map P22拡大図　タイパ　TEL2882-7888
営業11:45-22:45　祝日休業
200名程のグループまで収容可の大型レストラン。個室あり。

■ 海灣餐廳(ホイワンツァンティン)リトラル　Restaurante Litoral
Map P19-D1　マカオ　TEL2896-7878
営業12:00-15:00、17:30-22:30　祝日休業　正統派マカオ料理で人気の店。店内はポルトガルの田舎の家をイメージ。

■ 船屋葡國餐廳(シュンオッポウコッツァンティン)
ア・ローシャ　A Lorcha　Map P19-D1　マカオ
TEL2831-3193
営業12:30-15:00、18:30-23:00　祝日休業
カジュアルだが落ちついた雰囲気の店内はいつもお客さんでいっぱい。濃いめの味付けが特徴のポルトガル料理。

■ 澳門陸軍俱楽部餐廳(オウムンロッグウンコイロッポウツァンティン)
ミリタリー・クラブ　Club Militar de Macau
Map P9-D5/P15-D1　マカオ　TEL2871-4009
営業12:00-15:00、19:00-23:00　祝日休業
元は陸軍倶楽部の会員制レストラン。現在はレストラン部分のみ一般でも利用できる。コロニアル式のピンク色の建築が目印。お洒落をして出かけたい重厚な雰囲気の店構え。

■ 旅遊學院 教學餐廳(ロイヤオホッユン ガゥホッツァンティン)
アイエフティー・エデュケーショナル・レストラン
IFT Educational Restaurant　Map P21-C2　マカオ
TEL8598-3077
営業12:30-15:00、19:00-22:30　定休土日曜・祝日
金曜の夜はマカオ料理とポルトガル料理のブッフェ。
金曜以外はアラカルト中心。学校の中にある高級レストラン。
毎日7:30～10:00の朝食メニューあり(無休)。

■ 大堂街8號葡國餐廳(ダイトンガイパフォウポウコッツァンティン)
エスカーダ　Escada　Map P8 拡大図　マカオ
TEL2896-6900　営業12:00-15:00、18:00-22:30　祝日休業
雰囲気のよいポルトガル風の建物で、洗練された味を楽しめる。新馬路やカテドラル近く。

ミリタリークラブ

カフェ・リトラル

アントニオ・レストラン

※各レストランの営業時間は随時変更されますので、あくまで目安としてご覧ください。

24時

マカオ24時間 ～贅沢な休日～

楽しみ方はいつでも自由自在。24時間気の向くままに。

何度も訪れたいマカオの街角

朝、昼、夕暮れ時、夜…、時間や季節によってことなる表情を見せるマカオの街。コンパクトな街だからこそ自分のペースで好きな時間に再び足を向けられる。写真を撮ったり、スケッチしたり、路地裏を歩いて自分だけのマカオの風景に出会ってみよう。

■ 福隆新街
Map P9-D2/P19-A2 マカオ
かつての主要埠頭(内港)から続く通りで遊郭もあったといわれている。赤い格子窓が特徴。当時の面影を残し、現在はレストランや土産店が軒をつらねる。

■ セナド広場 議事亭前地
Map P9-D3 マカオ
マカオ観光の中心。イベントがおこなわれることも多く、朝から晩まで多くの人でにぎわう。周辺はカジュアル・ファッションや化粧品などの店が多い。

■ 新馬路(サンマァロウ/アルメイダ・リベイロ大通り)
Map P9-C2 マカオ
マカオ半島中心部を突き抜けるにぎやかな通り。銀行、漢方、貴金属、菓子、カジュアル・ファッション、アンティークなどのショップが並ぶ。

■ 十月初五日街
Map P8-B1 マカオ
その昔、貿易業を営む店がずらりと並んだ繁華街は今ではちょっとレトロな風情。昔ながらの歴史ある店が脈々と営みを続けている。

■ 戀愛巷 Travessa Da Paixao
Map P9-B3 マカオ
聖ポール天主堂跡のすぐそばにある「恋愛通り」という名のわずか 50 メートルほどの小道。記念写真を撮るカップルもちらほら見かける。

■ 聖ポール天主堂跡までの道
Map P9-C3~P9-B3 マカオ
板樟堂街～賣草地街～大三巴街。菓子店の売り子が試食を誘う。迷い込んだら坂道を上へ。聖ポール天主堂跡のファサードが見えてくるはず。

■ 三角花園
Map P21-B2 マカオ
出入境ゲート近くにある公園は地元市民の活気にあふれている。中国式ゲームに興ずる人々、それを見物する人々、楽器や歌の練習をする人々など興味深い。

■ タッセッ広場 塔石廣場
Map P9-A5/P15-B1 マカオ
20 世紀初頭に建てられたネオ・クラシックな建物が並ぶ広場。えんじ色に縁取られたコロニアル様式の建物が異国情緒を醸し出している。

■ 南灣大馬路～西灣街
Map P19-B2~P19-D3 マカオ
ピンク色の建物は旧澳督府で今もマカオ政府高官が使用。南灣湖には噴水があり、時間によって水しぶきがあがる。木陰のあるプロムナード。

■ロウリムイオック庭園
Map P15-B1/P21-E3 マカオ
朝は太極拳、昼間は庭園の東屋で二胡や詩吟の練習をする姿が見られることも。初夏には蓮の花が美しい中国式庭園。

■三盞燈(サムジャンタン)
Map P21-D2 マカオ
3 つの電灯「三盞燈」が立つ円形広場をとりまくように小さな店が並ぶ。衣料品やエスニック料理店、屋台など料金も手頃な店が多いエリア。

■タイパ・ハウス・ミュージアム
Map P23-C3 タイパ
前に広がる湿地帯は野鳥が集まるバードウォッチングの名所。初夏には蓮の花が満開に咲きほこる。記念写真を撮る花嫁の姿があることも。

■コロアン・ビレッジの路地裏
Map P27 拡大図
コロアン
街の賑わいとは別世界の静かでゆったりした時がながれる。今も昔の漁村の雰囲気が残る一角。

■タイパ官也街～北帝廟の路地裏
Map P22 拡大図
タイパ
夕暮れ時、街灯に照らされた路地裏はノスタルジック。官也街は別名フードスリート、小さな店がひしめいている。

■ ラザロ地区
Map P9-A4/P15-C1
マカオ
ラザロ教会、馬忌士街、瘋堂斜巷あたりの一帯はポルトガル風の建物が並び、石畳が美しい。灯りがともる頃はとてもロマンティック。

大自然の真っただ中でリフレッシュ！

緑のマカオを楽しむネイチャー・ウォーク

コロアンやタイパには亜熱帯の自然森がひろがり、ネイチャー・ウォークの小道がめぐらされている。野鳥のさえずりに耳を傾け、足元の草花を観察しながらゆくと、南シナ海やマカオ半島の大パノラマを展望。いずれも数キロの距離、休み休み歩いても2時間ほどの気軽な「緑のマカオ」コース。ナチュラリストや少人数のグループ、そして家族向けのプラン。

物々交換もあった峠越え歴史の道

［石面盆古道コース］◆距離：1.5km/45分

コロアンの東西を結ぶ、峠越えの古道。現在でそコロアンには車道や遊歩道が整備され、車で数分で結ばれているが、昔は石面盆古道が唯一の島内横断路だった。

西岸のコロアン村と東岸のハクサ（黒沙）村を結ぶ道で、物々交換も行われていた交易の道。

＜ルート＞

登り口は、聖フランシスコ・ザビエル教会があるコロアン・ビレッジから竹湾馬路を黒沙方面に向かった左側。整備されたハイキングコースで鯨など動物の形をした姿岩を目印にした緩やかな曲道が続く。途中に道の名前になった「石面盆」がある。湧き水で浸蝕されて盆のようになった石で、昔は貴重な水場だった。コロアン・ビレッジや対岸の珠海のパノラマを楽しみながら峠越え。下りは亜熱帯の植物群のなかをハクサ・ビーチに向かって七曲がり。西岸のコロアン・ビレッジとは趣が異なった南シナ海の雄大な眺望が広がる。終点はハクサ村。逆コースでも楽しめる。

▲古道の名の由来となった「石面盆」は今日もこんこんと湧いている。

▲一歩足を踏み入れると深山幽谷の趣が堪能できる石面盆古道コース。

コロアンにはこの他、次の自然探索ルートがある。

［ハクサモロ遊歩道（黒沙龍爪角家楽径）］

マカオ南端の岬を周遊。南シナ海の汐風を香ぐ。時にはイルカ・ウォッチングも。◆距離：2.15km/45分

＜ルート＞

基点のハクサ・ビーチまではマカオ半島から路線バスで訪れる。ルートは大海原に張り出すように設定された歩きやすい舗装路。すべて歩き通すと新黒沙馬路に合流するが、そこから路線バスを待つと意外に不便なので、ルートの途中で折り返し、波穏やかなハクサ・ビーチの散策を楽しみながらグランド・コロアン・リゾートで締めくくるのがおすすめ。

［九澳水庫郊野公園］

コロアン東北部の水源地・九澳を周遊する緑あふれるコース。

◆家族向けルート：2.7km/60分など

［コロアン健康路（路環健康径）］

コロアン・ビレッジ北部にある健康増進を主目的とした自然道。道沿いには鉄棒や壁面クライミングなどの施設がある。◆距離：1.22km/30分

◀石面盆古道コースは未舗装路だが、ふつうのスニーカーで十分に踏破できる。終点のハクサ・ビーチにはレストランもあり、食事がてら余韻に浸ることができる。いずれのルートもコース上には案内標識が整備されていて安心してハイキングを楽しめる。

◀潮騒を間近に爽快なウォーキングを満喫できるハクサモロ遊歩道。途中には休憩のできる東屋も整備されている。ハイキングの締めくくりにはグランド・コロアン・リゾート内の中国料理レストラン「觀海軒」（P40）で、飲茶で締めくくるのも一興だ。

コロアンやタイパの自然道を歩く前に…

＜1＞ハイキングコース、自然公園内では動植物の捕獲・採取が禁じられている。キャンプサイトなど決められた所以外では火気が厳禁されている。静かに歩こう。

＜2＞ネイチャー・ウォークは気軽に楽しめるが、風雨などの悪天候の場合は注意しよう。スコールなどに備えて雨具（カッパ、ポンチョなど）は必携。

＜3＞飲料の自販機は少ない。ネイチャー・ウォークには ペットボトルなど飲料水を事前に用意して、こまめに水分を補給しよう。とくに夏季は高温・高湿になるので注意。

＜4＞ハイキングコースは工事などで閉鎖されることがある。出発する前にホテルなどで念のためご確認を。

＜5＞マカオの遊歩道、公園などの管理は民政総署が担当している。民政総署では各施設・ルートのパンフレット（中国語）を作成している。また http://www.iacm.gov.mo（英語 / 中国語 / ポルトガル語）で 各施設・ルートを紹介している。

資料提供：民政総署

バラエティ豊かなマカオの昼ごはん。

マカオのランチタイム

眺めのいいオープンテラスで風を感じながらのランチや優雅な午後のひとときを過ごそう。飲茶をワイワイ楽しむもよし。あるいはブッフェやフードコートで好きなものをチョイスしよう。

ランチにおすすめ!

ポルトガル料理

◆ポウサダ・デ・コロアン
Pousada de Coloane
Map27-D2 コロアン
TEL2888-2143
営業8:00-22:00 無休
まるでポルトガルの片田舎にいるようなポウサダ内のポルトガル料理レストラン。テラス席では竹湾ビーチの景色を楽しみながらのんびりグラスをかたむける姿も。

◆亜利咖喱屋(アーレィガァレイオッ)アリ・カリーハウス Ali Curry House
Map P19-D2 マカオ TEL2855-5865 営業12:30-23:00
祝日休業 カレー料理とポルトガル料理がカジュアルな雰囲気で楽しめる。オープンテラス席あり。

中国料理

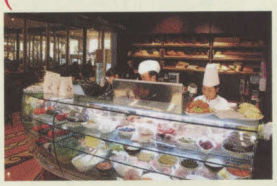
◆葡京日麗(ポウケンヤッライ) ポルタス・ド・ソル Portas do Sol
Map P16-F1/P15-F1 マカオ TEL8803-3100
営業ランチ11:30-14:30(月曜-金曜)、09:30-15:00(土日祝日)、ディナー 18:30-22:30(夜はバンド演奏あり)リスボア・ホテル内にある中国料理店で点心メニューも豊富。手作りのXO醤はお土産に人気。

◆觀海軒(クンホイヒン) Kwun Hoi Heen
Map P27-B4 コロアン
TEL8899-1320 営業11:00-15:00
18:30-23:00(平日)09:30-15:30
18:30-22:00(土日祝日) 無休
グランド・コロアン・リゾート内にある人気の中華レストラン。化学調味料を使わない等素材にこだわった広東料理と飲茶。テラス席からはハクサ・ビーチと南シナ海の絶景を一望できる。

ブッフェ

◆360°旋轉餐廳
(ロイヤウタップシュンジュンツァンティン)
360°カフェ 360°Café Map P19-F3
マカオ TEL8988-8622
営業ランチ 11:30-13:00、13:30-15:00の2交代制、アフタヌーン・ティー 15:30-17:00、ディナー 18:30-22:00 無休
マカオ・タワー 60階にある展望回転ブッフェ・レストラン。約1時間で1周し、マカオを一望しながら食事ができる。世界各国の豊富なメニューが自慢。

カフェ



◆安琪兒三文治吧餐牌
(アンジェラサゥマンジーパァツァンパイ)
アンジェラズ・カフェ Angela's Café
Map19-B3 マカオ TEL2872-6055
営業10:30-22:00 無休 ニューヤオハン1F。フィリングやパンが選べるボリューム満点のサンドウィッチやサンデーが人気。マカオ博物館にも支店あり。

◆薈景閣咖啡室(ウェイケンコガフェサッ)
カフェ・ベラヴィスタ Café Bela Vista
Map P15-C3/P16-B1 マカオ
TEL8793-3871 営業06:30-22:00
無休グランド・ラパ・ホテル内。伝統的なコロニアル調のインテリアが心地よいオールデイ・ダイニング。

◆カフェ・パノラマ Café Panorama Map P27-B4 コロアン
TEL8899-1020 営業7:00-24:00 無休 グランド・コロアン・リゾート内。庭に面したテラス席では小鳥のさえずりを聞きながらくつろげる。

フードコート

◆琳琅美食廣場(ラムロンメイセイグォンチョン)フェスティヴィータ・フードコート
Festivita Food Court Map P25-B~C2~3 コタイ 営業店によってことなるが10:00-23:00頃 無休 ザ・ヴェネチアン・マカオのショップス・アット・ヴェネチアンにある25店舗、約1000席を備える大型フードコート。

◆美食廣場(メイセイグォンチョン)フードアーケード Food Arcade
Map P15-E1/P19-B3 マカオ TEL2872-5338 営業10:30-22:00 無休
ニューヤオハン8Fにあるフードコートで8店舗が並ぶ。
※フードコートは他にシティ・オブ・ドリームズ、ギャラクシー・ホテルにもある。

マカオは魅力的なスイーツもいっぱい

歩き疲れたら、甘いおやつでゆっくり休憩。ポークチョップ・バーガーやスイーツの食べ歩きも楽しい。歩き疲れたらマカオスイーツで気楽にブレイク。元気が出たら、もっと歩けるかも。

◆アフタヌーン・ティー Afternoon Tea
英国式アフタヌーン・ティーはマカオでも人気。スイーツやスコーン、サンドウィッチ、カナッペなど目にも嬉しいセットで優雅なティータイムを楽しもう。

●ラ・パロマ La Paloma Map P19-E1、
●ミストラル Mistral Map P8-C1/P19-A1
●マンダリン・オリエンタル・ロビーラウンジ
Mandarin Oriental Lobby Lounge Map P16-F3
●ウィンドウズ・レストラン
Windows Restaurant Map P25-B3
●和 ロビーバー&ラウンジ
Nagomi Lobby Bar & Lounge Map P24-A1

◆セラドゥーラ Serradura
木糠布甸(モッホウボウディン)
濃厚な甘いクリームに砕いたビスケットをトッピング。ポルトガルのデザート。

●ピター・スイート必達士 Map P22拡大図
●セラドゥーラ沙度娜
Map15-A1/P21-D3/P22拡大図
マカオ店とタイパ店がある。

◆大利來記(タイレイライケイ)
Map P9-B3/P22の拡大図
/P23-C2/P25-A2
TEL2882-7150 営業7:00-18:00
無休 軽食メニューのなかでも人気はポークチョップ・バーガー(猪扒包)。600個限定(週末1200個)の手作りバンズは毎日14:30に焼き上がる。ヴェネチアンのザ・ショップス・アット・ヴェネチアンに支店あり。

◆エッグタルト Egg Tart 蛋撻(ダンタッ)
マカオの人気スイーツエッグタルトはサクサクのパイにプリンのようなカスタードクリーム。お店で焼きたてを食べたい。
●ロード・ストウズ・ベーカリー Lord Stow's Bakery
Map P27拡大図 コロアン
コロアンの店の他、ザ・ヴェネチアン・マカオのショップス・アット・ヴェネチアンにも支店あり。
コロアン本店 TEL2888-2534 営業07:00-22:00、ヴェネチアン店TEL2886-6889
営業10:00-23:00(金・土曜は24:00まで) 無休
●マーガレット・カフェ・イ・ナタ
Margaret's Café e Nata Map 9-D4 マカオ
TEL2871-0032 営業06:30-20:00
(日曜09:00-19:00)定休水曜、旧正月

◆牛乳プリン
雙皮燉奶(ションペイダンナイ)
フルフルの牛乳プリンはさわやかな味わい。ホットとアイスがありお好みで。ショウガ風味やあずき餡のトッピングもできる。
義順牛奶公司(イーソンガウナイコンシー)
Map P9-D3 マカオ
新馬路沿いにある。卵プリンも人気。

中華スイーツ
◆季節のフルーツや胡麻、あずき、くるみ、クワイ、蓮の実、タピオカ、白キクラゲなど素材もいろいろ。燕の巣や亀ゼリーなど美容と健康に効くスイーツを扱う店もある。 マカオ
●金玉満堂(カムイョックムントン) Map P19-D1
●杏香園(ハンヒョンユェン) Map P9-D2

TIME

マカオを知れば知るほど楽しくなる。

昼

博物館＆美術館へ行こう ～フリータイムを楽しくさせる「知」の宝庫～

マカオは博物館や美術館が大小20以上ある。散策の途中で気軽に立ち寄って、知的好奇心を刺激しよう。マカオの歴史や文化をより深く知ると、また違ったマカオの一面が見えて、街歩きも一段と楽しくなってくるはず。

◆マカオ博物館　Macau Museum　Map P9-B3
モンテの砦にあるマカオの歴史・文化を伝えるマカオを代表する博物館。ポルトガルとの出会いから中国返還までの450年の歴史をわかりやすく展示している。館内は3フロアに分かれており、1階はマカオ創成記からマカオと西洋との出会い、2階はマカオの芸術と伝統、3階は現代のマカオと企画展を展示している。天正遣欧少年使節団が日本に伝えた活版印刷機（レプリカ）の展示など興味深い。ミュージアムショップとカフェも併設。
開館09:30-18:00（入館17:30まで）　休館月曜　料金大人15パタカ、11歳以下と60歳以上8パタカ。毎月15日は入場無料

◆マカオ茶文化館
Macau Tea Culture House
Map P15-B1/P21-E3
ロウリムイオック庭園に隣接し、茶器の展示が充実。週末はテイスティングも可能。
開館09:00-19:00
休館月曜（祝日は開館）入場無料

◆海事博物館
Maritime Museum　Map P19-E1
大航海時代「海のシルクロード」を詳細に展示。　開館10:00-18:00（入館17:30まで）　休館火曜
料金10-17歳5パタカ（日曜3パタカ）、18-64歳10パタカ（日曜5パタカ）10歳未満と65歳以上無料

◆マカオ芸術博物館
Macau Museum of Art Map P15-D4/P16-B3　16～18世紀のマカオを描いた絵画の常設展や各種企画展など。
開館10:00-19:00（入館18:30まで）
休館月曜　料金大人5パタカ、12歳未満と65歳以上無料、日曜は入場無料

◆消防博物館
Fire Services Museum
Map P21-E2
かつて使われていた英国式消防車は必見。ずらりと陳列された手動ポンプも興味深い。
開館10:00-18:00無休 入場無料

◆グランプリ博物館
Grand Prix Museum
Map P15-C3　市街地レースの歴史やマシンを展示。開館10:00-20:00
休館火曜　入場無料

◆ワイン博物館
Wine Museum　Map P15-C3
ポルトガルワインの歴史や製造過程の展示。開館10:00-20:00
休館火曜　入場無料

◆聖ドミニコ博物館（聖ドミニコ教会内）
Treasure of Sacred Art　Map P9-C3
開館 10:00-18:00　無休　入場無料

◆天主教芸術博物館
Museum of Sacred Art and Crypt　Map P9-B3
開館 09:00-18:00（入館17:30まで、火曜14:00まで）　無休　入場無料

◆孫文記念館
Dr. Sun Yat Sen Memorial House in Macau
Map P15-B1/P21-E3　開館 10:00-17:00　休館火曜　入場無料

◆マカオ林則徐記念館
Lin Zexu Memorial Museum of Macau　Map P21-B2
開館 09:00-17:00　休館月曜、祝日
料金大人5パタカ、8歳以下と65歳以上3パタカ

◆仁慈堂博物館（仁慈堂内）
Museum of the Holy House of Mercy　Map P9-D3
開館 10:00-12:30、14:30-17:30　休館月曜、祝日
料金大人5パタカ、学生と65歳以上は無料

◆自然農業博物館
Natural and Agrarian Museum　Map P26-B1
開館 10:00-18:00　休館月曜（祝日は開館）入場無料

◆タイパ・ハウス・ミュージアム
The Taipa Houses-Museum　Map P23-C3
開館 10:00-18:00（入館17:30まで）　休館月曜
料金大人5パタカ、学生2パタカ、
12歳未満と65歳以上無料。日曜は入場無料

◆マカオ科学館
Macau Science Center　Map P16-A4
開館10:00-18:00（入館17:30まで）休館木曜（祝日は開館）・旧正月
料金大人ギャラリー 25パタカ、プラネタリウム60-80パタカ

◆サウンド・オブ・センチュリー / 留聲機博物館
Sound of the Century -The Museum of Vintage Sound Machines
Map P9-C2　前日までに要予約（http://www.tai-peng.com）
休館土曜・日曜　入場料大人30パタカ

◆質屋博物館
Heritage Exhibition of a Traditional Pawnshop Business
Map P9-C2　開館 10:30-19:00
休館第一月曜　入場料大人5パタカ

◆マカオ返還寄贈品博物館
Handover Gifts Museum of Macau
Map P15-D4/P16-B3
開館 10:00-19:00（入館18:30まで）　休館月曜 入場無料

◆マカオ保安部隊博物館
Museum of the Macau Security Forces　Map P15-D1
開館 09:00-17:45（土曜・日曜、祝日は17:00まで）　無休　入場無料

◆通信博物館
Communications Museum　Map P15-A2/P21-C4
開館 09:30-17:30（入館17:00まで）
休館月曜、旧正月　料金大人10パタカ

◆タイパ・コロアン歴史博物館
Museum of Taipa and Coloane History　Map P22拡大図
開館 10:00-18:00（入館17:30まで）　休館月曜
料金大人5パタカ、学生2パタカ、12歳未満と65歳以上入場無料
日曜は入場無料

■ギャラリー■

◆民政総署ギャラリー
Temporary Exhibitions Gallery of IACM　Map P9-D3
開館 09:00-21:00　休館月曜　無料

◆タッセッ・ギャラリー（塔石藝文館）　Tap Seac Gallery
Map P15-B1/P21-E3
開館 10:00-21:00　無休　無料

◆OXウェアハウス（牛房倉庫）　OX Warehouse
Map P21-C2
開館 12:00-19:00　休館火曜・祝日　無料

※タイパ・ハウス・ミュージアムとタイパ・コロアン歴史博物館のみタイパ、それ以外はすべてマカオ半島にある。

思い思いの過ごし方でのんびり流れるマカオの午後。

DAY

ファミリーで楽しみたい

マカオには遊び盛りの子供にぴったりのプレイスポットも豊富で、家族そろって休日を満喫できる。大人も童心に返って楽しもう。

▲二龍喉公園のロープウェイ(P17も参照)
Map P15-B2 マカオ 緑豊かな公園からギアの丘の頂上へ、気軽に楽しめる空中散歩はいかが? 眼下に広がるマカオ半島北部の下町風景を堪能。

▲ペディキャブ マカオ
二人乗りのペディキャブは南灣湖や西湾湖のウォーターフロントや下町めぐりに最適。料金は交渉制なので事前に確認を。

▲マカオパンダ館 Map P26-B2 コロアン
かわいいつがいのパンダとご対面。自然が豊かな石排灣郊野公園内にあり、周辺の遊歩道のウォーキングもおすすめ(P27も参照)。

▲キューブ
Map P25-B3 コタイ ザ・ヴェネチアン・マカオ内のキッズ向け施設。子供を預けて両親だけで外出も可能。同様の施設はシティ・オブ・ドリームズ内にもあり。

▲OXウェアハウス Map P21-C2 マカオ
さまざまなアート作品が展示される。マカオは地元アーティストの活躍が目覚ましく、ラザロ地区などギャラリーが集まるエリアも(P20も参照)。

▲ゴンドラ・ライド Map P25-B3 コタイ
ザ・ヴェネチアン・マカオ内の巨大ショッピングモールにつくられた運河をのんびり行き交うゴンドラはまるで水の都ヴェネツィアそのもの。

ビーチ&プールでリゾート気分

ホテルのプールでリゾート気分に浸ろう。基本的に宿泊者専用だが、一般客も有料で利用できるホテルも。またコロアンにはふたつのビーチがあり海水浴も楽しめる。

▲アルティラ・マカオ
Map P23-A2 タイパ 対岸のマカオ半島南部ウォーターフロントを一望できる。

▲グランド・ハイアット・マカオ
Map P25-B4 コタイ 開放感あふれる雰囲気。プールサイドでのんびり過ごせる。

▲シェラトン・マカオ・ホテル・コタイセントラル
Map P25-B3 コタイ 緑と水が織りなす広大なプールエリア。イベント開催も。

▶各ホテルのプールではレストランバーを併設している。プールサイドでトロピカルドリンクを飲みながら気ままなホテルライフを楽しんでみては。

▲フォーシーズンズ・ホテル・マカオ・コタイストリップ
Map P25-B3 コタイ プールサイドのプライベートカバナが極上の休日を演出する。

▲マンダリン・オリエンタル・マカオ
Map P16-F3 マカオ 視界いっぱいに対岸のタイパの絶景が展開する。

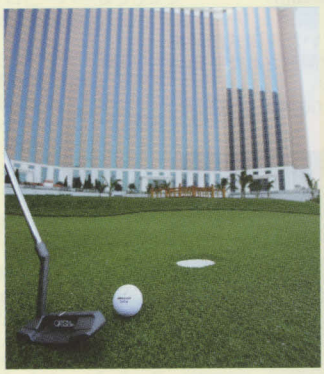
▲ハクサ・ビーチ
Map P27-C3 コロアン 波穏やかなビーチで近くには公営プールやレストランも集まる。

▲チョクワン・ビーチ
Map P26-D2 コロアン 公営プールを備えたビーチ。海辺でのんびり過ごしたい人に最適。

▲ギャラクシー・マカオ
Map P24-A1 コタイ 何と言っても世界最大級の波の出るプール「スカイ・ウェーブ・プール」。

マカオのゴルフ場

マカオのゴルフ場は2カ所、ミニ・ゴルフ場1カ所。広東省中山や珠海にあるゴルフ場へ行く日帰りオプショナルプランもある。



●グラド・ミニ・ゴルフ
Map P25-B3 コタイ
ザ・ヴェネチアン・マカオ7階にある宿泊者専用のミニ・ゴルフ場。18ホール。料金は一人50パタカ
TEL8118-8899

●マカオ・ゴルフ・アンド・カントリー・クラブ
Map P27-B4 コロアン
コロアンのハクサビーチ沿いにある日本人設計のコースでグランド・コロアン・リゾート最上階と直結。難易度は高くないが、起伏に富み海からの強風の日はタフなコース。メンバーコースのため、メンバーとホテルのゲストのみが利用できる。練習用のドライビング・レンジもある。18ホール、パー 71。貸しクラブ、貸し靴あり。TEL2887-1188

●シーザーズ・ゴルフ・マカオ
Map P24-C2~P26-A2 コタイ
アメリカのハラーズ・エンターテイメントの運営。15ホールは水辺に面し、木々はほとんどなく、高低差のないフラットなコースで広々としている。タイガー・ウッズ元コーチ、ブッチ・ハーモン氏のアジア初のゴルフスクールがある。22打席の練習場はナイター可。屋内ゴルフ・クリニックもある。18ホール、パー 72。貸しクラブあり。
TEL2888-0123

TIME

手に汗握る豪快アクティビティが待っている！ 昼

マカオ24時間 ～贅沢な休日～

昼のマカオはアクティビティが実に豊富。世界遺産の旧市街を歩いて教会や中国寺院を訪ねたら、街角のティータイムも欠かせない。ポルトガル伝来のスイーツや英国式アフタヌーンティーでほっとひと息。漢方茶の涼茶も歩き疲れた身体にしみ込むような美味しさだ。ランチの後はホテルに戻り、プールサイドでゆっくりとを過ごすのもおすすめ。最新式のホテルが目白押しのコタイではホテルライフも満喫しよう。

街に繰り出し、思い切りアクティブに過ごそう。

アクティビティ

マカオ・タワーでスリル満点のスカイ・アクティビティにチャレンジしよう。ギネス公認のバンジージャンプをはじめマストクライム、スカイウォークXなどでマカオのランドマークを遊び尽くす。家族で楽しめるマカオ・フィッシャーマンズ・ワーフやゴーカートなどで忘れられない休日を。

マカオ・タワー　澳門旅遊塔
Map P19-F3 マカオ
TEL2893-3339　www.macautower.com.mo
マカオ半島南に位置する高さ338mの観光タワー。レストラン、カフェ、映画館、ショップ、コンベンション・センターを併設。高さ233mの61階に屋外展望台があり、バンジージャンプなどのアクティビティはここからチャレンジする。高さ223mの58階にはメイン展望台があり、一部ガラス張りの床がある。

展望台（58階、61階）
開館10:00-21:00（土曜、日曜、祝日は09:00から）
入場料大人135パタカ、11歳以下と65歳以上70パタカ、3歳未満無料。

アドベンチャー・アクティビティ（61階）

営業時間と曜日
＊11:00-19:30（月～木曜日）
＊11:00-22:00（金～日曜日）
但しタワークライムは毎日10:30と15:30のみ。
◆予約　TEL8988-8656
E-mail: macau.reservations@ajhackett.com

◆スカイジャンプ
ハーネスを付けてバンジージャンプと同じ高さ233mからジャンプ。2人一緒に飛ぶタンデム・スカイジャンプもある。料金2,088パタカ、2回目のジャンプ1,088パタカ、タンデム・スカイジャンプは2人で3,688パタカ。

◆タワークライム
オンライン予約は24時間前まで、当日予約は電話でのみ受付ける。タワー頂上338mまで全長100mのはしごを2時間かけて昇り降りする。料金1,888パタカ。2回目のクライム999パタカ。

◆バンジージャンプ
ギネス世界記録に登録された世界最高の商業用バンジージャンプ。　時速200kmでの急降下と地上30mまでのリバウンドは刺激的。料金3,088パタカ、2回目のジャンプ1,088パタカ。

◆スカイウォーク
タワーの外縁を頭上のワイヤーだけを頼りに1周歩く。料金788パタカ。2回目のウォーク199パタカ。

◆他にクライミング・ウォール（土・日曜）もある。

※すべての料金には特製Tシャツ、認定書、会員証が含まれる。タワー入場料金は別途必要。

ボウリング＆アイススケート

◆ボウリング
マカオ東アジア大会ドーム・ボウリング・センター
Map P25-C4 コタイ
TEL2886-5017
営業 14:00-23:00（月曜-金曜）
09:00-23:00（土・日曜、祝日）

フューチャー・ブライト・アミューズメント・センター（佳景楽園）Map P9-A2 マカオ
TEL2895-3399
営業 10:00-翌1:00

◆アイススケート
フューチャー・ブライト・アミューズメント・センター
Map P9-A2 マカオ
TEL2895-3399
営業 10:30-22:00

▲ゴーカート　Map P26-A2
コロアン　TEL2888-2126
コロアンにあるマカオ・モータースポーツ・クラブは国際レースも開催されるカートレース場。1周1.2Kmのコースでレーサー気分を楽しめる。営業（火・木曜）14:00～18:00（水・金曜は19:00）、（日曜）11:00（土曜は13:00）～19:00　休場月曜

マカオ・フィッシャーマンズ・ワーフ

▲澳門漁人碼頭　Map P15-C3
マカオ
TEL8299-3300
www.fishermanswharf.com.mo
レストラン、ショップ、ゲームコーナー、カジノ、ホテル、コンベンション・センターなどで構成される複合パーク。入場24時間オープン、営業時間は店毎に異なる。

街角のローカル朝ごはんはいかが？

マカオの朝ごはん

ホテルで優雅に朝食ブッフェ、カフェでのんびりトーストとコーヒー、マカオ風地元の喫茶店、お粥専門店、パン屋さんでのテイクアウト、昔ながらの飲茶屋さんなど…朝食スタイルもいろいろ。マカオ市民と一緒に庶民の味を楽しめば、朝から元気がわいてくる。寝過ごすにはもったいない朝食のバリエーション、早起きしてさあ出かけよう。

日本のインスタントラーメンの「出前一丁」は茶餐廳(チャアツァンティン)の人気メニュー。

西洋風のサンドウィッチと熱々のカフェオレで一日をスタートするのもおすすめ。

ミルクコーヒのビカといっしょにパンやスイーツをいただくのがポルトガル風の朝ごはん。

広東省に近いマカオでは、茶楼で新聞に目を通しながら朝の飲茶をのんびりと楽しむ文化が根強い。

ローカル風喫茶店

◆南屏雅叙(ナムペンンガーチョイ)Nam Peng Café
Map P8-B1 マカオ TEL2892-2267
営業 06:30-18:30 無休(旧正月のぞく)
次々と運び込まれる焼きたてのパンが人気の喫茶店。そのほかサンドウィッチやインスタントヌードル類などがメニューに並ぶ。

◆金馬輪咖啡餅店(ガムマァロンガフェベンディム)
Café Kam Ma Lon Map P8拡大図 マカオ
TEL2857-2385 営業07:00-18:30 無休(旧正月のぞく)
セナド広場から徒歩5分ほどの庶民的なベーカリー。看板メニューのポークチョップバーガーのほかエッグタルト、パン、麺類まで幅広いメニューを備えて地元で人気。

◆西灣安記(サイワンオンケイ)Sai Van On Kei
Map P19-C2 マカオ TEL2856-7385
営業 07:30-18:30 無休
スパゲッティやインスタントヌードル類、ご飯類、パン、各種ドリンクなどメニューが豊富にそろう地元の人気喫茶店。

カフェ

◆金船餅屋(ガムシュンペンオッ)カラベラ Caravela
Map P9-D4 マカオ TEL2871-2080
営業 08:00-20:00 定休日曜
スイーツやコロッケ等のテイクアウトメニューもある。店頭のオープンカフェも気持ちがいい。

◆澳門咖啡(オウムンガフェ)オウムン・カフェ
Ou Mun Café Map P8拡大図 マカオ
TEL2837-2207 営業 08:00-23:00 定休月曜
ポルトガル人オーナーによる伝統的なポルトガル・スタイルのカフェ。エッグタルト、エッグプティング等のスイーツもおすすめだ。

◆瑪嘉烈(マアカアリ)マーガレット・カフェ・イ・ナタ
Magaret's Café e Nata Map P9-D4 マカオ
TEL2871-0032 営業 07:30-18:00(月～土曜)、09:00-19:00(日曜) 定休 水曜、旧正月
焼きたてのエッグタルトは大人気。
パンに好みの具をオーダーするとその場でサンドウィッチを作ってくれる。イワシやカレー味、焼肉などの具もマカオ風。

◆安德魯花園珈琲店(オンタッロゥファーユェンガフェディム)
ロード・ストウズ・ガーデン・カフェ Lord Stow's Garden Cafe
Map P27拡大図 コロアン TEL2888-1851 営業10:30-19:00
エッグタルトの有名店、ロード・ストウズ・ベーカリーの近くのカフェでおすすめは中庭のテラス席。直営カフェはコロアンにもう一軒と、ヴェネチアン・リゾート内。

中国スタイル朝ごはん

◆龍華茶樓(ロンワァチャァラウ)
Long Wa Tea House Map P21-D2 マカオ
TEL2857-4456
営業 07:00-14:00 無休(旧正月のぞく)
朝から賑わうマカオ最大の市場紅街市に隣接する伝統的な老舗茶樓。レトロな雰囲気が受け継がれている。店内中央に置かれたセイロから好みの物をチョイス。

◆大龍鳳茶樓(ダイロンフォンチャァラウ)
Tai Long Fong Casa De Cha
Map P9-C2 マカオ TEL2892-2459
営業 06:00-19:00 無休(旧正月のぞく)
十月初五日街にある昔ながらの店構え。ちまきや肉まんなど蒸しものメニューが豊富。店内にはミニステージがあり、午後3時過ぎ頃から愛好家による広東オペラが楽しめる。

◆嘉年華大酒樓(ガニンワァダイジャオラウ)Restaurante Ka Nin Wa MAP P21-D3 マカオ
TEL2852-5511 営業 08:00-23:00 無休
観音堂に近く、店内は早朝から元気な地元のマカオ市民であっというまにいっぱいになる。

◆陶陶居海鮮火鍋酒家(トウトウコイホイシンフォーヴォージャオカ)
Restaurant Tou Tou Koi Map P9-D2 マカオ
TEL2857-2629 営業 08:00-15:00、17:00-24:00 無休
新馬路、福隆新街近くにある。店頭の水槽には活魚が並ぶ、カジュアルな海鮮中国料理レストラン。

◆萬豪軒酒家(マンホウヒンジャオカ) The Plaza Map P15-C3/P16-C1 マカオ
TEL2870-6623、2870-5656 営業 08:00-23:00 無休
新華大廈商場ビル3階にある大規模な店。リオ・ホテル近くにある。

◆陶香居酒家(トウホゥコイジャオカ)Noble House Restaurant Map P15-C3 マカオ
TEL2836-1888 営業 09:00-15:00、18:00-23:00 無休
新鮮な海鮮を使ったメニューに定評がある。開店前から並ぶ人もいる人気店。

◆六棉酒家(ロッミンジャオカ)Kapok Cantonese Restaurant MAP P23-A2 タイパ
TEL2883-3333 営業 11:00-15:00(月曜～土曜)、09:00-15:00(日曜)、17:30-23:00(全日) 無休
タイパで地元の人に人気の高い店。豊富なメニューをそろえる。

※麺と粥の専門店はP35をご覧下さい。

早朝の街並みを歩けば気分はすっかりマカオ市民。

朝

教会や寺院で静かなひとときを過ごす

観光客が訪れる前の教会や寺院はマカオ市民のもの。ゆっくりと祈りを捧げたり、線香を手に願をかける姿が見られて新鮮だ。そんな厳かな空間は一日のスタートにぴったり。ゆったりと落ち着いた気持ちで、今日のプランを立ててみよう。

◆大堂(カテドラル)
Map P8拡大図
マカオ
静かな教会では自然と穏やかな気持ちになれる。日曜日の午前中に行われるミサを見学するのも有意義だろう。

◆コロアン聖フランシスコ・ザビエル教会
Map P27拡大図
コロアン
午前中にはひときわゆったり時が流れるコロアン。海岸線に建つ美しい教会を訪れ、朝日が差し込む礼拝堂内を見学しよう。

◆蓮峯廟
Map P21-B2
マカオ
三大古刹のひとつ。訪れる人もまばらな朝の境内には線香の煙が漂う。媽閣廟や観音堂も朝の雰囲気は味わい深い。

◆観音古廟
Map P21-C2
マカオ
早朝から熱心に参拝するマカオ市民の姿に、祈ることが生活に根付いていることを実感できる。

図書館でじっくり情報収集を

日本と異なりマカオでは、新聞はスタンドで購入するのがふつう。中国語の日刊紙があり、マカオのローカルニュースを伝えている。中国語がわからなくても写真と漢字でだいたいの意味が読み取れ、思いがけず参考になることも。点在する図書館を訪れ、地元紙で情報収集はいかが。

◆八角亭
Map P9-C5
マカオ
常にマカオ市民でにぎわう図書館。空調が効いているので、ガイドブック片手の休憩にも向く。

◆ロバート・ホー・トン図書館
Map P19-B2
マカオ
19 世紀の歴史的建築物を利用した図書館で、増築された近代的なスペースは実に快適。地元の学生の利用も多い。

◆民政総署
Map P8拡大図
/P19-A2
マカオ
セナド広場に面したポルトガル風の建物で、2階部分に図書館を併設。無料のWi-Fiに空調と過ごしやすい。

◆コロアン図書館
Map P27 拡大図
コロアン
静かなコロアンの十月初五馬路にある図書館で、マカオ市民に混ざって朝の気分を楽しもう。

タイパの朝を自転車で駆けよう

どこでも歩いて行けるマカオだが、朝のさわやかな風を受けながらペダルをこいでみては。交通量の多いマカオ半島にはレンタサイクルはないが、タイパでは気軽に自転車を借りられる(タイパからマカオ半島へは自転車での走行は不可)。

▲レンタサイクル Map P22 拡大図 タイパ
北帝廟の門前のレンタサイクル屋さん。コタイのホテルからも「動く歩道」を利用して徒歩圏内だ。

▲自転車があれば行動範囲がぐっと広がる。

美味しそうな匂いに誘われて街角グルメ

早朝のマカオ散歩でお腹が空いたら、気軽に楽しめるローカルフードはいかが。朝ごはんは外食かテイクアウトで済ます人が多いマカオのこと、街角グルメは朝から大盛況だ。

▲早朝に味わいたい豆乳。マカオではポピュラーな飲み物でコンビニ等でもパック入りのものが入手できる。

▲マカオ半島北部の下町では蒸籠で蒸したての点心をテイクアウトできる。近くの公園で味わおう。

▲下環街市や營地街市、祐漢街市ではフードコートを併設しており、気軽に安くて美味しい朝ごはんが楽しめる。

▲マカオ風おでんの屋台はマカオ市民のみならず観光客にも大人気。セナド広場周辺でどうぞ。

異国情緒にあふれる朝のマカオの風景。

朝の散歩で見つけよう！マカオらしいあれこれ

街中を歩くとあちこちで出会える、マカオらしさでいっぱいの風物詩。
大航海時代の人物のモニュメント、カルサーダスと呼ばれるポルトガル式の石畳、
そしてやはりポルトガル伝来の装飾絵タイルのアズレージョ――。
お気に入りを探しにいざ出発!!

モニュメント

▲孫文像 Map P15-B1/P21-E2/P21-A2
若き日をマカオで医者として過ごした中国建国の父。孫文記念館と鏡湖醫院、孫中山紀念公園にある。

▲ヴァスコ・ダ・ガマ像
Map P9-A5/P15-C1
大航海時代、ポルトガル海洋国家の基礎を築いた航海者。

▲ドン・ベルキオール・カーネイロ像
Map P8拡大図
日本と中国を管轄する司教座が置かれたマカオに初代司教として赴任。慈善福祉団体の仁慈堂設立でも知られる。

▲ジョルジェ・アルバレス像
Map P9-D4/P19-B3
1513年に初めて中国に上陸したポルトガル船のリーダー。

▲ロータス・モニュメント Map P15-C3
マカオが中国に返還された際、中国から寄贈された金色の蓮の像。この像がある盛世蓮花広場では毎朝8時にマカオと中国の国旗が掲げられる。

▲ルイス・デ・カモンエス像
Map P9-D3/P19-A2
16世紀のポルトガルの詩人。カモンエス公園と民政総署にある。

＊下の公設市場以外の写真説明は全てマカオ半島内です。

石畳（カルサーダス）

▲セナド広場 Map P9-D3/P19-A2
大海原を想起させる模様はコロニアル調の建物に囲まれたセナド広場にふさわしい。

▲聖オーガスティン広場 Map P19-B2
モザイク模様の石畳が実にみごとな聖オーガスティン広場とその周辺ではポルトガル風情を満喫できる。

▲新馬路の歩道
Map P9-C2/P19-A2
マカオを思わせる教会などのほか魚やカニ、タツノオトシゴなどモチーフはそれぞれ。

▲ラザロ地区 Map P9-A4/P15-C1
南欧風の街並みが続くラザロ地区の石畳は特に見応えがある。夜間に灯火に照らされて浮かび上がる様もみごと。

▲南灣大馬路 Map P9-D4/P15-D1
ポルトガル風建築のミリタリークラブがそびえる南灣大馬路の歩道はさまざまな模様の石畳で装飾されている。

▲果欄街（グォランガイ） Map P9-B2
中国風の街並みに美しい石畳。東洋と西洋との融合が感じられる、どこか懐かしい雰囲気の老舗商店街。

アズレージョ

▲民政総署 Map P9-D3/P19-A2
中庭に向う階段を装飾するのはマカオを代表するアズレージョ。昔のマカオを伝える絵模様もある。

▲カテドラル広場（大堂前地）
Map P8拡大図
市民の憩いの場にも絵タルがなじんでいるベンチで旅のプランをたてる人も。

▲カテドラル近くの歩道
Map P8拡大図
大航海時代のマカオを描いた大きなアズレージョ。

▲ポルトガル語学校 Map P9-D4
学校の外壁を飾るのはマカオでも珍しい青と黄色のアズレージョ。

活気あふれる公設市場で英気を養う

マカオのあちこちにある市場（広東語で街市（ガイスィ））はマカオ市民の台所。魚や肉、野菜、乾物などあらゆる食材が並ぶが、一番にぎやかなのが朝の時間帯。フードコートを併設した市場では麺などの手軽なローカルフードの朝食を。

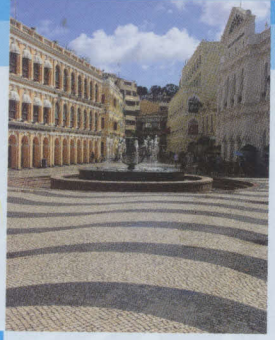
▲氹仔街市（タムツァイガイスィ）
Map P22拡大図 タイパ
官也街に隣接した公設市場で、タイパ一帯のレストランのシェフも食材を仕入れに訪れる。

▲紅街市（ホンガイスィ）
MAP21-D2 マカオ
紅街市から義字街、三盞燈のあたりは活気のある下町風情がかいま見られる。

▲營地街市（イェンデイガイスィ）
Map P9-D3 マカオ
セナド広場からすぐ。小さいながら、市場の雰囲気を気楽に見られる。

その他の主な街市

◎下環街市（ハワンガイスィ） Map P19-C1 マカオ
◎祐漢街市（ヤオホンガイスィ） Map P21-B2 マカオ
◎路環街市（ロウワンガイスィ） Map P27 拡大図 コロアン



いつもより早起きしてマカオの朝を満喫しよう。朝

マカオ24時間 ～贅沢な休日～

観光客が街に繰り出す前の早朝のマカオは、よそいきではない普段着の姿を見せてくれる。その主役はマカオ市民だ。公園で太極拳に汗を流す人、茶楼で点心をつまみながら刷りたての朝刊にゆっくり目を通す人…。買い物客でにぎわう公設市場に、静寂な時間が流れる教会や寺院。そんな人たちといっしょに朝のマカオを歩けば、なんだか自分までこの街に住んでいるような気がしてくる——。

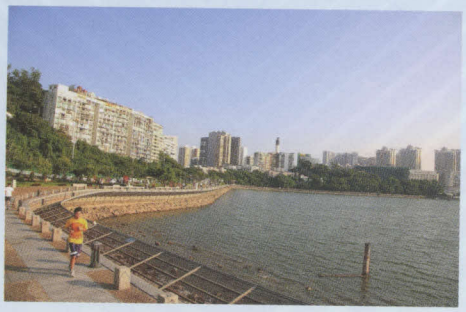
早起きすれば、日中は観光客でにぎわう観光スポットもゆっくり散策できる。

スニーカーに履き替えて身体を動かそう

朝から身体を動かすのは気持ちのよいもの。朝日を浴びながらマカオ市民といっしょに太極拳をしたり、軽い散歩やジョギングに出かけよう。東京都世田谷区の半分ほどの広さのマカオには公園がいたるところにあり、その数なんと30カ所以上。早朝からマカオ市民の憩いの場になっている。

モーニング・エクササイズ・ウォーク

▲ギアの丘　Map P15-B2　マカオ
緑に包まれたマカオ半島最高峰の丘でのんびりウォーキングはいかが。1周1.7kmのコースもありジョギングで汗を流すのも心地よい。トイレ完備。



▲貯水塘　Map P15-A3　マカオ
1周約2km。マカオ半島のフェリーターミナル前にある貯水池の周りは遊歩道として整備されている。エクササイズマシンやベンチ、トイレもある。

▲サンフランシスコ・ガーデン
Map P9-C5/P15-D1　マカオ
ギアの丘の麓の広々とした公園。繁華街から徒歩すぐなのに、喧噪を離れて静かに朝の時間を過ごせる。木陰の散歩や太極拳を楽しみたい。

▲南灣湖～西灣湖沿いの遊歩道
Map P19-B2~P19-D3　マカオ
南灣湖や西灣湖に沿ってプロムナードが整備され、ペンニャ教会やマカオ・タワーを望みながらのウォーキングがおすすめ。

ゆうゆうと朝の時間を過ごすマカオ市民

▲太極拳や剣舞
サンフランシスコ・ガーデン（Map P9-C5/P15-D1）など各地の公園では、太極拳や剣舞に取り組む姿が見られる。

▲エクササイズマシン
どこの公園でも見かける黄色や赤のあざやかなエクササイズマシンで気軽に運動はいかが。

▲広東オペラ
ロウリムイオック庭園（P15-B1/P21-E3）では広東オペラの練習風景に立ち会えることも。独特の音色が印象的。

▲鳥の鳴き合わせ
カモンエス公園（Map P8-A1）では愛好家が鳥かごを持って集まり、自慢の小鳥の鳴き声を愛でる。